

国費学部留学生予備教育課程 における課題と展望

－国費学部留学生教育に関する意見調査の分析を通して－

2010年3月

大阪大学日本語日本文化教育センター

目 次

はじめに ー国費学部留学生予備教育改善プロジェクトについて 1

国費学部留学生教育に関する意見調査について 3

<分析編>

調査Ⅰ

国費学部留学生と予備教育に求められるものとは 5

調査Ⅱ

国費学部留学生に求められる言語能力

国費学部留学生予備教育課程における「日本語」科目のあり方 19

国費学部留学生予備教育課程における「英語教育」 27

調査Ⅲ

国費学部留学生予備教育課程で学ぶ教科内容

国費学部留学生予備教育課程における「政治経済」 31

国費学部留学生予備教育課程における「日本史」 33

国費学部留学生予備教育課程における「日本事情」 35

国費学部留学生予備教育課程における「文系数学」 37

国費学部留学生予備教育課程における「理系数学」 41

国費学部留学生予備教育課程における「理系物理学」 45

国費学部留学生予備教育課程における「理系化学」 49

<資料編>

① 調査書類 53

② 集計データ 72

はじめに

－国費学部留学生予備教育改善プロジェクトについて－

国費学部留学生とは、大阪大学日本語日本文化教育センター（あるいは東京外国语大学留学生日本語教育センター）で1年間の予備教育を受けた後、全国の国立大学の学部1年生として進学していく、文部科学省の制度による国費留学生です。本学日本語日本文化教育センターではそのための予備教育課程として「Uプログラム」を提供しています。プログラムの教育期間は4月からの1年間（授業週数は37週）で、日本語教育を中心に、日本事情や英語の他、専門に関わる基礎的な科目（専門科目）を教授しています。日本語科目については、学生の日本語レベルに応じ、初級→中級→上級と学習を進めていきます。専門科目においては、当該分野の日本語専門用語の習得だけでなく、それらの科目に関する日本の高等学校レベルの知識の定着を図っています。文系分野を志望する学生には、政治経済、日本史、および、数学（経済・経営学志望者対象）を、理系分野を志望する学生には、数学、物理、ならびに、化学を教育しています。来日時のプレースメント試験によって日本語および専門科目の習得度を判定し、クラス分けをおこないます。また、日本語クラス（未習、初中級、上級）をもとに、クラス担任（アドバイザー[専任教員]）が1名配置され、修学・進学および生活上の指導助言等、全ての対学生指導を担当します。2008年度については、文系35名、理系25名、計60名の留学生が本センターで学んでおり、日本語の習得度をもとに、UE 1～7およびUA 1～2という能力別の9クラスに分かれています（UEは日本語未習者または初中級クラス、UAは日本語上級者クラス）。

日本語日本文化教育センターでは、Uプログラムの教育内容をさらに充実させるために、Uプログラム課程を終えて各地に進学した修了生を招き、本センターに在籍している学生との情報交換の場を提供する「修了生による大学進学説明会」や、各大学より教員および職員を説明者として一堂に招いて、Uプログラムの学生に各大学の学部情報を提供する「大学進学説明会」等を実施しています。また、年度末には、全学生を対象にこのプログラムの運営に係わる事項すべてを質問に盛り込んだアンケートによる調査をおこなっています。

国費学部留学生プログラム改善プロジェクト（U改善プロジェクト）は、2004年に立ち上げられ、現在も継続して行われている調査の結果を有効に活用し、現行カリキュラムの抜本的な見直しも視野に入れながら、比類のない理想的なプログラムの構築を目指して、試案の検討を多角的に続けています。このプロジェクトはさまざまな困難を抱える進学に関する諸問題を調査し、これら諸問題について中長期的に段階的かつ計画的な解決をはかっていくためのものであります。本センター中期計画および年度計画に沿って組織された当プロジェクトの検討課題と構想の概要は以下の通りです。

A. 予備教育課程の有効性についての説明力の強化

- ・予備教育の目標と内容をより明確にする

- ・学部予備教育カリキュラムを再編成する
- B. 評価方法の客観性および透明性の向上
 - ・進学配置のための客観的評価を確立する
- C. 進学配置の妥当性についての説明力の強化
 - ・配置および予備教育課程の妥当性を検証する

プレースメント試験の実施形態の改善など、現行の枠組みの中で行えるものから順に既に実行に移すなどしており、さまざまな制約や難しい条件のある国費学部留学生制度の中で、このプロジェクトは、着実な問題解決への途上にあります。

U改善プロジェクトが中心となり、長年、実施してきた調査の一つに「進学大学追跡調査」があります。これは、各大学へ進学した学生のその後の修学状況について、毎年、実地調査を行うものです。この追跡調査では、あらかじめ大学に質問票を送付し、Uプログラムの全修了生および進学先での指導教員を対象にアンケートへの回答を依頼し、その後、本センターの教員が各大学を訪問してアンケートの回収を行うとともに、進学先大学に在籍している学生および担当教職員との対面調査を行います。このようにして得られた、担当教職員からの貴重な情報や個々の学生に関する具体的な生活・学習状況は、本センターでの進学指導において非常に重要な参考資料となっています。この場をお借りしてご協力くださった先生方に感謝申し上げます。

さらに、2007年には、本センター予備教育課程を終えた国費学部留学生の学習状況や必須学習項目等を把握し、さらに質の高い教育内容を提供するための資料を得ることを目的として、国費学部留学生が受講している授業の担当教員や国費学部留学生の指導教員に対し、国費学部留学生教育に関する全国規模のアンケート調査（「国費学部留学生教育に関する意見調査」）を実施しました。先におこなった追跡調査の結果、さまざまな個別事例から見えてきた課題として、日本人学生とともに学び課程を修める学部留学生達の学習実態を、専門分野別に、日本人学生の学習内容等に即して総合的に把握して予備教育内容を見直す必要性が明らかになり、2007年は、そこに焦点を特に当てたアンケート調査を計画・実施しました。

本書は、この意見調査で得られた回答を集計し、詳細な分析を施し、現在のUプログラムにおける課題と展望について考察するものです。Uプログラムの教育をさらに向上させるための価値ある資料が新たに加わりました。改めて、貴重な時間と労力を割いて、調査に御協力くださった各大学の教職員の方々に衷心よりお礼申し上げます。

※本センター国費学部留学生プログラムについては、以下のサイトでも情報を提供しています。

- | | |
|------------|---|
| 学部留学生プログラム | http://www.cjlc.osaka-u.ac.jp/japanese/programs/u/ |
| 外部評価 | http://www.cjlc.osaka-u.ac.jp/japanese/about/external.html |

文責：岸田泰浩（U改善プロジェクト代表）

国費学部留学生教育に関する意見調査について

本調査の目的は、予備教育課程をおえた国費学部留学生の学習状況や必須学習項目等を把握し、さらに質の高い予備教育内容を提供するため、国費学部留学生が受講する授業を担当している教員、国費学部留学生を指導したことのある各分野の教員に対して、アンケート調査を行うことである。

本センターでは、それまでの約10年間、学生のフォローアップ調査などの機会を通して、学生と教員からのフィードバックを得ることで教材開発やカリキュラム改革を進めてきたが、様々な個別事例から見えてきた課題として、日本人学生とともに学び課程を修める学部留学生たちの学習実態を、専門分野別に、日本人学生の学習内容等に即して総合的に把握して予備教育内容を見直す必要性が明らかになった。また、国費学部留学生の募集対象国が94カ国に拡がり、自国の大学教育を経験した学生が半数近くを占めるなど、学生の背景が一層多様になったことで、予備教育の内容を再検討するためにも、それぞれの専門分野での学部留学生教育における問題点を具体的に知る必要が出てきた。

このような点を踏まえて、この調査では、所属学部・学科での各専門分野の勉学のために、「国費学部留学生が入学時に必ず身につけているべき日本語運用能力および教科内容」「国費学部留学生が十分に身につけていない日本語運用能力、学習が不足していて就学に困難を来している教科内容」を中心として広く意見を聞き、1年間という短期間の予備教育で扱う学習指導項目の内容や優先度などを明らかにすることとした。

この調査は、書面によるアンケート調査であり、平成19年7月から9月にかけて実施された。調査は、大阪外国語大学（現大阪大学）での予備教育課程を修了した学生が進学した大学を対象に、各大学の国費学部留学生担当課に調査票と進学者名簿を送付し、そこから各大学内の関係部局への配布および関係部局内の該当教員への配布を依頼した。したがって、各部局において国費学部留学生の研究指導ないし授業での指導を行った教員が調査対象となる。

調査票はI、II、IIIの3種類からなり、調査票Iは総合的な問い合わせ、調査票IIは日本語および英語に関する問い合わせ、調査票IIIは予備教育における専門的科目（政治経済、日本史、日本事情、数学、物理、化学）に関する問い合わせとなっている。調査票Iと調査票IIは、調査対象教員全員に回答を求め、調査票IIIについては、各調査対象教員がその専門分野における勉学に必須と判断した科目について回答を求めた。また、回答する際の参考として、本センターの予備教育の概要、および、学部留学生予備教育を対象とする外部評価（平成17年度実施）の報告書をウェブページからダウンロードできるようにした。

調査票の配布は、紙媒体の郵送と本センターのウェブページからのダウンロードの両方で行った。回答方法については、基本的にダウンロードした電子ファイル（Microsoft Excel文書）に回答した後に、電子メールで送付してもらうという形で行った。その方法がとれ

ない場合には、紙媒体での回答を郵送してもらう形を取った。

回答に応じてくれたのは 32 大学で、部局数にしてのべ 66 部局から回答が寄せられた。
有効回答数は、調査票 I が 181、調査票 II が 184、調査票 III が 181 であった。

文責：今井 忍（U改善プロジェクトメンバー）

国費学部留学生と予備教育に求められるものとは

岸田 泰浩（大阪大学日本語日本文化教育センター）

1. はじめに

本稿では、今回の教育項目調査アンケートから、調査票Ⅱおよび調査票Ⅲの前提となる調査票Ⅰ（国費学部留学生に関する一般的・総合的な質問）について、得られた回答を集計し、全体的な傾向を明らかにする。さらに、その結果として鮮明になった国費学部留学生に望まれる姿について考察する。また、本調査や予備教育に対して寄せられた意見等も整理してとりまとめ、報告する。本稿で対象とするのは、調査票Ⅰへ寄せられた回答 181 件すべてである。

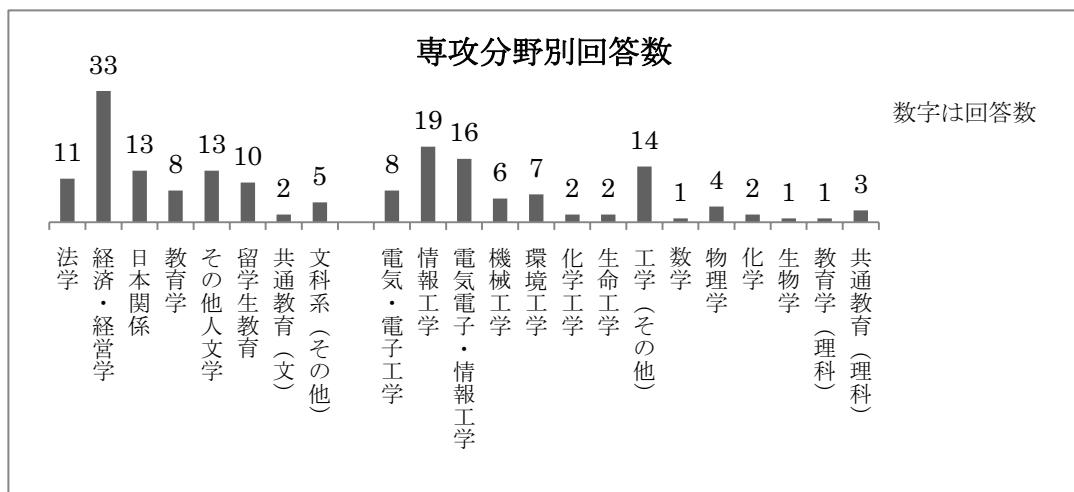
調査票Ⅰでは、以下のことを質問した。

- (a)回答者の所属 [質問 1]
- (b)国費学部留学生の指導経験等 [質問 2～4]
- (c)学習活動を行うために必要な言語運用能力 [質問 5]
- (d)専攻分野の勉学に必須の教科 [質問 6]
- (e)入学時に身につけておくべきこと [質問 7]
- (f)本調査および国費学部留学生予備教育に対する意見や要望 [質問 8（自由記述）]

質問 5 と 6 における個別の学習項目に関しては、調査票ⅡとⅢで回答することになっており、それらの結果については各々の報告をご覧いただきたい。以下では、まず回答者の全体像を報告し、次に(d)、(e)、(f)を中心に考察を進めて行きたい。

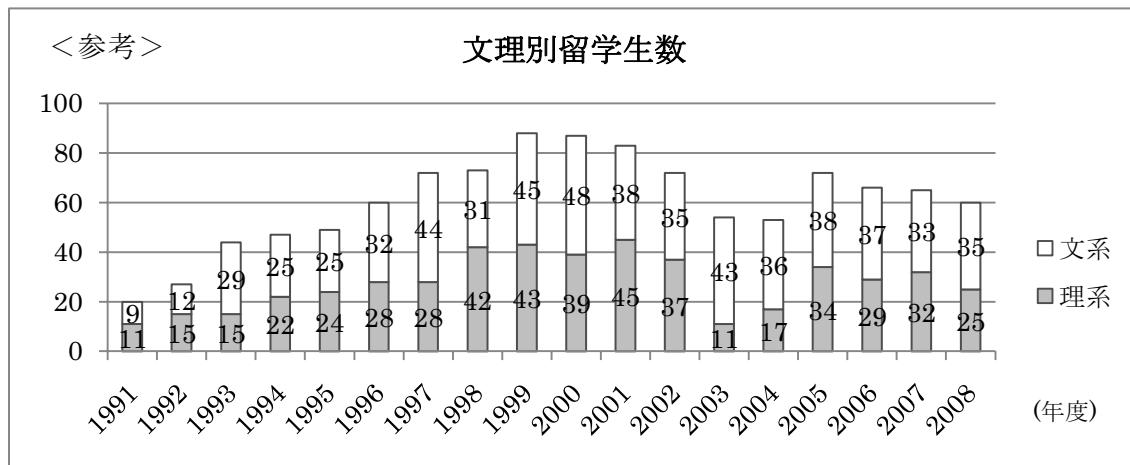
2. 回答者の専攻分野について

質問 1 では、回答者の所属について質問をおこなった。その情報をもとに「専攻分野」に分けて回答数を集計したものが以下である。



文科系分野から 95 件、理科系分野 86 件の回答があった。例年、国費学部学生は、文科

系分野を志望する学生のほうが、理科系分野を志望する学生よりも多く、文科系の回答者数が理科系よりも若干多いのは、これと関連するかもしれない。参考までに、大阪大学日本語日本文化教育センター（旧大阪外国語大学の時期も含む）で教育を受けた国費学部留学生の文理別人数を挙げておこう。



調査回答数に戻れば、文科系の中では経済学・経営学が、そして、理科系の中では情報工学・電子工学・電気工学の分野からの回答数がもっと多い。具体的には、文科系全回答 95 件のうち、社会科学が 44 件で、そのうち、経済学・経営学 33 件、法学 11 件である。また、理科系全回答 86 件、そのうち工学系が 74 件で理学が 9 件である。工学系の中では、電気電子情報工学分野から 43 件の回答があった。

国費学部留学生が志望する分野に関して、文科系では経済学・経営学が、そして、理科系では電気電子工学・情報工学が常にトップを占めており、これらの分野からの回答が最も多いのも、それと無関係ではないだろう。次表は、本センターの国費学部留学生プログラムにおいて、ここ 5 年の間に留学生が志望した専攻分野とその人数である。

(文科系)	2004	2005	2006	2007	2008
経済・経営学	26	22	16	16	25
国際関係	5	9	5	7	1
法学・政治学		4	5	5	1
言語学・文学	3	2	3	2	4
歴史学	1		2	1	
社会学	1	1	3		2
教育学			1		
心理学			2	2	
国際文化学					2

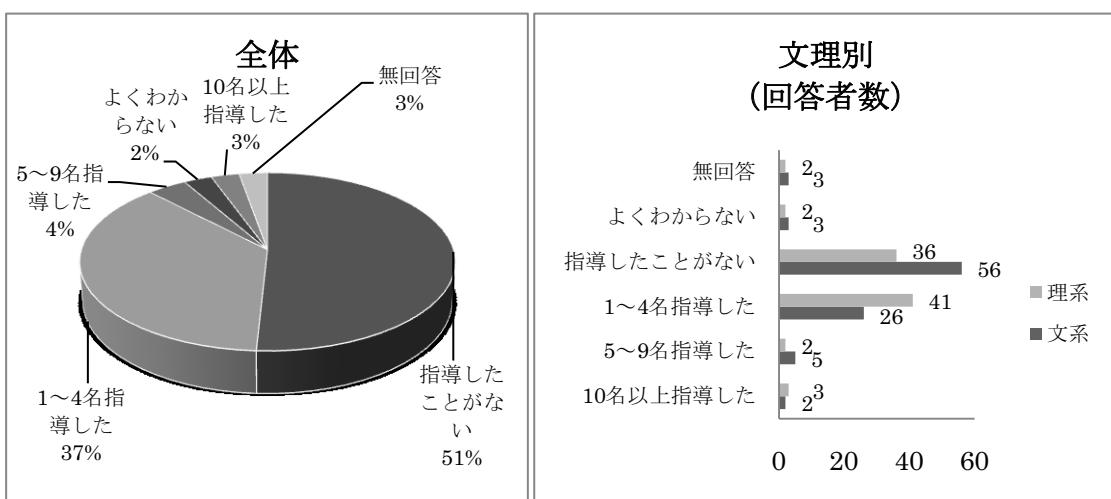
(理科系)	2004	2005	2006	2007	2008
電気電子工学		14	6	6	6
情報工学	1	9	7	10	3
機械工学	4	7	5	5	4
航空工学			2		1
環境工学・環境デザイン	2		1	1	1
建築・土木工学	1	2	3	1	3
化学工学・応用化学	2	1	3	2	
材料工学				2	
生物工学	2				1
物理工学					1
社会システム工学				1	1

数学				1	
物理学	2			2	3
化学	2	1	1	1	1
天文学	1				
化学教育			1		

3. 国費学部留学生の指導経験について

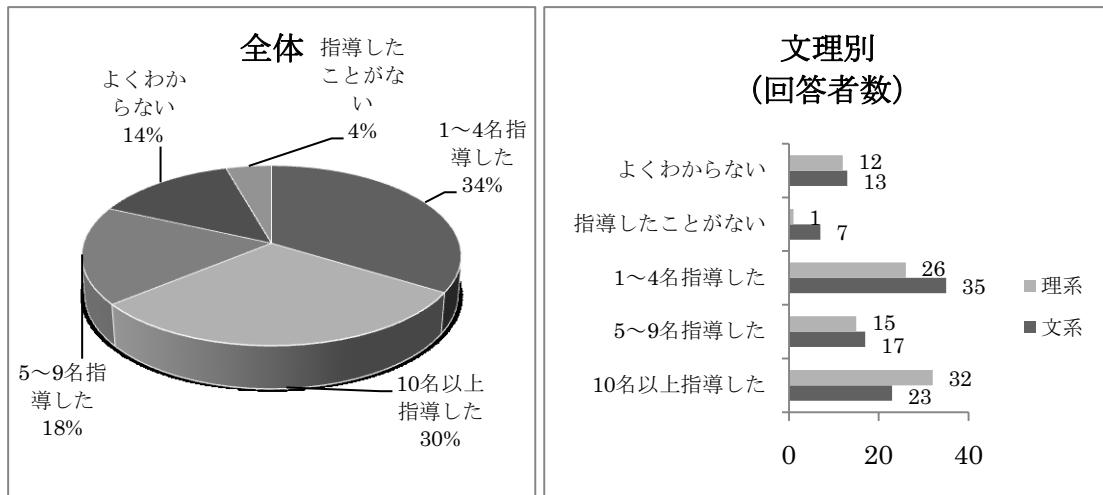
質問2と3では、指導にあたった国費学部留学生の人数について尋ねた。

質問2 これまで国費学部留学生を指導教員（卒業論文主査）として何人程度指導されましたか。



結果を見ると、主査としての指導歴がない教員が半数に上る一方で、全体の約44%に当たる79名が主指導教員となつたことがあると回答している。詳しく見ると、文系では95名中33名、理系では86名中46名に指導経験がある。「指導したことがない」という回答の中には、国費留学生ではないが、私費留学生を指導したことがある教員も含まれると考えられる。従って、それらの方からの回答も、国費留学生に特化したものではないが、留学生一般に対する傾向を示すものであり、その資料的価値が損なわるものではない。また、「よくわからない」という選択肢は、「記憶が定かでない」、「指導した学生が留学生かどうかわからない」というのではなく、指導した留学生が国費であるか否かを知らないという意図であり、これを選択した回答者の中にも、国費留学生を指導した経験のある教員が含まれる可能性がある。質問8（自由記述意見）的回答に「国費学部留学生と他の留学生の区別はつかない」との記述が散見されることからも、このことは明らかである。無回答についても同様に考えてもよいかもしれない。

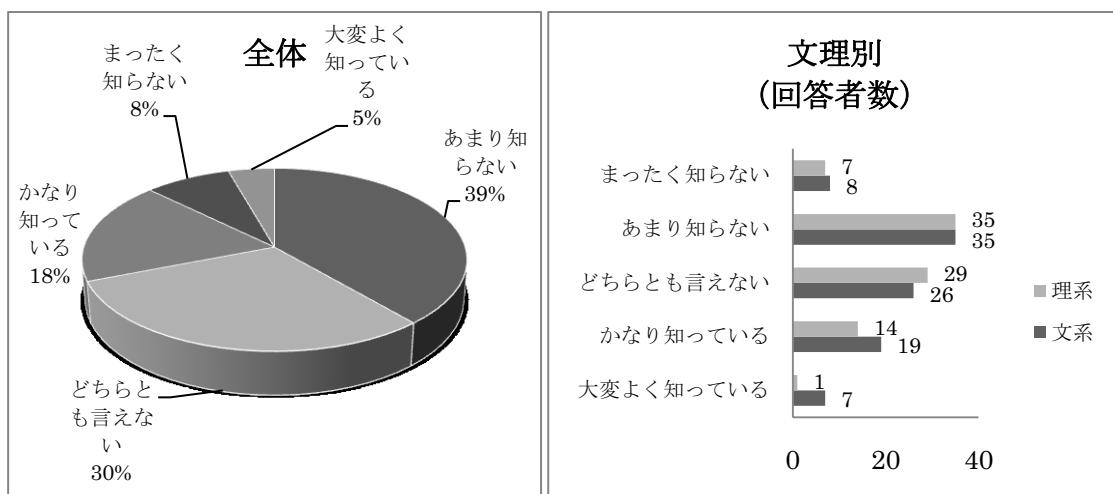
質問3 これまで講義や演習などの授業で、国費学部留学生を受講生として何人程度指導されましたか。



主査としてではなく、授業の中で国費留学生を指導したことがあるかという質問では、かなりの方が指導歴があると回答された（181名中148名、約82%）。先の質問2同様、「よくわからない」は、国費かどうか不明だが留学生を指導したことであるので、実際の人数はさらに多いと考えられ、回答者のほとんどが何らかの形で留学生を指導したことになり、今回の調査では、単なる理念的なものではなく、実際に留学生を指導された教員からの経験的な回答が寄せられていると言ってよいだろう。

次の問い合わせでは、国費学部留学生制度や予備教育について質問をおこなった。

質問4 国費学部留学生制度や国費学部留学生予備教育について、どの程度ご存知ですか。



結果は、国費学部留学生の制度や予備教育について知っていると答えた人はあまり多くなく、41件（約23%）であった。「どちらとも言えない」という回答とあわせると半数（約

53%) が多少とも何らかの知識を持っているのではないかと思われるが、残り半数には制度や予備教育に関する情報が行き渡っていないことが窺える。本センターでは、予備教育を修了した留学生達が学部進学後どのような就学状況にあるかを長年にわたり継続的に追跡調査してきた。そこから集められた情報を参考に、常時、カリキュラムを精査し、必要に応じて速やかに改善するなどに努めている。今回の教育項目調査もその一環である。この調査をもとに、さらに充実したカリキュラムを検討していくとともに、予備教育の現場から積極的に情報発信をおこなう必要をあらためて感じた。

4. 学習活動を行うために必要な言語運用能力について

質問5は、各専攻での学習活動を行うために備えているべき言語運用能力に対する質問項目である。日本語と英語の能力に関する個別の質問として、具体的に項目を設定し、その各々について、入学時に必ず身につけているべき運用能力はどれか、また、十分に身につけておらず勉強に支障をきたしている能力はどれか、を選択してもらう形式で回答を得た。詳細について、別紙「言語活動調査票」（調査票Ⅱ）で回答することになっており、その結果は別稿で報告されているので、そちらをご覧いただきたい。

5. 専攻分野の勉学に必須の教科について

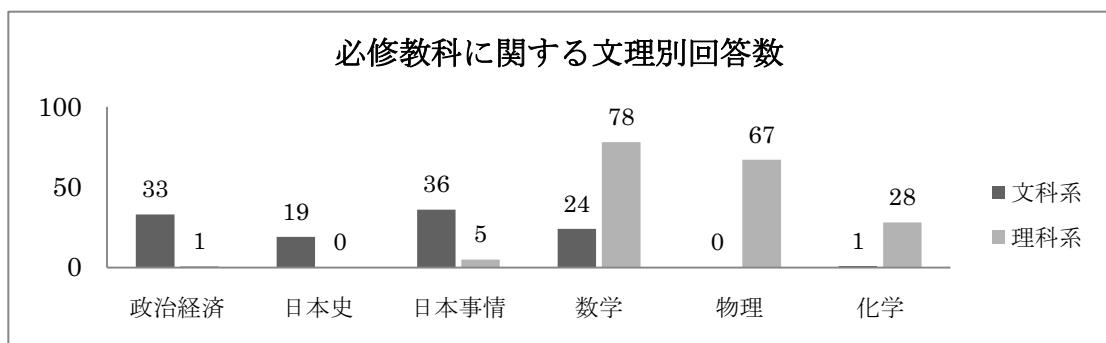
続いて、質問6では、各専攻での勉学に必須の教科を下の6科目の中から選び、次いで、選択された各科目について、高等学校学習指導要領の学習項目に沿って作成した別紙「学習項目調査票」（調査票Ⅲ）について回答するようお願いした。

質問6 先生のご所属の学科・専攻での勉学に必須の教科を下の6科目の中から選んで[X]印をつけ、それら全ての教科について、別紙「学習項目調査票」（調査票Ⅲ）にご回答をお願いします。

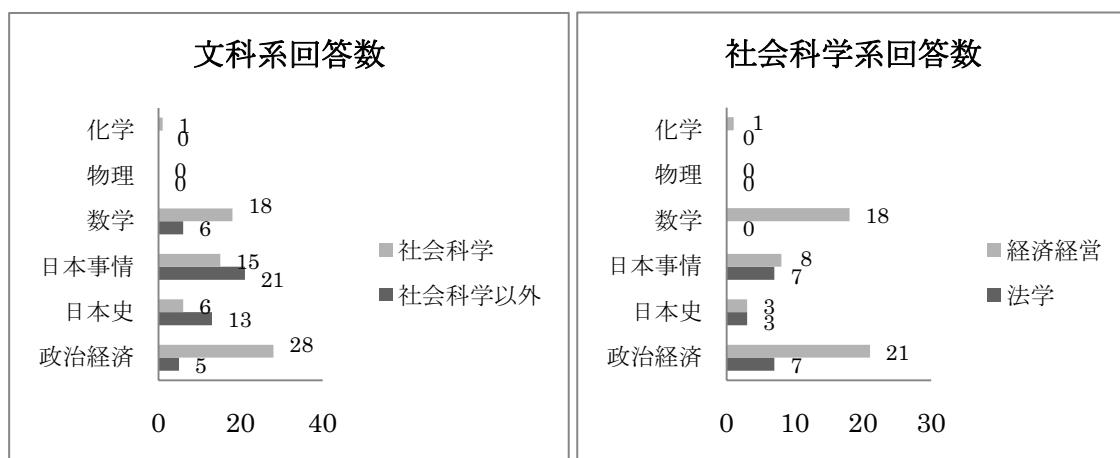
<予備教育科目>		<高等学校学習指導要領>
科目名 :	(1) [] 政治経済	: 公民 (政治経済)
	(2) [] 日本史	: 地理歴史 (日本史)
	(3) [] 日本事情	: 公民 (現代社会), 地理歴史 (地理) 等
	(4) [] 数学	: 数学
	(5) [] 物理	: 理科 (物理)
	(6) [] 化学	: 理科 (化学)

調査票Ⅲの結果については、科目別の報告を準備しているところである。詳細はそちらに譲り、本稿では、各専攻分野の勉学のためにどの科目が必須とされているかについてのみ考察する。

文科系分野と理科系分野別の回答数は、以下の通りである。（なお、調査票Ⅰの質問6において各科目を選択した数と調査票Ⅲの各科目の回答数が異なるものがあった。本稿と調査票Ⅲの分析報告で回答数が異なるのはそのためである。）

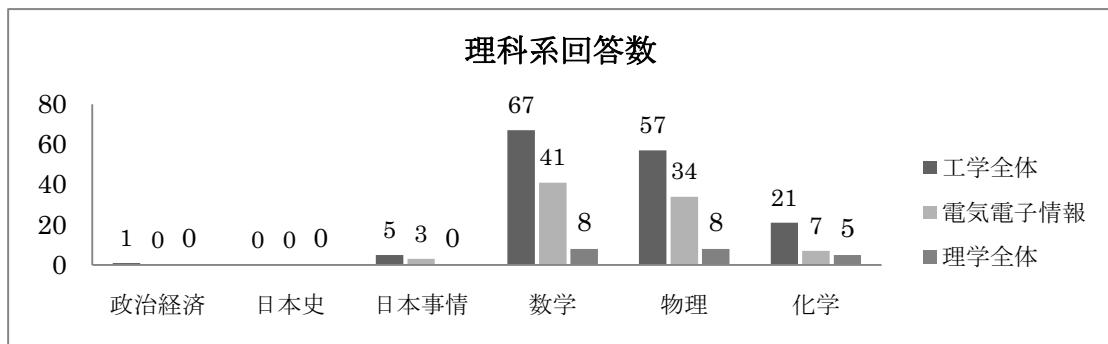


文科系専攻分野では文科系科目（政治経済、日本史）、理科系専攻分野では理科系科目（数学、物理、化学）を必須とする回答が多いのは、当然の結果であろう。文系分野で数学を必須とした回答があるが、これは、以下のグラフから分かるように大半が経済学・経営学の分野である。



本センター国費学部留学生プログラム（Uプログラム）では、経済学・経営学分野において数学の知識が重要であるという前提で、当該分野を志望する学生には、数学を必修科目として課しているが、上の結果はその妥当性を裏付けている。また、社会科学の分野では、政治経済の基礎知識に対する要求度も高い（経済学・経営学分野では 33 件中 21 件、法学分野では 11 件中 7 件、いずれも約 64%）。

次のグラフに見るように、理科系分野では、工学系・理学系を問わず、数学と物理の知識が重要であることが調査から窺い知れる。また、工学系の化学工学や理学系の化学等に限らず、化学の知識が要求されるフィールドがあることも分かり、1年間のUプログラム課程の限られた時間の中で、化学を全理系学生に履修させていることにも意義があることが再確認できる。



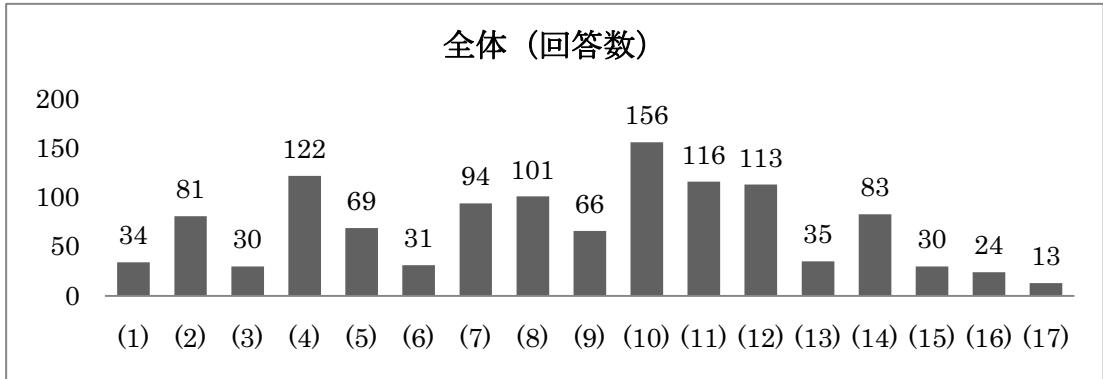
6. 入学時に身につけておくべきことについて

質問7においては、留学生が入学時に身につけておく必要があることについて選択肢から選ぶ形式で尋ねた。

質問7 国費学部留学生にとってどのようなことが最も重要だとお考えですか。入学時の留学生にとって非常に重要だとお考えのものをお選びください。（複数回答可）

- (1) [] 日本語が日本人学生と同程度できること
- (2) [] 高校の各教科について日本人学生と同程度に知識があること
- (3) [] 専門分野について知識があること
- (4) [] 大学の授業シラバスがだいたい理解できる語彙力があること
- (5) [] 英語ができること
- (6) [] 日本について知識があること
- (7) [] 日本に対する興味・関心があること
- (8) [] 知的能力に優れていること
- (9) [] 課題設定し、探求・解決する能力があること
- (10) [] 学習意欲が高いこと
- (11) [] 目的意識が高いこと
- (12) [] 勤勉なこと
- (13) [] 創造性があること
- (14) [] 協調性があること
- (15) [] 入学した大学、学部、学科について知識があること
- (16) [] 大学のある地域や日常生活について知識があること
- (17) [] その他

結果は次に示すとおりである。



全体として、最も多くの教員が留学生にとって重要と考えるのが、

(10) 学習意欲が高いこと（全回答者中 86%）

であり、

(11) 目的意識が高いこと（同 64%）

(12) 勉強なこと（同 62%）

が各々 2 番目と 3 番目に来ていることからも、勉学に対するモチベーションが重視されていることが窺える。また、

(4) 大学の授業シラバスがだいたい理解できる語彙力があること（同 67%）

が重要という回答が 2 番目に多く、日本語の読解能力が要求されていることが推察される。

その他、

(8) 知的能力に優れていること（同 56%）

(7) 日本に対する興味・関心があること（同 52%）

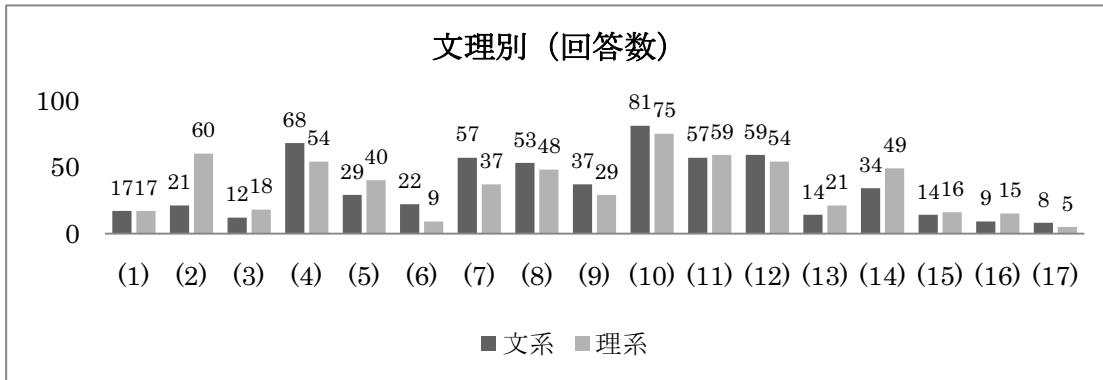
についても、半数以上が重要であると考え、

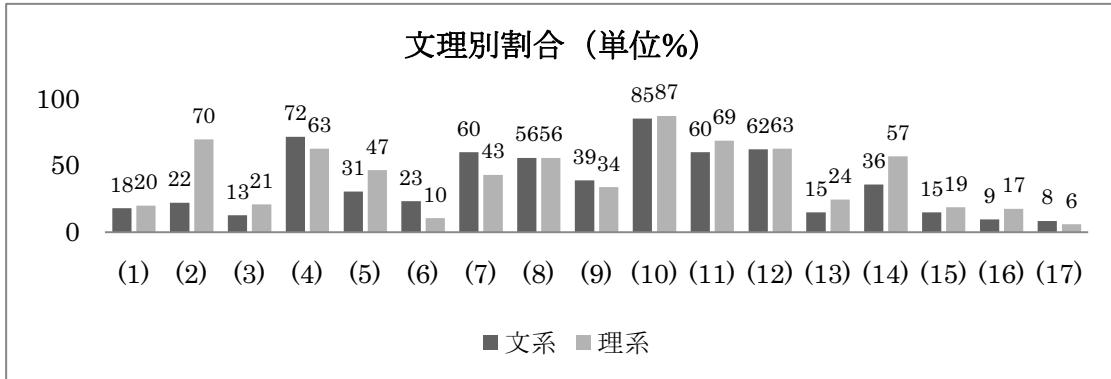
(2) 高校の各教科について日本人学生と同程度に知識があること（同 45%）

(14) 協調性があること（同 46%）

も半数近くが選択している。なお、誰もが重要でないと答えた項目はなかった。

以下は、文科系と理科系に分けて、回答数を集計したもの（回答数と割合）である。





文科系と理科系の各々で半数以上が重要と答えている項目を取り上げると、次のようになる。（割合の高い順）

<文科系>

- (10) 学習意欲が高いこと (85%)
- (4) 大学の授業シラバスがだいたい理解できる語彙力があること (72%)
- (12) 勉強なこと (62%)
- (7) 日本に対する興味・関心があること (60%)
- (11) 目的意識が高いこと (60%)
- (8) 知的能力に優れていること (56%)

<理科系>

- (10) 学習意欲が高いこと (87%)
- (2) 高校の各教科について日本人学生と同程度に知識があること (70%)
- (11) 目的意識が高いこと (69%)
- (4) 大学の授業シラバスがだいたい理解できる語彙力があること (63%)
- (12) 勉強なこと (63%)
- (14) 協調性があること (57%)
- (8) 知的能力に優れていること (56%)

文理共に重要視する学習意欲・目的意識・勉強さ・知的能力という側面に関して、育成という点では予備教育機関の域を超えており、やはり教育機関の一つとして、本センターでは、常日頃、留学生に対しては学習意欲や目的意識を高く持つよう指導している。(4) 「大学の授業シラバスがだいたい理解できる語彙力があること」については、予備教育機関がまさに受け持たなければならない部分であり、日本語学習における具体的な「教材」として積極的に取り入れていく必要がある。

文科系に比べ、理科系では(2)「高校の各教科について日本人学生と同程度に知識があること」を重要視する割合が極めて高い。これは、質問6において、数学や物理を必須とする回答が多いことと連動していると思われる。また、文科系では(7)「日本に対する興味・関心があること」の割合が高く、日本の文化・社会・歴史等の知識をその背景として必要

とする分野が少なくないことと関係するのかもしれない。ただ、理科系においても、37件(43%)が同項目を重要だと答えており、日本への興味・関心は、恐らく「日本で学びたい」という姿勢につながっており、それが「学習意欲」、「目的意識」、「勤勉さ」の動機となる重要な要件であると考えられるからではないだろうか。

選択肢(17)「その他」として、具体的に以下のような回答が寄せられた。

- 日本人並みに漢字を身につける意思があること(テキスト読解やレポート・試験等をすべて英語で済ませようと考えると、卒業までに無理が生じる)。
- 日本語の講義が理解でき、日常生活が出来る程度の日本語能力があること
- (1)「日本語が日本人と同程度できること」は不要だが、(4)「大学の授業シラバスがだいたい理解できること」では足りない
- 大学の授業についていけるだけの最低限の日本語能力
- 日本語または英語が大学生レベルでできること
- 高校の日本史以外の各教科について日本人学生と同程度に知識があること
- 経済学部に入るなら数字が苦手でないこと。
- 教師の専門について知っていること
- 柔軟に環境に適応できること
- 異文化や他者に対して観察力があり柔軟な思考ができること。
- 知らないことを知らないと素直に認識し、質問できる力。
- 日本人学生に対して積極的に話しかけられること
- 日本人の学生と友人になれることが最も重要です。

日本語能力や高校教科に関する知識のほか、「環境への適応能力」、「異文化に対する観察力」、「日本人学生との積極的な交流」等の必要性が指摘されている。本センターでは専任教員によるアドバイザーリー制を導入し、母国と文化・習慣・環境が異なる日本での留学において、勉学だけでなく環境・生活面でもサポートする体制を整えている。また、留学生には来日時よりチューター（学部や大学院の学生）を配置し、日本人との交流という面でも成果を得ているところであるが、今回の調査を参考に、教育内容のみならず、生活・環境面でも一層充実したカリキュラムを検討していきたい。

7. その他の意見や要望

質問の最後に、本調査や予備教育に対する要望や意見を自由記述の形式で募った。

質問8 自由記述意見欄

本調査の内容や方法についてのご意見、国費学部留学生予備教育に対するご要望、その他国費学部留学生教育に関するご意見などをご自由にお書きください。

67 名から寄せられた意見や要望は、私たちにとって貴重かつ有益なコメントばかりであったが、学生の個人的な情報も多く含まれるため、そのままでは公開できず、残念ながらそのまま資料として掲載することを控えることにした。それに代わり、本節では、その中から本調査や予備教育に対する意見や要望を中心に取り上げ、調査の反省も踏まえながら、今後、予備教育機関が目指すべきことについて考えたい。

本調査に関しては、調査票ⅡとⅢの項目が細かすぎるというような意見が複数あった。例えば：

- ✧ 言語活動調査票の各項目の内容が細かすぎて、相互の違いがよく分からなかった。
- ✧ 数学は、語学と異なり個別の項目の修得度を評価することは困難です。
- ✧ 調査票Ⅲの「日本史」の欄は、細分化されていて、このように細分化されたなかのどれか一つが特に重要ということはありません。

調査票中の学習項目は『高等学校学習指導要領』の内容に沿って作成したものであり、短期間の予備教育で扱う学習指導項目の内容や優先度などを明らかにするという本調査の目的のためには必要な項目設定であると考えている。ただ、この細分化が回答を困難・不可能にしているとの意見があるのも確かで、大項目（『指導要領』における「(1)(2)(3)／ABC...」の項目）や中項目（同じく「アイウエオ...」の項目）でも回答できるような形式であれば、さらに多くの回答が得られた可能性がある。

また、以下のような指摘も習得度の回答方法と関連している。

- ✧ 国費留学生は個人差が大きいので、今回のアンケートはあまり意味がないかもしれません
- ✧ 英語圏、漢字圏、その他によって必要な事が異なる気がするので、一括りとして解答するのは、難しく思います。

単純な言い方をすれば、短期間の予備教育で効果的に基礎科目の知識を習得させるには、「身に付けているべきだが、十分身についていない」項目を優先して教えることである。そのために【欄B：習得度】（十分に身についていない、学習が不足している、と思われる学習項目に✓をつけ、…）とともに【欄A： 重要度】（入学時に必ず身に付けているべきだと思われる学習項目に✓をつけ、…）を設けている。欄Aに関しては、所与の専攻分野を学ぶために前提となる知識を問うもので、学生毎に異なるような性質のものではないと判断したい。従って、原則的にそのままで準備教育課程の教育内容を再検討するに資するデータとなろう。一方、欄B（習得度）に関しては、担当した留学生の個人資質が回答の出所となるのは否めない。しかし、それなりの数の回答があれば、学部レベルの留学生

の全体的な傾向を語るデータとして価値のあるものになるのではないだろうか。ただし、異なる能力の留学生を複数名担当している回答者にとっては答え方に窮するのも確かである。すなわち、ある学生は所与の項目を身につけているが、別の学生は身につけていない場合に、どちらとしてマークすべきかに迷うだろう。そのようなケースに備え、選択肢を増やすなり、優先してほしい方を明記するなりして細やかな対応や指示をすべきだったと反省している。

他にも、意図が不明瞭な質問があること、記入しやすい調査票の形式、アンケート対象者の選定、等々、調査方法の改良につながる意見や助言が多数あった。

現在の予備教育に関しては、肯定的な評価を表明してくださる回答が多くあった。

- ✧ 日本語教育については、適切に行われていたと思います。
- ✧ 予備教育がよくなされているように見受けます。
- ✧ わずか一年の予備教育がこれだけの成果を挙げていることに、感心しております。
- ✧ 総じて、1年間の予備教育課程のシステムは、うまく機能していると感じています。
- ✧ 予備教育は熱心に受講しており、好評である。
- ✧ 予備教育は引き続き継続して頂くことで、日本に対する正しい理解を留学生の方に深めて頂けると考えています。
- ✧ 予備教育で知り合った同じ国の仲間は、学部で全国に散らばった後でもお互いに情報交換や励まし会いなどのサポートしあっているケースが多く、その意味でも予備教育の重要性を改めて認識しております。

もちろん、今回、特に意見を明記くださった回答者に限らず、他のすべての回答者も学部進学前予備教育に期待を寄せているが故に今回の調査にご協力くださったと理解しており、予備教育に携わる私たちはその責任の重さを再認識している。以下のように学生の日本語能力が十分でないとの指摘も少なくなく、我々が中でも専門とする日本語教育の面で工夫を図り、その内容をさらに充実させていくべき責務があることをあらためて認識したことは言うまでもない。

- ✧ ただ、読み書きの能力は、これらに比してやや劣る場合が多いように思われます。
- ✧ 漢字の読み方を徹底的に訓練(学習)させて下さい。
- ✧ 授業についていける日本語の聞き取り能力と通常の授業レポートを記述できる、書き取り能力、学生生活における様々な日常会話をできる能力を予備教育でしていただけることを強く希望します。
- ✧ 日本人学生と同程度の日本語能力は望みませんが、大学の授業についていけるだけの最低限の能力（日本語能力検定2級から1級程度）は予備教育で身につけてきて欲しいと思います。

また、本学日本語日本文化教育センターと東京外国語大学留学生日本語教育センターとでカリキュラム体制が一部異なるところがあるのだが、それに言及した回答があった。そのような細かな点までご存じの先生もいらっしゃるのかとうれしい限りである。

◆ 東京外国語大学と大阪外国語大学の予備教育では一部カリキュラムが異なり、例えば、文系の日本史が大阪外国語大学では必修であるのに対し、東京外国語大学ではそうではないため、B-6 の項目には、それを反映した回答ができない点が気になった。

一方、先の質問 4 の回答数からも明らかのように、回答者の半数に国費学部留学生予備教育（や国費学部留学生制度）が知られていないのもまた事実である。

◆ 予備教育のシステム（どのようなもので、どのような授業を受けてきているのか等）について、どの先生も共有認識できるようなもの（具体的に思い浮かばないのですが、マニュアルや通達のようなもの）があればよいかと思いました。

本センターのUプログラムは、国費留学生として来日した学生に日本の大学で 4 年間の学部教育を受けるために必要な日本語および専門に関わる基礎的な学科目を身につけるという、極めて具体的な目標を掲げた教育課程である。私たちは、同プログラムの修了生が、学部進学後、どのような就学状況にあるか、また、問題があるならそれは何か、予備教育課程はその解決のために何ができるか、について把握しようと務めている。そして、そのためには進学先大学と本センターとのネットワークの構築が不可欠ではないかとも考えており、本センターがそのために果たすべき役割についても、今後、検討しなければならないと強く感じている。回答でも、予備教育機関との連携や大学間での情報共有について、次のような要望が記されている。

◆ 大学との連携をよろしくお願ひします。

◆ 個人の能力開発だけでなく、ネットワークとして配属先とよく協調できることが必要と思います。

◆ 国費学部留学生教育に関する各大学での努力について、情報提供頂けると有難いです。

先にも述べてきたように、本センターが毎年実施している「大学進学説明会」および「進学大学追跡調査」は、予備教育課程に関する情報提供の場を兼ね、進学先大学との連携への足がかりとなるよう毎回期待している。今回、実施したアンケート調査は、このような例年の取り組みをさらに進展させることを目指して行ったものであり、予備教育機関と進学先大学との継続した有機的な連携へつながる新たな道筋となることを強く願っている。

国費学部留学生予備教育課程における「日本語」科目のあり方

今井 忍（大阪大学日本語日本文化教育センター）

1. はじめに

本稿では学部留学生予備教育課程における「日本語」の教育改善を目的として、本調査「日本語」について報告と分析を行う。分析対象とする回答は、文科系所属学部・研究科からの回答 96 件、および、理科系所属学部・研究科からの回答 88 件の計 184 件についてである。

2. 入学時に身につけているべき教科内容について

まず、文科系と理科系の区別に関わりなく、全体的な傾向から見ると、欄 A の「入学時に必ず身につけているべき」という回答が多かったものとしては、以下の項目が挙げられる（回答率 80%以上の項目）。

- (1) 「日常会話を聞いて、話し手の意向を理解したり、必要な情報や概要、要点をとらえたりすることができる」(88.63%)
 「関心のあることについて相手に質問したり、相手の質問に答えたりすることができる」(85.92%)
 「日常的な内容の文章を読んで、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる」(85.44%)
 「自分が伝えようとする内容を、論理的に述べることができる」(83.62%)

一方、文理別に見た場合、80%以上の回答率を得たものは以下の通りである。

(2) [文科系]

- 「日常会話を聞いて、話し手の意向を理解したり、必要な情報や概要、要点をとらえたりすることができる」(87.5%)
 「関心のあることについて相手に質問したり、相手の質問に答えたりすることができる」(82.29%)
 「日常的な内容の文章を読んで、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる」(80.21%)
 「自分が伝えようとする内容を、論理的に述べることができます」(80.21%)

(3) [理科系]

- 「日常的な内容の文章を読んで、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点を

- とらえることができる」(91.14%)
- 「日常会話を聞いて、話し手の意向を理解したり、必要な情報や概要、要点をとらえたりすることができる」(89.87%)
- 「関心のあることについて相手に質問したり、相手の質問に答えたりすることができる」(89.87%)
- 「自分が伝えようとする内容を、論理的に述べることができる」(87.34%)
- 「自分が伝えようとする内容を、論理的に構成しながら文章にまとめることができる」(82.28%)
- 「講義を聞きながら、必要な情報をノートにとることができます」(81.01%)

回答率に差はあるものの、項目としてはほぼ一致している。

また、「必ず身につけているべき」という回答が少なかった項目としては、以下の項目が挙げられる（回答率10%未満の項目）。

- (4) 「近代文語文、古文や漢文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解することができる」(2.78%)
- 「文学的な文章を読んで、内容を的確にとらえ、表現を味わうことができる」(6.77%)

文理別に見ると以下の通りである（10%未満の項目）。

(5) [文科系]

- 「文学的な文章を読んで、内容を的確にとらえ、表現を味わうことができる」(8.33%)
- 「近代文語文、古文や漢文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解することができる」(4.17%)

(6) [理科系]

- 「文学的な文章を読んで、内容を的確にとらえ、表現を味わうことができる」(5.06%)
- 「近代文語文、古文や漢文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解することができる」(1.27%)

ここでも文理間で項目が完全に一致している。

一方、文科系と理科系の間で差が大きかったものは、以下の通りである。

- (7) 「主な常用漢字を書くことができる」(文科系 43.75%、理科系 29.11%)
「学術的な内容の話を聞いて、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる」(文科系 51.04%、理科系 75.95%)
「学術的な内容の文章を読んで、論理の展開や内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる」(文科系 54.17%、理科系 75.95%)
「漢字で書かれた専門用語を読んで理解することができる」(文科系 30.21%、理科系 50.63%)

ここから、文科系の教員が漢字を書く能力を重視しているということ、理科系の教員は学術的な文脈における日本語能力を重視しているという傾向を見て取ることができる。

3. 十分に身につけていない、学習が不足している教科内容について

2では、文理に関わりなく、日常的なレベルでの日本語が重要であるという回答の傾向を見たが、ここで問題となるのは実際に留学生たちがそのような日常レベルでの日本語で問題を抱えているかどうかという点である。そこで、欄Bの「十分身につけていない、学習が不足している」と思われる項目について見てみよう。欄Bの回答数は欄Aに比べて全体に少なく、そのことは、回答者の多くが留学生の日本語能力の現状にそれほど大きな問題を感じていないということを示しているが、その中で最も多いのは、以下の項目である(20%以上の項目)。

- (8) 「学術的な内容の話を聞いて、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる」(31.26%)
「学術的な内容の文章を読んで、論理の展開や内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる」(31.26%)
「自分が伝えようとする内容を、論理的に構成しながら文章にまとめることができる」(27.81%)
「自分が伝えようとする内容を、正しい表記法で書くことができる」(23.58%)
「聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、話し合ったり意見の交換ができる」(22.19%)
「自分が伝えようとする内容を、論理的に述べることができる」(22.13%)
「漢字で書かれた専門用語を読んで理解することができる」(21.64%)

これらの項目は、主に学習・研究の上で必要な日本語能力を主に指しており、問題と考えられているのは、日常レベルでの日本語能力ではなく、学術的な内容を理解するための日本語能力であると考えてよい。

文理別に見ると以下のような(20%以上の項目)。

(9) [文科系]

- 「学術的な内容の話を聞いて、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる」(34.38%)
- 「学術的な内容の文章を読んで、論理の展開や内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる」(34.38%)
- 「自分が伝えようとする内容を、論理的に構成しながら文章にまとめることができる」(31.25%)
- 「自分が伝えようとする内容を、論理的に述べることができる」(25%)
- 「聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、話し合ったり意見の交換ができる」(23.96%)
- 「漢字で書かれた専門用語を読んで理解することができる」(22.92%)
- 「筆記試験などで設問に対する解答を、必要な速度で書くことができる」(22.92%)
- 「自分が伝えようとする内容を、目的や場に応じて文体などの表現を工夫しながら話すことができる」(21.88%)
- 「自分が伝えようとする内容を、正しい表記法で書くことができる」(20.83%)

(10) [理科系]

- 「学術的な内容の話を聞いて、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる」(27.85%)
- 「学術的な内容の文章を読んで、論理の展開や内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる」(27.85%)
- 「自分が伝えようとする内容を、正しい表記法で書くことができる」(26.58%)
- 「自分が伝えようとする内容を、論理的に構成しながら文章にまとめることができる」(24.05%)
- 「聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、話し合ったり意見の交換ができる」(20.25%)
- 「漢字で書かれた専門用語を読んで理解することができる」(20.25%)

ここでも数値は異なるものの、項目としては文理の差はなく、ほぼ同一と言ってよい。

文理間で数値に開きがある項目は以下の通りである。

- (11) 「与えられた文章を、目的にあわせて、必要な速度で読むことができる」(文科系 18.75%、理科系 10.13%)
- 「自分が伝えようとする内容を、目的や場に応じて文体などの表現を工夫しながら話すことができる」(文科系 21.88%、理科系 13.92%)
 - 「日常的な内容の文章を読んで、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる」(文科系 6.25%、理科系 13.92%)

「日常会話を聞いて、話し手の意向を理解したり、必要な情報や概要、要点をとらえたりすることができる」（文科系 5.21%、理科系 16.46%）

文科系の教員が主に口頭での目的に応じた表現力が不足していると見ているのに対し、理科系の教員は、日常的な読解能力や日常的な聴解能力が不足していると考えているようである。

一方、欄 B への回答が少なかったのは、文理別に見ると以下の項目である（文科系 10% 未満の項目、理科系 15% 未満の項目）。

(12) [文科系]

「日常的な内容の文章を読んで、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる」(6.25%)

「日常会話を聞いて、話し手の意向を理解したり、必要な情報や概要、要点をとらえたりすることができる」(5.21%)

(13) [理科系]

「自分が伝えようとする内容を、目的や場に応じて文体などの表現を工夫しながら話すことができる」(13.92%)

「文学的な文章を読んで、内容を的確にとらえ、表現を味わうことができる」(13.92%)

「日常的な内容の文章を読んで、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる」(13.92%)

「与えられた文章を、目的にあわせて、必要な速度で読むことができる」(10.13%)

「主な常用漢字を書くことができる」(10.13%)

理科系の教員からの回答では、文学的な内容の鑑賞や文体の工夫などが回答率が低い、すなわち、不足していないという傾向が強いということになるが、これは理科系の留学生が文学的な鑑賞能力を備えている、あるいは、文体などの工夫ができる、と教員が判断しているというよりは、そのような能力が関与的ではないと判断した結果と思われる。

また、文理の間で回答率に差があった項目は以下の通りである。

(14) 「日常的な内容の文章を読んで、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる」(9.2%)

「日常会話を聞いて、話し手の意向を理解したり、必要な情報や概要、要点をとらえたりすることができる」(9.8%)

「主な常用漢字を書くことができる」(10.9%)

これらは、先の（1）で見た項目との重なりが多い。すなわち、これらの日常レベルでの日本語能力については、多くの回答者が「必要であるし、実際留学生たちは身につけている」と考えているのであり、その点ではさしあたって問題とする必要はないと言える。

これらの結果から、全体的には、日常的なレベルでの日本語の能力が最も重要であると考えており、より高度で専門に特化した能力（「表現を味わう」「文語文、古文・漢文の理解」）を重視する人は少ないと言える。これはある意味で当然のことであり、留学生が日本で学習・研究を続けていく以上、教員や友人知人との日常的なコミュニケーションができないようでは、とうてい有意義な留学生活を送ることができないことは言うまでもない。

4. まとめ

これまでに明らかになったように、文科系と理科系の間での結果の差はそれほど大きくはない。あえて言うならば、文科系の教員が目的に応じた高度な口頭表現が必要と考えているのに対し、理科系の教員は専門的な読解力や聴解力を重視しているという差が多少見られる程度である。ここではそのような差をさしあたって除外し、文理共通の問題として国費学部留学生に対する予備教育にとって何が真に必要とされているのかを考えてみたい。そのためには、まず「必要であるが、身についていない」と考えられている項目が何であるかを把握しなければならない。

そのための一つの方法として、欄 A の回答数と欄 B の回答数の単純な和をとって、その値が多いものを抽出することが考えられる。そうすれば、「必要であるが身についていない」項目が最上位に来るような順位が得られることになる。しかしながら、前述のように欄 A に比べると欄 B の回答数は全体に非常に少ないと、ただ単純な和では欄 A の影響が欄 B に比べて大きく出すぎてしまう。つまり、欄 A の回答数の上位に挙がったものとあまり変わらなくなってしまうのである。

もちろん、前述のように、欄 A に対して欄 B の回答数が少ないことは、回答者の多くが留学生の日本語能力に対して大きな問題を感じていないということを表しているのだが、ここでは、そのような前提を持つつも、欄 A と欄 B の回答数をあえて「平準化」するという方法をとることにした。すなわち、ある項目に対する 2 種類の回答数を単純に足すのではなく、欄 A で最も多い回答数である 155 という数値で割ったものと、欄 B で最も多い回答数である 54 という数値で割ったものどうしを足したのである。以下はその数値で上位を占めた 4 項目である（数値自体には意味がないので割愛した）。

（15）「自分が伝えようとする内容を、論理的に構成しながら文章にまとめることができる」

「学術的な内容の文章を読んで、論理の展開や内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる」

「学術的な内容の話を聞いて、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる」

「自分が伝えようとする内容を、論理的に述べることができる」

これらの項目は、前述の（8）と多く重なっていることが分かる。（3）になかった項目は、「自分が伝えようとする内容を、論理的に述べることができる」であるが、これは「自分が伝えようとする内容を、論理的に構成しながら文章にまとめることができる」を口頭表現に置き換えたものであり、内容としてはほぼ同じものと言える。

ここから分かることは、多くの大学教員が留学生に望んでいるが現在は欠けていると感じている日本語能力とは、学術的な内容を理解し、それに基づいて自分が考えることを論理的に表現できる能力であることが分かる。

この結果に基づいて、今後の予備教育カリキュラムの改善のためにどのような方向を目指せばよいかを考えたい。現在、本センターの日本語カリキュラムは初級者向けと上級者向けの2つに大きく分けられる。初級者向けカリキュラムでは、文法と漢字を中心として、教授過程において聴解能力、会話能力を養成していくというのが4月から12月までの基本的な流れとなっている。上級者向けカリキュラムは、読解・口頭発表・講義聴解などのより高度な日本語力に重点を置いたものとなっており、その中で学術的な日本語における表現や漢字語彙などの習得が行われている。1月以降は、いずれのカリキュラムでも口頭発表・講義聴解・論文作成など大学においてすぐに必要となる能力を養成するための特別カリキュラム（「移行期カリキュラム」と呼ばれる）が実施されている。

従来、上級カリキュラムに属する留学生はごく少数であり、ほとんどの留学生に対して初級カリキュラムに沿って教育を行ってきたが、近年、自国で日本語を習得してくる学生が増加しており、初級者から上級者までのレベルが共存する状況が生まれつつある。

このような現状において、学術的な内容を理解しそれを論理的に表現できるようにするための教育改善はどのように行われるのだろうか。まずは、「移行期カリキュラム」の内容を点検し必要な改善を行う必要があると考えられる。前述の通り、初級カリキュラムでは1月以降、上級カリキュラムでは当初から、大学において必要となる実践的日本語能力の養成を行っているが、その内容が単に日本語に関する知識の充実を目的とするものではなく、論理的な思考力や議論における表現力を高める内容を盛り込んでいかなければならないだろう。しかしながら、従来の移行期カリキュラムでも問題になっているが、1月以降だけでは口頭発表や論文作成に必要な能力の養成に十分な時間がない。したがって、従来の初級カリキュラムの改善が不可欠である。最近の既習者増加の傾向は、そのような改善にとってプラスに働くと思われる。

一方で、日常的な日本語力が最も重要視されているという点もなおざりにはできない。特に初級カリキュラムにおいては、基礎的な文法項目や語彙力をしっかりと身につけさせることが重要である。基礎的な力と論理的思考力・表現力の養成のバランスをどのように取っていくかを十分に検討する必要がある。

調査の結果を全般的に見れば、国費学部留学生の基礎的な日本語力については、多くの大学教員が問題を感じておらず、むしろ学術的な内容の論理的な表現力が問題視されてい

ることが分かる。このことは、英語混じりのたどたどしい日本語でコミュニケーションするといった従来の留学生像が完全に過去のものとなり、むしろ日本人学生と同等に授業に参加し学習・研究を進めていく姿を多くの大学教員が見ていることを意味していよう。その中で、「日本語」予備教育のあり方も必然的に変わらざるを得ないことは言を俟たない。

論理的な表現力の養成という課題は日本語教育の枠を超えていた側面もあるが、中上級の学習者に対する日本語教育は、従来から狭い意味での言語知識の教授・学習に含まれない事柄をすでに多く含んでいたのも事実である。それらを体系化し、実践的なカリキュラムへと編成する作業を早急に進めていく必要性が改めて感じられた調査結果であった。

国費学部留学生予備教育課程における「英語教育」

山川 太（大阪大学日本語日本文化教育センター）

1. はじめに

本稿では、本学日本語日本文化教育センターでの国費学部留学生予備教育における「英語」の教育改善を目的として、本調査結果の分析および考察を行う。

分析対象となる回答は、文科系所属学部・研究科（96件）および理科系所属学部研究科（88件）双方からの回答、計184件である。調査において問うた教科内容は、オーソドックスに「聞く」「読む」「話す」「書く」という4技能に関する項目に基づいたものであるが、調査結果に関係なく、この4技能の中に序列をつけよ、と言われたら、どのような順番で並べるべきであろうか。

上記4技能がコミュニケーション能力の基礎を成すことは言うまでもない。コミュニケーション重視の英語教育の大切さは、おそらく誰でも分かっていることであろうし、文部科学省の高等学校学習指導要領（平成11年3月告示、14年5月、15年4月、15年12月一部改正）「第8節外国語」の箇所にも、以下のような大きな目標が掲げられている。

- (1) 外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、報や相手の意向などを理解したり自分の考えなどを表現したりする実践的コミュニケーション能力を養う。

このように、コミュニケーション重視ということは明らかなのだが、そもそも「コミュニケーション能力」とは何なのか？その中身が4技能ならば、一番重要な技能は何なのか？これらの疑問に対しては、はっきりした定義や絶対的な解答などは存在しないのかもしれないが、大学教育という限定された場所においての一つの解答を本調査結果から見出したことと思う。

2. 国費学部留学生予備教育課程における「英語」

言うまでもなく、「国費学部留学生予備教育」というのは、大学学部進学後、スムーズに日本の大学教育を受けられるように、大学入学前に実施する集中的な教育指導である。この予備教育の中には、日本語教育のみならず、たとえば、理科系ならば「(理系)数学」や「物理」「化学」、文科系ならば「(文系)数学」「日本史」「政治・経済」といった専門科目に関する知識の教授も当然含まれている。このような科目の場合、もちろん学生が希望する専攻分野によって履修科目に多少の違いはあるが、基本的には、理科系の学生全員が理科系の科目を、文科系学生全員が文科系の科目を履修することになっている。この意味では、専門科目もいわゆる日本語に関する科目も、全て、いわゆる“必修科目”であると見なしてよい。

以上のように、どの科目も必修科目的に提供されることは、「全国の国立大学各学部への進学」という、国費学部留学生予備教育課程で学ぶ学生が持つ共通の目的にふさわしい教育の「均一性」を考えれば、当たり前のことであるが、殊「英語」に関しては、このところの事情が若干違ってくる。

本センターの国費学部留学生予備教育課程で提供している「英語」の科目も、あくまで予備教育の一環である以上、学部進学後のスムーズな大学教育への順応に資するものであるはずであり、この意味で全ての学生に必要不可欠なものである。しかしながら、国費学部留学生予備教育課程で学ぶために各国から集う留学生の中には、英語圏からの学生もいるし、また、英語母語話者並に英語が達者な者も多くいる。本センターでは、このような類の学生には英語の履修は免除し、それ以外の学生、つまり母国での英語教育が不十分であったり、あるいはその他の理由で英語の力が不足していると判断された学生については履修を課している。履修すべき学生の判断に関しては、4月開講時点で英語プレースメントテストを全学生（英語圏からの学生も含め）に受験させ、その結果を基に英語担当教員が学生を抽出し、当該学生を対象に週1コマの英語の授業を行っている。

以上のような実態から、学生の志望専攻分野に関わりなく、純粹に英語の力に応じて、履修すべき学生とそうでない学生が存在する点、他の科目に比して特殊であり、ある意味、唯一の“選択科目”と呼べるかもしれない。

3. 入学時に必ず身につけているべき教科内容について

まず、「聞く能力」に関してであるが、文科系・理科系双方で、「学術的な内容の話を聞いて、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる」ことよりも「日常会話を聞いて、話し手の意向を理解したり、必要な情報や概要、要点をとらえたりすることができる」ことの方が重視されていることが分かる。これは、まだ学部段階では、前者のような高度な能力はそれほど要求されないということを示しているものと考えてよいであろう。

次に、「読む能力」について。この能力は、日本の大学受験においては最も重要視される能力の一つであるが、本調査結果からは特に「学術的な内容の文章を読んで、論理の展開や内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる」能力と「日常的な内容の文章を読んで、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる」力が重視されていることが分かる。次いで、「与えられた文章を、目的にあわせて、必要な速度で読むことができる」力の必要性がうかがえる。他方で、「文学的な文章を読んで、内容を的確にとらえ、表現を味わうことができる」能力の必要度はかなり低くなっているが、そもそもこの科目内容の言いさすところが具体的ではなく、また、“文学的”といった特化した文言が入っているためであると思われる。

「話す能力」では、「自分が伝えようとする内容を、論理的に述べることができる」・「関心のあることについて相手に質問したり、相手の質問に答えたりすることができる」の重要度が高い。“論理的”に述べ、“質疑応答”ができる、という最低限の学術的コミュニケーション

ーションが求められていることになる。一方、「英語の文章を口頭で日本語に訳すことができる」という内容については文科系では割合が 12.5%、理科系の方では 21.52% という数字となっており、他の内容に比べて少し低い数字になっているが、これは純粋な英語能力の反映とは見なされないからであろう。

「書く能力」では、文科系・理科系共に「自分が伝えようとする内容を、論理的に構成しながら文章にまとめることができる」内容が最も重視されている。この内容は「自分が伝えようとする内容を、目的や場に応じて文体などの表現を工夫しながら書くことができる」よりも大きく重要度が高いことが数字から分かるが、学部教育では（でも）何よりも“論理性”が求められており、“文体”や“スタイル”といったものよりも重視されていることを示している。

4. 十分に身につけていない、学習が不足している教科内容について

不足していると指摘された教科内容は、「入学時に必ず身につけているべき教科内容について」に比してかなり少ない。ということは、本センターでの予備教育において十分な能力を身につけて学部進学を果たしている、と考えることもできる。しかし、いくつかの点が指摘できることもまた事実である。この事実の傾向としては、「身につけているべき教科内容」において重要度が高かったものほど、比較的、学習不足も指摘されているということである。たとえば、「読む能力」のうち「学術的な内容の文章を読んで、論理の展開や内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる」力の不足が指摘されているが、これは最も重視されるべき内容でもあるので、換言すれば、最も深刻に捉えねばならない指摘であると言える。

5. まとめ

本稿では、調査結果の全体的な傾向を見てきたが、そこに見出せたキーワードは“論理性”であると思われる。

英語の言語能力には様々な捉え方があるが、大学教育においては何よりもまず“論理的”であることが求められるということが本調査から明らかになった。大学教育における“コミュニケーション能力”とは論理的であるということなのである。これは、何も英語に限ったことではなく、言語学習全般に言えることであるが、アカデミックツールとしての「英語」を考えてみた場合は特に強調されてよいことである。

留学生は日本の大学学部においてはあくまで少数派である。周りの大多数の日本人学生と同様のカリキュラムで学ぶにあたって、留学生に見出される問題や課題は、日本人学生のそれとは異質であり、一見同様に見える場合も根っここの原因が異なるケースも多く想定される。本稿で考察対象となった「英語」という科目の場合、留学生が授業において抱える問題が純粋に英語能力の問題なのか、それとも、たとえば英文和訳をする場合の日本語能力の問題なのか、などは慎重に分析されねばならないであろう（現在、本センターで行われている英語の授業は、学生の日本語能力の伸長具合にも十分に目を配りながら行われ

ている)。

今後も引き続き、留学生教育における、より効果的な「英語教育」の在り方を模索していきたいと考えている。

国費学部留学生予備教育課程における「政治経済」

水田 明男（大阪大学日本語日本文化教育センター）

1. はじめに

政治経済では、社会科学系（法学、経済）からの回答が中心であったので、それに対する分析を主とする。

2. 入学時に身につけているべき教科内容および十分身につけていない、学習が不足している教科内容について

まず高等学校学習指導要領内容（「公民」）の重点項目についての質問であるが、双方に関して、特にこれといって高い項目はなく、まばらに全体に散らばっている。

重要度において比較的高い項目は、法学で民主政治の基本理念と日本国憲法の各項目、現代政治の各項目、経済で「企業」、「市場経済の機能と限界」「財政の仕組みと働き」「産業構造の変化」「国際経済の特質」「バブル経済と日本経済」などであった。

また、習得度に関して、その度合いが比較的高い項目は、「企業」「市場経済の機能と限界」「貿易の意義と国際収支の現状」「為替相場の仕組み」であり、いずれも10%を超えており。法学分野からの回答では、「戦後改革」「高度成長期の経済」「石油危機後の経済」が高い項目となっている。

いずれも、基本的な事項を万遍なく習得することが要求されており、基礎的な学習が予備教育に要求されているといえる。特に高度な専門的知識を要求しているわけではなく、それらの高度な専門的知識の学習は、学部へ入ってから教育できるという事であろう。

高等学校学習指導要領は、日本人学生を対象に作成されており、必ずしも留学生に合っているとは思われないが、項目としてはどの項目も重要であるとの回答があったので、参考にするべき価値はあると思われる。ただ後述するように、必ずしも日本人と同程度の知識が期待されているわけではなく、ここではあくまで項目として参考に出来るということである。

3. 今後の展望（まとめに代えて）

調査票Iにおける質問の2および3に関して見てみると、回答では留学生を指導した人数は、1~4名が一番多く、必ずしも大量的現象の分析データとはならない。

また同調査票の質問の4では、留学生をあまりよく知らないとする回答が多く、この意見調査から重要な結論を導き出すのは容易ではない。

従ってここでは、一応限定的であるという事をことわった上で若干の傾向を述べる。

質問6では、社会科学系（法学、経済）で政治経済を必須教科とするものが高い比率を占めており、予備教育の必須教科としての政治経済の必要性を確認できる。また理系においても環境工学系で政治経済を必須教科とすべきである回答が14%程度あり、理系においても

ても政治経済を受講できるようにすることも検討してよいと思われる。

質問7では、日本語の能力については、シラバスを理解できる程度の日本語の能力が望まれており、それほど高い日本語能力が期待されているわけではない。また、高校の教科についても日本人学生と同程度の知識が要求されているわけではない。問題は、知識の「量」ではなく、「質」である。「質」といっても高い専門的知識が要求されているわけではなく、他の選択肢で高い比率を占めている「学習意欲が高いこと」「知的能力に優れていること」「日本について興味・関心があること（知識ではない）」「課題設定し、探求・解決する能力があること」が求められている。つまり、問題意識の深さが重要であり、単に日本語の専門用語の習得だけなく、限られた語彙であっても、討論できるような授業形態（ゼミに近い授業）の工夫が求められているといえよう。

そしてなにより高い項目としては、「学習意欲が高いこと」「勤勉なこと」「協調性があること」などであり、勉学に対する高いモティベーションを引き出すような授業の工夫が必要であるといえる。

国費学部留学生予備教育課程における「日本史」

嶋本 隆光（大阪大学日本語日本文化教育センター）

1. はじめに

本稿では学部留学生予備教育課程における「日本史」の教育改善を目的として、本調査「日本史」について報告と分析を行う。分析対象とする回答は、文科系所属学部(28件)・理科系所属学部(1件)からの回答29件についてである。

2. 入学時に身につけているべき教科内容について

- ① 全体的傾向としては、日本史A、並びに日本史B共に、第二次世界大戦後の日本の産業、並びに諸外国との関係に関する関心の度合いが高い。日本史A、日本史Bでは内容の相違から確実には言えないが、明治時代が境界となり、それ以前の時代に関しては、比較的重要度を認めていない印象がある。社会科学系日本史Bでこの点が明瞭に読み取ることができる。また、同じ近・現代についても、産業や国際関係に重点が置かれ、文化などの項目に対する関心が相対的に低い。
- ② 近代産業の発展と国民生活、戦後政治の動向と日本、近代産業の発展と近代文化、戦後政治の動向と国際社会、などの項目に高い関心が払われていることが読み取れる。他方、理科系所属学部(環境工学)からの回答では、「日常生活に支障のない範囲で知っていれば問題はない」と答えられている。

3. 十分に身につけていない、学習が不足している教科内容について

- ① 全体的傾向としては、前項目とほぼ同じ数値傾向を示している。これは、前項目と本項目が表裏をなしていることを示しており、回答者の関心の高さの表示であり、また、学習者としての留学生たちの関心の傾向を示すものでもある。既に述べた通り、明治時代が大体の分水嶺となっており、近・現代に対する学生たちの習得の度合いが高いことを示している。
- ③ 全体的傾向は上記の通りであるが、社会科学系と人文系ではやや重点の置き方に相違がある。即ち、前者では、明らかに近・現代史に重点が片寄っているのに対して、後者では、古代社会をも含めた諸項目に対してもまんべんなく関心が払われている。これは、歴史教育の根幹に関わる問題であり、「まとめ」で触れる。

4. まとめ

留学生に対する日本史教育の基本は、彼らの知識の多寡を試験などで問うことによって、優劣をつけることではない。そうではなく、予備教育を経てそれぞれの大学において生活を行う上で基礎的常識を培うことによって、日本人や日本社会との対応を円滑にすること、さらに、専門教育と関わっていく中で、多かれ少なかれ生じてくると思われる大枠と

しての日本ならびに日本人の価値、民族の社会や歴史に関する知識を提供することであると考える。上でも紹介した理科系所属学科からの回答に示されているとおりである。

今回の調査で判明した点は、既に述べたとおり、共通して現代史、現代社会学習の重要性を指摘する一方で、社会学系、人文系、一般教養系で重点にややずれが見られる点である。即ち、社会科学系では、明らかに明治時代以降、特に第二次世界大戦以降、現代に至までの歴史教育の必要性、いわゆる近代史、現代史に重点が置かれているようである。一方、人文系では、日本史 Aにおいては、現代社会、第二次世界大戦以降の歴史重視の傾向が見られるものの、日本史 Bでは余り偏りが見られず、古代史からの日本の歴史に対してほぼもなく関心が払われている。一般教養系はサンプルが少ないので確実なことは言えないが、人文系と似通っている。この調査の意味することは、全体として、変動する現代社会において、より日本と世界との関わりが強くなっていると想定できる近・現代に関する知識がより学生たちのニーズに合致するであろうという認識である。

この点は認めながらも、歴史教育に要求されることは、実用的な知識だけではない。歴史という科目の持つ総合科目的な性格を考慮した場合、むしろ人文系の結果に表れているような、いずれの時代にも極端に片寄らないバランスのとれた知識の習得が望まれる。

日本人が自らの行動の記録を開始した 6 世紀半ば以降、既に 1500 年ほどの時間の経過がある。その記録を連続的、かつ有機的に、しかも留学生たちの関心を喚起する用に提示することが切に望まれる。また、単なる知識の習得ではなく、生活を豊にし、人間性を高めることを目的とする歴史の勉強もあるはずである。

今回のアンケート調査は、サンプル数が十分ではないという今後の課題はあるものの、日本史担当教員の基本的認識とアンケート回答者の間に共通の認識があることを示すと共に、多方面の専門家からの意見を知ることができた結果、留学生に対する歴史教育の方向性について、有益な示唆をえることができたと考える。

国費学部留学生予備教育課程における「日本事情」

加藤 均（大阪大学日本語日本文化教育センター）

1.はじめに

本稿では学部留学生予備教育課程における「日本事情」の教育改善を目的として、本調査「日本事情」について報告と分析を行う。分析対象とする回答は、文科系所属学部・研究科からの回答97件、理科系所属学部・研究科からの回答88件についてである。

2.入学時に身につけていくべき教科内容について

日本事情は、政治経済、日本史、数学、物理、化学等とは違い、『高等学校学習指導要領』（以下「要領」と略）に対応しない科目である。そこで、調査用の学習項目選定に当たって、「地理」と「現代社会」の2科目から日本関連の必要項目を取り出すことにしたが、地理関係は、中等学校段階で日本の地理的な基礎項目を学ぶことになっていることから『中等学校学習指導要領』の「社会」に基づくこととした。

さて、欄Aの理科系部局からの回答集計（%表示）を見ると、当然と言えば当然であるが、各項目の重要度は、最大でも5.68%であり、重きを置かれていらない。一方、文科系部局からの回答集計（%表示）では、36.26%の「日本の位置と領域」を筆頭に、20%台に「生活・文化から見た日本の地域的特色」、「現代の経済社会と経済活動の在り方」、「現代の民主政治と民主社会の倫理」、「都道府県の構成と地域区分」、そしてその直下に「自然環境から見た日本の地域的特色」、「人口から見た日本の地域的特色」、「資源や産業から見た日本の地域的特色」が続く。

こういった数字をどのように読んでいくのか、非常に難しいところであるが、便宜的に20%台までのもので区切るとするなら、ここ数年の日本事情科目で扱っていなかったのは、(1)「生活・文化から見た日本の地域的特色」、(2)「現代の経済社会と経済活動の在り方」、(3)「現代の民主政治と民主社会の倫理」の3つとなる。ただし、(2)と(3)については「政治経済」の科目領域と重なる部分があるため割愛すると「生活・文化から見た日本の地域的特色」のみが残ることになる。

となれば、このテーマにそって、現在の本センターでのカリキュラムに付加すべき学習内容を決めていけばよいことになるが、問題は、本センターで2003年以前に教科書として使われていた豊田豊子『日本の地理と社会—日本事情テキスト』（凡人社 1996年）が扱っていた内容であり、昔に逆戻りしてしまうになるのである。経験的に言えば、「生活・文化から見た日本の地域的特色」を網羅的に取り扱おうとすればかなりの時間を要し、また、日本での生活体験が限定された学部留学生にとっては、地域間の比較や関連づけが容易ではないため知識の定着度も低い。もし、限られた時間で、このテーマで教えるとするならば、思い切って、学生たちが予備教育段階で実際に居住する関西地域に限定する方策が必要である。そうすれば、網羅的な知識は提供できないとしても日本の他地域と比較す

る視座の養成にはつながっていくと思われる。

3. 十分に身につけていない、学習が不足している教科内容について

理科系部局（環境工学）から、「都道府県の構成と地域区分」に習得不足との回答が1件（1.14%）あったのみで、残念ながら分析対象にはならない数値であった。文科系からの回答集計（%表示）でも、「都道府県の構成と地域区分」と「資源や産業から見た日本の地域的特色」の2項目の9.63%で最大で、「地域間の結びつきから見た日本の地域的特色」が7.63%、「生活・文化から見た日本の地域的特色」が6.45%、以下5%台が2項目、4%台が1項目、3%台が7項目、2%台が3項目となっている。日本事情で取り上げた調査学習項目自体が、大学教育での履修科目と直接結びつかず判定が難しいのが、この結果に表れていると思われるが、これらについても分析対象にしにくい数値といえよう。

4. まとめ

日本事情における学習項目としては「日本の位置と領域」、「都道府県の構成と地域区分」は定番であるが、それに加えて、先に触れたとおり「生活・文化から見た関西地域の特色」といったものを学習項目に取り入れられないかと考えている。

また、今回の調査用学習項目選定の際には、要領で「国際社会に生きる日本人としての自覚」といった人格形成重視の表現が使われている「倫理」は留学生の学習項目としてはそぐわないため割愛したが、実際、「日本人にみられる人間観、自然観、宗教観などの特質について、我が国の風土や伝統、外来思想の受容に触れながら、自己とのかかわりにおいて理解させ」ることを教育目的としていることから、今後、補足的調査をする場合には、変則的にはなるが、高等学校検定教科書「倫理」から学習項目を抜き出すことも可能である。

実際、今後のカリキュラム改編に向けて、高等学校検定教科書「倫理」の内容分析も鋭意行っており、追加の学習項目として、「日本人の生活と宗教観」、「日本人の道徳観・自然観」等が候補に挙がっていることを付記しておきたい。

国費学部留学生予備教育課程における「文系数学」

鈴木 貴雄（大阪大学非常勤講師）

田原 伸彦（大阪大学非常勤講師）

1. はじめに

本稿では学部留学生予備教育課程における「文系数学」の教育改善を目的として、本調査「数学」について報告と分析を行う。分析対象とする回答は、文科系所属学部・研究科からの回答27件についてである。

本教育課程「文系数学」では経済学部、経営学部等の社会科学系学部に進学する学生を対象に、日本の高校教育課程で扱われている数学の内容を学習指導要領に準拠しつつ学習を行い、更に発展的な内容への理解につながるように説明を加えている。

日本の大学の文系学部では、数学の入試科目としては学習指導要領の「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「数学A」「数学B」の範囲までしか課されないのが通例であるので、その範囲で扱われる各項目の数学的内容の習得と日本語による表現の理解が本課程の最優先課題であるのだが、学生の進学先大学で行われるであろう大学初年度程度の微分積分学・線形代数学といった数学の講義で通常取り扱われる内容に鑑みて、数学的内容の関連性や応用上の重要性等の観点から「数学Ⅲ」「数学C」に区分されている項目についても、また通常高校程度を越えるとみなされる話題であっても、必要に応じて取り上げるようにしている。特に日本の学生であっても理解が困難であると思われる抽象概念や論理展開については、大学進学後に学生が日本語のみの学習環境にあっても数学的内容の理解に支障をきたさないよう、その十全たる理解を要求しないまでも、必要な数学用語の日本語表現に予備的に触れておくことは有用であろうと考える。

例えば正規分布は応用上も理論上も重要な確率分布の一つであるが、正規分布を記述する確率密度関数は指數関数を用いて表される。指數関数・対数関数といった超越関数は解析学においては極めて基本的な役割を演じるが、これらの微分演算や定積分を利用して分布曲線を描いたり確率の近似計算を行ったりするためには、学習指導要領「数学Ⅱ」で扱われる次数の低い多項式の範囲では全く不十分であり、「数学Ⅲ」に相当する内容の理解が必要となる。更にそれだけでは不十分な場合もあり、例えば確率密度関数の不定積分を簡単な形で（より正確に言えば初等関数を用いて）書き表すことは不可能であるといった事実の理論的な取扱いは高校程度を越えてしまう。従って本課程においてもこれらの内容を取り扱う際にはそのような事実の指摘だけにとどめざるを得ないのだが、大学においてより高度な数学を学ぶ必要性を認識するためにも、理論的困難がどこに生ずるかをあらかじめ述べておくべきであろう。

2. 入学時に身につけていくべき教科内容について

本課程を履修する学生達は、履修開始時点までに受けた数学教育の内容や水準がまちま

ちであるため、授業の最初に「プレースメントテスト」として数学の学習項目の理解度や既習・未習の別を問うための簡単な計算問題から成る試験を実施し、学生個別の理解度や学習の進度を把握するとともに、全体的な傾向を授業内容の構成に反映させている。特に扱う分野によって学生の理解度が十分でなかつたりそもそも未習であつたりした際には、基本的なことであっても最初から説明を加え、今後必要になる計算の練習を実施するようしている。また数学的内容をよく理解している学生に対しては、数学用語の日本語による表現を学ぶだけに終わらないよう、個々の項目をより高い立場から理解できるような発展的概念についても解説を加えている。

本調査の回答では「数学Ⅰ」における〈方程式と不等式〉〈二次関数〉、「数学Ⅱ」における〈図形と方程式〉といった極めて基礎的な項目が入学時に身に附いているべきだとされている頻度が高く、これは至極当然である。それに較べると「数学Ⅰ」における〈図形と計量〉、「数学A」における〈平面図形〉といった主に平面図形を具体的な事象に活用する項目の重要度が相対的に低いことが読み取れるが、これは経済学等への応用という観点からすればやむを得ないことであろう。また「数学Ⅲ」全体、「数学C」全体や「数学B」の〈数値計算とコンピュータ〉といった項目の重要度が全般的に低い水準にあるが、これは冒頭で述べた通り文系学部の個別学力試験においてはこれらの科目・項目がほとんど課されていないという事情が反映しているように思われる。

調査回答から得られた重要度の高い項目としては、極めて基礎的なものを除けば「数学Ⅱ」の〈指數関数と対数関数〉、〈微分・積分の考え方〉が目立って高い。これは先に述べたようなこれらの項目の重要性からして十分頷けるところである。また、「数学Ⅲ」「数学C」は全般的に低いながらも、〈導関数〉〈不定積分と定積分〉〈行列〉〈確率分布〉〈正規分布〉〈統計的な推測〉といった項目が若干高いように見受けられる。経済学等への実際的応用における重要性の反映と見ることもできよう。

次に「数学B」の〈数列〉〈ベクトル〉は他項目と比較して重要度が低いように思われるのだが、これらは極めて基本的な数学的対象であり（数列は自然数を定義域とする関数、ベクトルは多次元量の表現方法）大学1年次の微分積分学及び線形代数学を履修する上で数列及びベクトルに関する基礎知識は必須である。加えて高次方程式に関する基礎知識も必須であるが、これも上の2つと同様に重要度が低いように思われる。実際にはこれらの項目に関する計算を実行するにはある程度の練習が必要であり、特にベクトルについては本課程履修開始時点で全く知識を持っていない学生が若干名いることがあるので、本課程では多くの時間を割いている。また大学において微分積分学・線形代数学を履修する際に図形に関する知識や幾何的な直観が学習上有利な場面は非常に多いことを注記しておく。

3. 十分に身につけていない、学習が不足している教科内容について

習得度は全体的に高い水準にあると思われる。

「数学C」の〈確率分布〉〈統計処理〉についての習得度がやや不十分であるようだが、これについては日本の高校生も文系の場合はそのほとんどが「数学C」を履修していないで

あろうから、少なくとも入学時点においては特に問題を生じないと考える。本課程において取り扱う場合でも、確率の概念を導入したのち、確率変数、確率分布、平均（期待値）、分散、標準偏差、相関係数と回帰直線等の用語及び概念を場合に応じて解説する程度にとどめているのが現状である。

4. まとめ

重要度が高いにもかかわらず習得度が不足している項目も特に無く、全体的に見て本課程は予備教育としての役割を十分に果たせているものと考える。また、「文系数学」の課程としては本来は「理系数学」である「数学III」「数学C」の扱いをどのようにすべきか苦慮するのだが、今回行われた調査からは応用上必須である指數関数・対数関数等の微分・積分まで含んだ知識や確率・統計の知識の重要性と習得の必要性とが、他の項目と僅差であるとはいえる読み取ることができる。今後の授業内容の取捨選択を行う際に有益な情報が得られたと考える。とは言えこの調査は高等学校数学の学習指導要領の項目毎に行われたものであり、数学における論理展開とその日本語による記述の能力や各項目の内容を相互に関連させるような総合的な視点の有無までは判定不可能と言わざるを得ない。学生によつては個々の事項の理解や計算に支障が無くともそれらの総合的運用に（主に言語的ではなく数学的な）困難を生ずる場合があるので、このような観点からの調査に关心が持たれる場合もある。もっとも大学における教育内容は極めて多様であり、数学に関するものに限っても実際に取り扱われる内容の範囲や理論的考察の要求の程度は様々であるから、調査そのものも極めて実行が困難であることも事実であると言えよう。

以上のことから本課程については現状のような実施形態で概ね問題ないと結論付けることが出来るであろうが、今回の調査では「数学C」における〈確率分布〉〈統計処理〉に関連する項目の理解が求められているということが見て取れた。本来これらの項目は文系学部では個別学力試験から省かれることがほとんどであり、また連続型確率変数の厳密な取扱いには広義積分や重積分といった大学初年度程度の微分積分学の知識が不可欠でもあるので、これらは大学側の受け持ちであると言えなくもないのだが、応用上重要であることは論を俟たないことから、本課程においても確率・統計の予備教育に充てる時間を若干増やす必要があるかもしれない。

ただ現状においても既に取り扱うべき項目は非常に多く授業日程も過密であるので、どのように時間配分を行うべきかは非常に難しい問題である。理論的説明が不十分であれば、学生側は単に事実を（しばしば不完全に）暗記するだけにとどまってしまう可能性もあるので、確率・統計を含めた場合の課程全体を通しての内容の取捨選択と系統性の確保については今後の課題としたい。

国費学部留学生予備教育課程における「理系数学」

宮田 繁（大阪大学非常勤講師）

1. はじめに

本稿では学部留学生予備教育課程における「理系数学」の教育改善を目的として、本調査「数学」について報告と分析を行う。分析対象とする回答は、理科系所属学部・研究科からの回答88件についてである。

2. 入学時に身につけていくべき教科内容について

今回の調査で行われた、重要度に関するアンケートは数学の各項目に対して、重要と思うかどうかの二者選択式で答える物であり、定量的な面、つまり、どの程度まで重要であれば重要であると答えるのか、同時に、定性的な面、つまり、重要であるとは各専門分野で応用されており、学生に直接の運用能力が求められるのか、それとも、直接運用能力が求められる項目を学習するために理解が不可欠であるのか、の両面に渡り、回答は恣意性と曖昧さを持ったものである。このうち、定量的な側面に関しては、回答者の数が増えることにより、縦令回答者個々人の回答基準に大きな較差があったとしても、平均化が行われ、意義のある結論を引き出すことが可能な調査データが得られた物と期待できる。一方、数学というものがいくつかの前提の下にすべてが論理的なステップを積み重ねて出来上がっていることは、どのような応用分野に於いても等しく数学的手法や数学の成果を適用できる理由になっていると同時に、実際に各専門分野で直接的に利用される結果とは、普段その関連性を意識する必要のない様々な理論も数学を構成する要素として背景に存在していることを意味する。それらすべての理論の導出過程の細部にまで習得することに拘泥っていたのでは有用な成果をすぐには利用出来なくなってしまうのは当然のことであり、各専門分野で応用されて学生に直接の運用能力が求められる教科内容項目が大学で勉学を続けていく上で最も重要な項目であるのも当然のことである。では、それ以外の教科内容項目の重要度が各専門分野において一様に落ちるのかというと、実際に利用する数学的成果との関連性を意識する必要が本当に薄い物であるならば、それもそうであろうが、しばしば数学の成果が不適切な場面で誤って適用され誤った結論を導き出してしまうような不注意を使用者が起こしてしまうのは、数学的概念への理解が不十分なため必要な前提条件のチェックが疎かになるからである。このような数学の学問として持つ性質に鑑みると、入学時までに学習しておくべき教科内容としての重要度と研究分野に於いて学生が利用できるようになっているべき教科内容としての重要度とは必ずしも一致しない。調査協力者がそのどちらに意識を持って回答したかが、一定していない場合、調査の数字だけから引き出した結論は信頼性の低い物になってしまるのはやむを得ない。何故この様な問題点を殊更に強調するかというと、今回の調査結果の数字からは明らかに調査協力者の意識が多様なものであったことが読み取れるからである。典型的な例のみ挙げておくと、工学系の化

学工学、理学系の化学の回答者は、いずれも、「数学II」の「微分・積分の考え方」及び「数学III」の「微分法」の各項目に対して、それなりの重要度を認めているが、「数学III」の「極限」の各項目に対しては大変低い重要度しか認めていない。これはこの分野の回答者が、研究分野に於いて学生が利用できるようになっているべき教科内容として、『身につけているべき教科内容』を解釈したことを示している。一方、理学系の数学の回答者は、すべての教科内容を等しく重要な項目として回答している。これは、高等学校の教科内容はすべて過去に確立されてしまった内容であり、その中には現代数学の研究分野ではもはや直接利用されていない考え方や手法も含まれていることを考慮すると、入学時までに学習しておくべき教科内容として『身につけているべき教科内容』を解釈したことを示している。従って、調査結果の数字のみを解釈した以下の考察には、信頼性の面で自ずから限界があることを断つておく。

数字を見る限り、79%以上の回答者が重要と判断している項目には、「数学I」の「方程式と不等式」、「二次関数」、「数学II」の「図形と方程式」、「いろいろな関数」、「微分・積分の考え方」の各項目が並んでいる。このうち、積分に関する項目で専門分野ごとの重要度の認識に差が大きい(標準偏差が20%前後)。それに次ぎ、「図形と方程式」の各項目でも標準偏差が17%前後を示し、専門分野ごとの重要度の認識に差が大きくなっている。「図形と方程式」の各項目での重要度の認識のばらつきは、専門分野により、これらの項目の重要度に実際に差があると考えても良いかもしない。一方、積分が微分と比べて、分野によっては重要度が低いかどうかは軽々に、重要度の認識の差のみを根拠に、結論に飛びつくべき問題とは思えない。上で説明した、回答者の『身につけているべき』という言葉の解釈の差により生じた、見掛け上の重要度の差である可能性が高い。学生が面積や体積の計算を大学の専門課程に進んでから行うことはありえないかもしれないが、微分の手法によりデータを分析したならば、それを解釈することは、即ち、微分の逆演算としての積分の発想に他ならない。

その次に重要度評価が高いのは、「数学I」、「数学II」の残りの項目である。最も重要度評価が高い項目群に比べると、これらのグループの項目では重要度の認識のばらつきが幾分大きめになっているが、この中で、証明に関する項目のばらつきの大きさが目立っている。数学は自分の考え方を他人に伝える言語としての役割を担っており、証明・論述の練習は、数学の学習の中で極めて重要であるが、留学生の中にはその部分の理解が欠落している者が少なくない。調査協力者の圧倒的多数が国費留学生と密に接した経験がないことを考えると、証明に関する項目の重要度は、大学教員からの要望に縛られずに、重要な項目であると認識して構わないと思われる。重要度評価が更に低い、数学的帰納法に関する項目についても同様である。

ベクトル、行列等、大学の教養課程の必須項目である、線形代数に関する重要度評価が更に低く、認識のばらつきが極めて大きくなっているのが目立つが、大学の授業で扱われる抽象化された線形代数の概念に具体的なイメージを持つためには、これらは大学入学時までに学習しておくべき教科内容と看做すのが適切であろう。極限、数列に関する項目は、

専門分野において直接触れる機会が少なくとも、既に説明した数学の特性より、大学入学時までに学習しておくべき教科内容と考えられる。

重要度に関して低い認識しか得られなかつた、教科内容項目についても概観すると、統計・確率は数学以外の分野への応用を主眼として、日本の教育指導要領に採用されている項目であり、留学生の中にはこの様な考え方に入ったく触れたけいけんのない者も少なくはないが、大学側での要望が低ければ、基本的な用語と概念について、一通りの説明で、おぼろげな理解を図れば充分であろう。計算アルゴリズムに関する項目は限られた分野以外では学力として要求されるものではないし、現在の教育指導要領の内容自身、時代にそぐわなくなっている部分もあるようなので、このアンケートの示す重要度の低さの認識をそのまま受け入れるのが適切であろう。

3. 十分に身につけていない、学習が不足している教科内容について

これは次節「まとめ」でも述べるが、調査協力者の中の大部分を占める層が、調査結果の信頼性を確保するのに充分な数の国費留学生と、例えば指導教官としてなどの、留学生個々人の資質を理解するのに充分なだけの密接な関係を前提としていないケースもあったと思われるので、留学生の教育背景の多様さを考慮すると、習得度に関する調査は、調査協力者と留学生との関係の緊密さという観点にも注意を払いながら行われるべきであろう。

4. まとめ

今回の調査結果から、国費留学生の受け入れ側の大学が求めている学力項目は大阪大学日本語日本文化教育センターで行われている予備教育で重視されている項目の主要部分と一致することが示された。

今回の調査は、国費留学生の進学先の大学の幅広い分野の教官の協力を得て網羅的に行われたものであり、その意義の深さは言うまでもないことであるのだが、それ故、今後の課題も浮き彫りになったと思われる。その主たることは、調査協力者の中で大部分を占める層が、調査結果の信頼性を確保するのに充分な数の国費留学生とは、例えば指導教官としてなどの、留学生個々人の資質を理解するのに充分なだけの密接な関係を経験せずに回答を行っているケースが想定されることである。もちろん、調査票Ⅰの質問2から適切に読み取れる事実自体は、大学の教官の大部分には未だ国費留学生と触れ合う機会が充分にないという状況を反映しているとも言え、調査が正確に行われたことの証左となるものであるが、今後の課題も明らかにするものである。

調査協力者の経験の重要性を何故殊更に取り上げなければならないかというと、国費留学生が来日前に受けてくる教育は、当然日本人学生のそれとは異なるが、同じ国費留学生間でも出身地等の違いにより多様であり、結果として数学をどのようなものと捉えるかに大きな差異があるからである。数学を充分に理解している人間にとっては、種々の数学的概念はその有用性を元に生み出されてきた以上、その理解と運用能力とは表裏一体のものなのだが、初等教育段階の者の大半にとっては、両者の間には大きな齟齬があり、国費留

学生の現状から彼らの出身地での初等教育課程を類推するに、それらは能力としてまるで二律背反するものと考えられているかの様な部分がある。日本で教育を受けた学生は、世界の他地域で教育を受けた学生と比較して、これらの能力間のバランスがかなり良い部類に入ると思われるが、国費留学生の中には、理解のバランスが大きく崩れている者もいるし、個々人により、どちらの側にバランスが崩れているか、千差万別である。基礎の部分でバランスが崩れないと、今後専門分野で数学のうち直接関与する部分のみの学習では、その部分に対しても充分な運用能力が身につく訳ではない。またその運用能力自身がどの程度身についているかを判断するにしても、学生の教育背景の多様性への配慮が不可欠であると考えられる。

今後も引き続き、国費留学生の教育に深く携わる教員の一層の協力を得るための努力が更に必要であろう。

国費学部留学生予備教育課程における「理系物理学」

中部 主敬（京都大学）

半田 克巳（大阪大学非常勤講師）

1. はじめに

本稿では、学部留学生予備教育課程における「理系物理学」の教育改善を目的として、「物理学」についての調査結果の報告とそれに基づく分析を行う。対象とする回答は、調査依頼先の大学理系学部・研究科からの回答 67 件分（内訳：工学系 57 件、理学系 8 件、共通教育系 2 件）である。

2. 入学時に身につけていくべき教科内容について

本調査の結果、大学入学時に必ず身につけていなければならない項目は学習指導内容として、「物理 I」が全体の内、72.7%、「物理 II」が 69.2% であった。細別では、「物理 I」において、

- 生活の中の電気 : 67.5%（工学系 68.0%, 理学系 65.6%）
- 波 : 64.7%（工学系 64.9%, 理学系 62.5%）
- 運動とエネルギー : 80.4%（工学系 81.1%, 理学系 79.2%）

であった。一方、「物理 II」においては、

- 力と運動 : 86.2%（工学系 87.3%, 理学系 75.0%）
- 電気と磁気 : 80.2%（工学系 78.1%, 理学系 96.9%）
- 物質と原子 : 65.7%（工学系 63.2%, 理学系 81.3%）
- 原子と原子核 : 44.8%（工学系 43.9%, 理学系 50.0%）
- 課題研究 : 24.6%（工学系 23.7%, 理学系 25.0%）

であった。

この結果を見ると、「物理 II」の必要性が「物理 I」に比べて低いことが分かる。その原因是「物理 II」の指導内容における「原子と原子核」、「課題研究」の必要性が低いことに起因している。実際、これら 2 項目を除いて「物理 II」を集計してみると、その必要性は 77.4% となり、「物理 I」と逆転する。特に、「物理 II」の「力と運動」、「電気と磁気」の必要性は高く、工学系では「力と運動」、理学系では「電気と磁気」の必要性が極めて高い。理学系では「物質と原子」、「原子と原子核」の必要性も相対的に高い。これらの傾向は、工学系で物体の力学的な運動に関心が強く、理学系で電磁気現象や物質物性そのものに関心が強いためではないかと考えられる。「物理 I」の各項目については、工学系、理学系、ほぼ同様の傾向が得られた。

「物理 I」の探究活動（電気に関する探究活動、波に関する探究活動、運動とエネルギーに関する探究活動）と「物理 II」の課題研究（特定の物理的事象に関する研究、物理学を発展させた実験に関する研究）に関しては、全体的な傾向として必要性は低かった。こ

の結果は、発展学習としての探究活動、課題研究よりもむしろ、物理学における基礎事項習得を最優先させることの要求を反映していると考えられる。

3. 十分に身につけていない、学習が不足している教科内容について

本調査の結果、入学時に十分に身につけていない、学習が不足しているとする回答は「物理Ⅰ」で2.7%、「物理Ⅱ」で6.0%あった。「物理Ⅰ」では、

- ✓ 生活の中の電気 : 1.9% (工学系 1.8%, 理学系 3.1%)
- ✓ 波 : 3.0% (工学系 2.9%, 理学系 4.2%)
- ✓ 運動とエネルギー : 3.0% (工学系 3.1%, 理学系 2.8%)

であり、「物理Ⅱ」では、

- ✓ 力と運動 : 5.2% (工学系 5.7%, 理学系 3.1%)
- ✓ 電気と磁気 : 10.1% (工学系 10.5%, 理学系 9.4%)
- ✓ 物質と原子 : 3.7% (工学系 3.9%, 理学系 3.1%)
- ✓ 原子と原子核 : 4.9% (工学系 5.7%, 理学系 0%)
- ✓ 課題研究 : 4.5% (工学系 5.3%, 理学系 0%)

であった。

これらの結果から、「物理Ⅰ」、「物理Ⅱ」とともに、いずれもその値は高くなく、基礎事項がほぼ習得できているものと判断できる。しかし、習得不足を敢えて比較すると、「物理Ⅰ」よりも「物理Ⅱ」の方であるという結果となった。細別では特に、「物理Ⅱ」の「電気と磁気」、すなわち、「電界と磁界」、「電磁誘導と電磁波」に関する項目が他の学習項目よりも不足している。この他の細別では、「運動エネルギーと位置エネルギー」が6.0%、「運動量と力積」が7.5%、「量子論と原子の構造」が6.0%であった。

工学系と理学系では総じて工学系の方が各項目の学習不足を指摘されており、「波」のみで理学系が高くなっていた。この結果は、大学教育の目的をそのまま反映していると考えられる。すなわち、工学系では学習指導内容の各項目を基礎に、それを応用して教育・研究が進められるため、基礎教育に費やす時間的余裕があまりなく、従って本結果の示すように、どちらかといえば基礎事項習得に対する要求が高くなっているものと考えられる。一方、理学系では基礎事項そのものの発展、展開を重要視するため、大学教育においても基礎学習に充分な時間を取ることができるため、結果として工学系よりも低い値になったものと考えられる。特に、理学系のうち物理学、化学、生物学の分野において全項目が0%であった。この結果は予備教育としての物理学に関する学習指導内容の全項目において十分な教育がなされていると認識するよりも、これらの項目は大学進学後の教育においても当該科目の学習・習得が可能であると見方の方が順当であろう。

4. まとめ

上記2項、3項の結果を纏めると、工学系、理学系を問わず、「物理Ⅰ」、「物理Ⅱ」の学習指導内容の内、力学分野と電磁気学分野の十分な理解が要求されており、これらの理解

度に関しては概ね達成されていることが判明した。「物質と原子」、「原子と原子核」あるいは量子論等の現代物理学に関する分野においてはその必要性が低く、また、熱力学分野、光・波動の分野に関しても、力学、電磁気学分野と比較すると、必要性は相対的に低い。しかし、大学の学科によってそれらの項目の必要度が高い場合もあり、それらを予備教育で完全に無視することはできず、学生の希望進路先を踏まえて予備教育での講義項目に柔軟に反映させていく必要がある。その一方で、物理学に関する探究活動、課題研究に関する項目は全般的に学習の必要性はかなり低く、これらの項目よりもむしろ、物理の基礎学力習得が強く要求されている。

本調査結果を踏まえて、国費学部留学生予備教育課程における「理系物理学」の講義内容では、最優先事項として物理学分野における専門用語と日本語特有の表現の習得、力学分野と電磁気学分野の習得を主要目的として、更にそれ以外の比較的重要な項目、熱力学分野、波動分野の習得を目指している。実際の講義内容として、春学期に力学分野（質点の力学、剛体の力学）、熱力学、波動の一部を、秋学期には電磁気学を中心として光学あるいは現代物理学を行っている。これとは別に、6回にわたる物理学実験の実習（力学：1課題、電磁気：2課題、熱力学：1課題、波動・光：2課題）を講義に取り入れ、日本語のレポート作成も課すことで、より深い内容理解と日本語能力の習得をより確実のものにしている。更に、物理学関連の施設見学を行い、実際の社会の中でどのように物理学あるいは広く科学・技術が利用されているかを体験させ、物理学を初めとする科学・技術に対する興味を増幅させることに役立てている。

このような講義内容は、本調査結果の「入学時に必ず身につけていなければならない教科内容」と合致している。また、この内容に基づいた予備教育を1年間実施することを通して、国費留学生は大学入学時に必要と考えられる物理学における日本語能力と、力学分野と電磁気学分野を中心とした知識を習得できるものと考えている。

今後の課題として、本調査で得られた「十分に身につけていない、学習が不足している教科内容」とご指摘いただいた点、特に、電磁気学に関する知識の更なる習得を目指して講義内容を改善していく必要がある。また、日本語能力に関しては、限られた時間の中で大変困難な状況ではあるが、より一層の日本語能力の習得も望まれる。本調査結果を踏まえて、学部留学生予備教育課程における「理系物理学」では、今後も引き続き教育改善を目指すものである。

末筆ながら、本調査にご協力いただいた多数の先生方に謝意を表します。

国費学部留学生予備教育課程における「理系化学」

長谷川 裕之（情報通信研究機構）
川島 啓助（大阪大学非常勤講師）

1. はじめに

本稿では学部留学生予備教育課程における「理系化学」の教育改善を目的として、本調査「化学」について報告と分析を行う。分析対象とする回答は、理科系所属学部・研究科からの回答 88 件についてである。

まず最初に本調査の調査対象について見ると、表 1 のように、専門課程で化学の知識の重要性が必ずしも高いとは言えない領域である、電気・電子、情報等の回答数が多く、化学系専攻や生物・生命系、教育系等を加えても全体の 13%程度である点に留意すべきである。

以下の分析では化学工学、生命工学、化学、生物学、教育学（理）、共通教育（理）の 6 つの学科を「化学が必須の 6 学科」とし、詳細な解析に用いることとする。

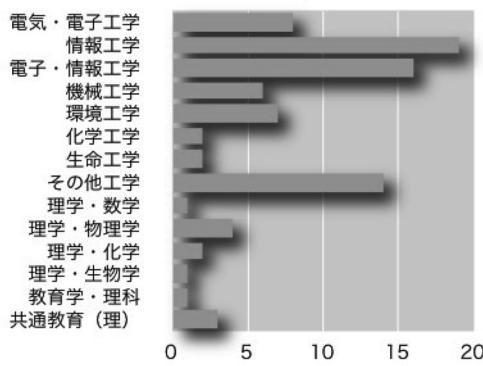


表1：回答者の専門領域 (人)

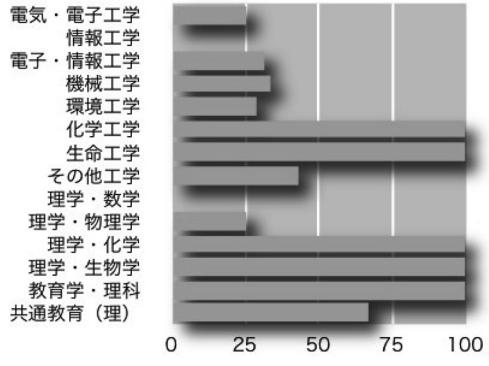


表2：「化学が必須である」と答えた割合 (%)

2. 入学時に身につけていくべき教科内容について

① 全体的傾向

表 3 に全体の解答結果を示す。回答数の多い項目は概ね化学の基本的理解の上で重要な項目であり、回答数が少ない項目は材料などの応用分野や生物化学など、やや周辺の分野が主である。このことから、理科系への進学には少なくとも化学の基本事項は身に付けておくべきだという考えを読み取ることが出来る。

表 4 は「化学が必須の 6 学科」における回答割合を示したものである。こちらも概ね表 3 の回答傾向と同じであり、基本事項の教育の重要性が示唆される。

② 取り上げて説明・分析が必要な学習項目

回答数の少ない「探求活動」に関する 3 項目は項目として曖昧なため、回答数が少ない

ものと考えられる。また、食品や衣料は化学との関連性が薄いため重視されていないものと考えられる。また、上記の3つの「探求活動」に加え、「特定の化学的事象に関する研究」や「化学を発展させた実験に関する研究」など、実験に関連すると思われる複数の項目があり、これらの項目についてはいずれも回答数が少ない。これは似たような項目のため、回答が難しかったのではないかと考えられる。しかし、「化学を発展させた実験に関する研究」について、全体、特に「化学が必須の6学科」では比較的の回答割合が高いことを考えると、実験操作の習得自体はどの専門分野でも重視されており、特に化学が必須の分野への進学には重要であると言える。

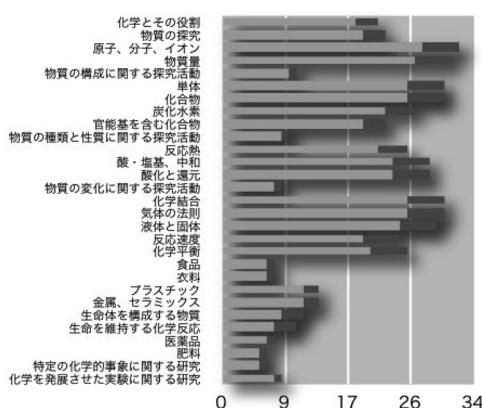


表3：入学時に身に付けているべき教科内容について（人）
青：工学系、赤：理学系

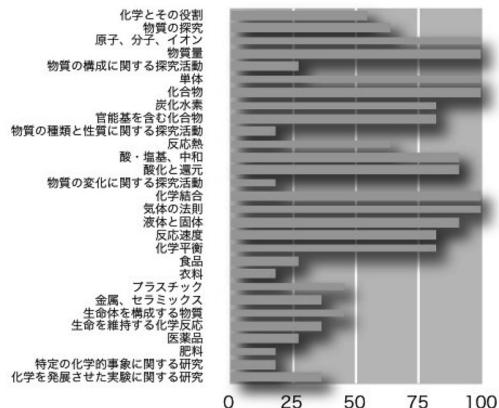


表4：化学が必須の6学科での割合 (%)

3. 十分に身につけていない、学習が不足している教科内容について

① 全体的傾向

表5に全体の解答結果を示す。総数から考えるといずれの分野においても回答数は少なく、概ね不足している内容はないと言つて問題ないレベルである。表6には「化学が必須の6学科」での回答割合を示す。総回答者数（11名）から考えると1名当たりのウエイトが大きいにも関わらず、こちらも特に高い割合を示す項目は見られなかった。

② 取り上げて説明・分析が必要な学習項目

少ないながらも回答数の多い項目として炭化水素、官能基を含む化合物（これらはいざれも有機化学分野である）、反応速度、化学平衡が挙げられる。これらの分野については、国によっては全く学習せずに来日し、本予備教育で初めて習得する者も居るところが関係している可能性があるが、特に、反応速度や化学平衡については数学的側面も大きいため、数学や計算が苦手な学生にとっては（元々母国で習得していても）この分野の習得は時間を要するのではないかと思われる。

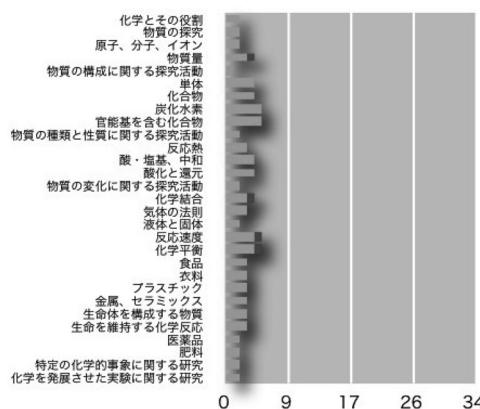


表5：十分に身に付けていない、学習が不足している
教科内容について(人)
(青:工学系、赤:理学系)

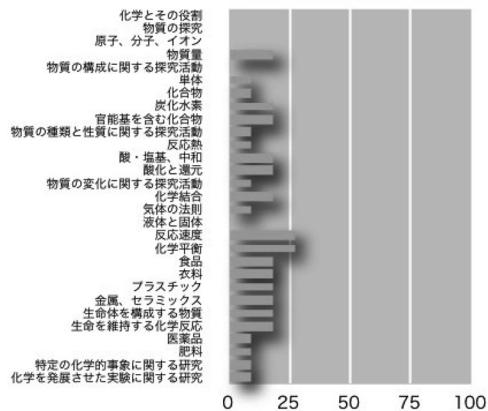


表6：化学が必須の6学科での割合 (%)

4.まとめ

① 上記2.3.についてのまとめ

以上のことから、理系進学者にはいずれの進学先の場合においても化学の習得は重要であり、なかでも物質の構成や反応、性質などの基本事項の習得が重要だと認識されていることがわかった。これらの学習項目に関して、実際に進学した学生達の習得状況は概ね良好であることが分かったが、有機化学や、反応速度論などの一部分野については、より丁寧な習得状況の確認などの配慮が重要であると言える。

② 調査内容・方法の問題点

冒頭にも述べたように、本調査の調査対象について見ると、専門課程で化学の知識の重要性が必ずしも高いとは言えない領域である、電気・電子、情報等の回答数が多く、化学系専攻や生物・生命系、教育系等を加えても全体の13%程度しかなかった。より正確な調査を行う上では化学系専攻など、化学を必要とする分野の回答数を増やすことが今後の課題であると言える。

また、調査項目について、学習指導要領に沿った項目設定となっているが、一部の項目では探求活動等の曖昧な表現が見られるため、実験項目として別途大枠を設け、分野ごとに質問するべきではないかと思われる。

③ 予備教育の課題

調査票の質問にある「高校の各教科について日本人学生と同程度に知識があること」や「大学の授業シラバスが大体理解できる語彙力があること」の回答数が多いことから考えると、今後も予備教育の中での専門科目の教育はますます重要なことになってくると考えられる。しかしながら、決められた時間数で、最初は専門科目の日本語教育から、専門科目の内容までを教育するのはやや難しい。特に化学系に進学を希望している学生達にとっては、母国で経験の少ない実験操作などの実技習得もまた重要であるが、十分な時間を確保することが難しいうえ、予備教育初期では日本語がまだあまり理解できないため、実験操作をさせること自体が不適当である。そのような中でいかに採り入れて行くかが今後の課題であ

る。

また、日本語の習得度にばらつきがあり、それによって授業進度が大きく影響されてしまう問題もある。日本語が出来ないと授業に付いて行けないが、あまり進度を遅くすると今度は専門科目の習得が不十分になるため、判断が難しいところである。

限られた時間数で最大限の教育効果を発揮するよう、今後も努力を続けたい。

平成19年 7月 20日

国費学部留学生教育 関係各位

大阪外国語大学日本語日本文化教育センター
センター長 山 蔭 昭 子

国費学部留学生教育に関する意見調査について（依頼）
— アンケート調査ご協力のお願い —

平素より国費学部留学生の受入れにつきましてお世話になっております。本センターの予備教育に対し貴学より日頃いただいておりますご理解とご協力に感謝申しあげます。

さて、この度本センターでは、予備教育課程をおえた国費学部留学生の学習状況や必須学習項目等を把握し、さらに質の高い予備教育内容を提供するため、国費学部留学生が受講する授業を担当されている先生方、国費学部留学生を指導されたことのある各分野の先生方に、国費学部留学生教育に関する全国規模のアンケート調査を行うこととなりました。御多用のことと存じますが、何卒ご協力を賜れますようお願い申しあげます。

本センターの予備教育については、これまでにも、学生のフォローアップ調査などの機会を通してお目にかかることができた多くの先生方から、本学修了生の就学状況や予備教育に対するご要望をいただき、教材開発やカリキュラム改革などを進めることができました。この場をお借りしてご協力くださった先生方に改めて御礼申し上げます。こうしたフォローアップを10年以上続け、さまざまな個別事例から見えてきた課題として、日本人学生とともに学び課程を修める学部留学生達の学習実態を、専門分野別に、日本人学生の学習内容等に即して総合的に把握して予備教育内容を見直す必要性が明らかになり、本センターにおいて今回のようなアンケート調査を計画した次第です。

所属学部・学科での各専門分野の勉学のために、「国費学部留学生が入学時に必ず身につけているべき日本語運用能力および教科内容」「国費学部留学生が十分に身につけていない日本語運用能力、学習が不足していて就学に困難を来している教科内容」等について広くご意見を伺い、1年間という短期間の予備教育で扱う学習指導項目の内容や優先度などを明らかにしたいと考えております。国費学部留学生の募集対象国が94ヶ国に広がり、自国の大学教育を経験した学生が半数近くを占めるなど、学生の背景が一層多様になる中で、それぞれの専門分野での学部留学生教育でお感じになっている問題点や変化等を、具体的にお聞かせ願えれば大変ありがとうございます。

本調査の回答は責任をもって統計的に処理をさせていただき、ご回答いただいた先生方が特定されることのないように致します。率直なご意見をお寄せいただけますようお願い致します。なお、調査結果は本センターのホームページ上で公開する予定です。

A-1

調査票は Web サイトからダウンロードしていただき、回答後は電子メールで御返送ください。郵便による調査票の送付ならびに回答返送もさせていただきます。詳しくは別紙回答要領〔2種類〕をご覧ください。なお、調査票ならびに資料等の調査書類一式（20セット）を貴学部国費学部留学生課宛にサンプルとしてお届けしております。

ご多忙中のところ誠に恐縮ですが、回答は平成19年9月30日までにご返送いただけますようお願い申しあげます。ご不明の点は下記連絡先までお尋ねください。お手数をおかけ致しますが、何卒ご協力を賜れますようよろしくお願い申しあげます。

<送付文書>

文書番号

- | | |
|---------------------------|------------|
| (1) 調査について（依頼） | <u>A-1</u> |
| (2) 回答要領〔電子メールでご返送いただく場合〕 | <u>A-2</u> |
| (3) 回答要領〔郵便でご返送いただく場合〕 | <u>A-3</u> |

調査書類の郵送をご希望の方には

- | | | |
|-------------|------------|------------|
| (4) 調査書類一式 | | |
| ・調査票 I | (A4版、3ページ) | <u>B-4</u> |
| ・調査票 II | (A3版、3ページ) | <u>B-5</u> |
| ・調査票 III | (A3版、7ページ) | <u>B-6</u> |
| ・資料a 予備教育概要 | | <u>C-7</u> |
| ・資料b 学生名簿 | | <u>C-8</u> |
| ・返信用封筒 | | <u>C-9</u> |

※電子メールでご返送いただく場合は、上記の文書ファイルを下記URLからダウンロードしていただけますようお願いいたします。

<http://homewww.osaka-gaidai.ac.jp/~cjlc-upj/>

認証手続きが必要です。詳細は「回答要領〔電子メールでご返送いただく場合〕A-2」をご覧ください。

<調査に関する問い合わせ先>

国費学部留学生予備教育改善プロジェクト

岸田泰浩（代表）、平尾得子、今井 忍

〒562-8558 大阪府箕面市粟生間谷東8-1-1

電子メール cjlc-upj@osaka-gaidai.ac.jp

（国際課総務部門係長 根角）

電子メールでご返送いただく場合

国費学部留学生教育に関する意見調査

回答要領

(1) 下記の URL より調査票ファイルをダウンロードしてください。

<http://homewww.osaka-gaidai.ac.jp/~cjlc-upj/>

◆認証手続が必要です。次の情報をご使用ください。

ユーザ名 : chousa

パスワード : kyouryoku

回答には次の調査票（3種類）が全て必要です：

B-4. 調査票 I (Word ファイル)

B-5. 調査票 II (Excel ファイル*)

B-6. 調査票 III (Excel ファイル*)

その他に、以下の文書（ファイル）もダウンロード可能です。

B-4.～B-6. 上記調査票の PDF 版

A-1. 意見調査について（依頼文書）

A-2. 回答要領〔電子メールでご返送いただく場合〕※本紙

A-3. 回答要領〔郵便でご返送いただく場合〕※電子メールでご返送いただく場合は不要

C-7. 資料 a : 予備教育概要 (PDF ファイル)

D-10. 外部評価報告書 (PDF ファイル)

※電子メールでご返送いただく場合、印刷された調査票等は不要ですので、破棄していただきません。

*Windows 版の Excel 以外のソフトを使用される場合、回答欄のチェックボックスが正常に機能しないことがあります。その際は、回答欄に直接「○」などを入力してください。

(2) **調査票 I** の全ての質問にお答えください。（ただし、質問 8 は自由記述です。）

(3) **調査票 II** 「言語活動調査」についてご回答をお願いいたします。

まず、【所属・専攻】というシートへご記入をお願いします。

A-2

次に、先生のご所属の学科・専攻での学習活動を行うために必要な言語運用能力を国費学部留学生は備えているかどうか、〔日本語〕と〔英語〕について各自ご回答ください。

(4) **調査票 III 「学習項目調査」についてご回答をお願いいたします。**

まず、〔所属・専攻〕というシートへご記入をお願いします。

次に、先生のご所属の学科・専攻での勉学に必須の教科についてご回答ください。

関連しない科目については、白紙のままにして、次の科目にお進みください。

(5) 回答済みの調査票ファイル（3種類；B-4, B-5, B-6）を平成19年

9月30日までに メールにて下記までご返送ください。

^{エル}
cjlc-upj@osaka-gaidai.ac.jp

件名(Subject)：意見調査回答

※郵便による返送をご希望の方は、「回答要領（郵便でご返送いただく場合）」（別紙A-3）をご覧ください。

なお、貴学部の国費学部留学生担当課に調査票はじめ学生名簿、予備教育関係資料など、印刷された調査書類一式をサンプルとして20セットお送りしています。

ご協力ありがとうございます。

<調査に関する問い合わせ先>

大阪外国語大学日本語日本文化教育センター

国費学部留学生予備教育改善プロジェクト

岸田泰浩（代表）、平尾得子、今井 忍

〒562-8558 大阪府箕面市粟生間谷東8-1-1

電子メール cjlc-upj@osaka-gaidai.ac.jp

（国際課総務部門係長 根角）

郵便でご返送いただく場合

国費学部留学生教育に関する意見調査 回答要領

(1) 必要な調査書類一式をお受け取りください。

貴学部の国費学部留学生担当課に20セットお送りしてはおりますが、本紙末にある問い合わせ先にご連絡いただければ、ご指定の住所に郵送いたします。

(2) 下記の書類等が揃っているかご確認ください。

- A-1. 意見調査について（アンケート調査ご協力のお願い）
- A-2. 回答要領〔電子メールでご返送いただく場合〕※郵便でご返送いただく場合は不要
- A-3. 回答要領〔郵便でご返送いただく場合〕※本紙
- B-4. 調査票 I (A4版、3ページ)**
- B-5. 調査票 II (A3版、桃色表紙+2ページ)**
- B-6. 調査票 III (A3版、青色表紙+6ページ)**
- C-7. 資料a：予備教育概要
- C-8. 資料b：学生名簿
- C-9. 返信用封筒

※回答には、B-4.～B-6.の調査票（3種類）が必要です。

なお、A-1.～C-7.については、インターネットからもダウンロードできます。詳細は、「回答要領〔電子メールでご返送いただく場合〕」（別紙A-2）をご覧ください。

(3) **調査票 I** の全ての質問にお答えください。（ただし、質問8は自由記述です。）

(4) **調査票 II** (桃色表紙)「言語活動調査」についてご回答をお願いいたします。

先生のご所属の学科・専攻での学習活動を行うために必要な言語運用能力を国費学部留学生は備えているかどうかについてご回答ください。

(5) **調査票 III** (青色表紙)「学習項目調査」についてご回答をお願いいたします。

先生のご所属の学科・専攻での勉学に必須の教科についてご回答ください。

関連しない科目については、白紙のままにして、次頁以降の科目にお進みください。

(6) 回答済みの調査票(3種類; B-4, B-5, B-6)を平成19年9月30日まで
に同封の返信用封筒にてご返送ください。

※電子メールによる返送をご希望の方は、「回答要領(電子メールでご返送いただく場合)」(別紙A-2)をご覧ください。

ご協力ありがとうございます。

<調査に関する問い合わせ先>

大阪外国語大学日本語日本文化教育センター

国費学部留学生予備教育改善プロジェクト

岸田泰浩(代表), 平尾得子, 今井 忍

〒562-8558 大阪府箕面市粟生間谷東8-1-1

電子メール cjLc-upj@osaka-gaidai.ac.jp

(国際課総務部門係長 根角)

調査票 I

本調査の「国費学部留学生」は、国費外国人留学生制度のもと募集対象国の日本大使館で推薦され、東京外国語大学・大阪外国語大学で1年間の予備教育を受け、日本の大学の学士課程で学ぶ留学生を指します。外国政府派遣留学生（マレーシア政府留学生等）、日韓共同理工系学部留学生、国費日本語・日本文化研修留学生（日研生）等の留学生は対象に含みません。

大阪外国語大学予備教育及び国費学部留学生統計については資料aをご覧ください。

質問1 先生のご所属・ご専攻をお書きください。

大学名・所属学部（研究科）_____

学科・専攻・コース名_____

質問2 これまで国費学部留学生を指導教員（卒業論文主査）として何人程度指導されましたか。

- 1 10名以上指導した
 - 2 5~9名指導した
 - 3 1~4名指導した
 - 4 指導したことがない
 - 5 よくわからない
- 回答 _____

質問3 これまで講義や演習などの授業で、国費学部留学生を受講生として何人程度指導されましたか。

- 1 10名以上指導した
 - 2 5~9名指導した
 - 3 1~4名指導した
 - 4 指導したことがない
 - 5 よくわからない
- 回答 _____

質問4 国費学部留学生制度や国費学部留学生予備教育について、どの程度ご存知ですか。

- 1 大変よく知っている
 - 2 かなり知っている
 - 3 どちらとも言えない
 - 4 あまり知らない
 - 5 まったく知らない
- 回答 _____

質問5 先生のご所属の学科・専攻での学習活動を行うために必要な言語運用能力を国費学部留学生は備えていますか。国費学部留学生の日本語および英語能力について、別紙「言語活動調査票」（調査票II）にご回答をお願いします。

回答欄：

【欄A】 ご指導の専門分野において修学のために、国費学部留学生が入学時に必ず身に付けているべき、と思われる日本語・英語それぞれの運用能力をご教示ください。表中の指導項目から該当するものに✓印をつけ、適当な項目がない場合は「追加項目」欄にご記入ください。

【欄B】 ご指導のご経験から、国費学部留学生が十分に身に付けておらず勉学に支障をきたしている、能力が不足している、と思われる日本語・英語それぞれの運用能力をご教示ください。表中の指導項目から該当するものに✓印をつけ、適当な項目がない場合は「追加項目」欄にご記入ください。

質問6 先生のご所属の学科・専攻での勉学に必須の教科を下の6科目の中から選んで[X]印をつけ、それら全ての教科について、別紙「学習項目調査票」（調査票III）にご回答をお願いします。関連しない科目については、調査票は白紙のままで、次頁以降の科目にお進みください。

<予備教育科目>		<高等学校学習指導要領>
科目名：	(1) [] 政治経済	: 公民 (政治経済)
	(2) [] 日本史	: 地理歴史 (日本史)
	(3) [] 日本事情	: 公民 (現代社会), 地理歴史 (地理) 等
	(4) [] 数学	: 数学
	(5) [] 物理	: 理科 (物理)
	(6) [] 化学	: 理科 (化学)

回答欄：

【欄A】 ご指導の専門分野において修学のために、国費学部留学生が入学時に必ず身に付けているべき、重要度の高い学習指導項目、とお考えの項目をご教示ください。表中の指導項目から該当するものに✓印をつけ、適当な項目がない場合は「追加項目」欄にご記入ください。

【欄B】 ご指導のご経験から、国費学部留学生が十分に身に付けておらず勉学に支障をきたしている、学習が不足している学習指導項目、とお考えの項目をご教示ください。表中の指導項目から該当するものに✓印をつけ、適当な項目がない場合は「追加項目」欄にご記入ください。

※調査票中の学習項目は高等学校学習指導要領の内容に沿って作成しています。政治経済、日本史、日本事情では予備教育の内容に合わせ一部変更を加えています。

質問7 国費学部留学生にとってどのようなことが最も重要だとお考えですか。入学時の留学生にとって非常に重要なお考えのものをお選びください。（複数回答可）

- (1) [] 日本語が日本人学生と同程度できること
- (2) [] 高校の各教科について日本人学生と同程度に知識があること
- (3) [] 専門分野について知識があること
- (4) [] 大学の授業シラバスがだいたい理解できる語彙力があること
- (5) [] 英語ができること
- (6) [] 日本について知識があること
- (7) [] 日本に対する興味・関心があること
- (8) [] 知的能力に優れていること
- (9) [] 課題設定し、探求・解決する能力があること
- (10) [] 学習意欲が高いこと
- (11) [] 目的意識が高いこと
- (12) [] 勤勉なこと
- (13) [] 創造性があること
- (14) [] 協調性があること
- (15) [] 入学した大学、学部、学科について知識があること
- (16) [] 大学のある地域や日常生活について知識があること
- (17) [] その他 _____

質問8 自由記述意見欄

本調査の内容や方法についてのご意見、国費学部留学生予備教育に対するご要望、
その他国費学部留学生教育に関するご意見などをご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

回答済の「調査票I（本紙）」、「調査票II（別紙）」、「調査票III（別紙）」は、
平成19年9月30日までにメール（または郵便）にてご返送をお願い致します。

調査票II

国費学部留学生教育に関する意見調査
大阪外国語大学CJLC

↓ ご記入をお願いします。

大学名・所属学部(研究科)	
学科・専攻・コース名	

B-5

調査票II-(1)

日本語

国費学部留学生教育に関する意見調査
大阪外国語大学CJLC

		最初に「所属・専攻」のご記入をお願いいたします。			
		■ここをクリックして記入シートへ移動			
科目	内 容	【欄A: 重要度】		【欄B: 習得度】	
		入学時に必ず身につけておられるべきだと思われる学習項目に／をつけ、適当な項目がない場合は「追加項目」欄に記入ください。		十分に身につけていない、または不足している、と思われる学習項目に／をつけ、適當な項目がない場合は「追加項目」欄に記入ください。	
基 本 項 目	英 語	聞く能力	<input type="checkbox"/> マウスでクリック	<input type="checkbox"/>	
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		読む能力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		話す能力	自分が伝えようとする内容を、論理的に述べることができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			自分が伝えようとする内容を、目的や場に応じて文体などの表現を工夫しながら話すことができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			関心のあることについて相手に質問したり、相手の質問に答えたりすることができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどをまとめ、発表することができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、話し合ったり意見の交換ができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			英語の文章を口頭で日本語に訳すことができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		書く能力	自分が伝えようとする内容を、論理的に構成しながら文章にまとめることができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			自分が伝えようとする内容を、目的や場に応じて文体などの表現を工夫しながら書くことができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
自分が伝えようとする内容を、正しい表記法で書くことができる	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		
聞いたり読んだりして得た情報を整理し、概要や要点を文章にまとめることができる	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		
講義を聞きながら、必要な情報をノートにとることができます	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		
筆記試験などで設問に対する解答を、必要な速度で書くことができる	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		
英語の文章を日本語の文章に翻訳することができる					
適当な項目がない場合、この欄に項目を書き加えてください。					
追 加 項 目	英 語		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

調査票III

国費学部留学生教育に関する意見調査
大阪外国語大学CJLC

↓ ご記入をお願いします。

大学名・所属学部(研究科)	
学科・専攻・コース名	

B-6

		最初に「所属・専攻」のご記入をお願いいたします。				
		■ここをクリックして記入シートへ移動				
科目	内容		【欄A: 重要度】	【欄B: 習得度】		
高等 学校 学 習 指 導 内 容 （「公 民」）	政治 経 済	(1)(2)(3)/ABC…の項目	アイウエオ…の項目	入学時に必ず身につけているべきだと思われる学習項目に✓をつけ、適当な項目がない場合は「追加項目」欄にご記入ください。		
		現代の政治	民主政治の基本原理と日本国憲法	日本国憲法の基本的性格	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				国会・内閣・裁判所	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				政治と法の機能	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				人権保障と法の支配	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				現代の国際政治	権利と義務の関係	<input type="checkbox"/>
		議会制民主主義	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
		民主政治の本質	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
		住民生活と地方自治	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
		望ましい政治の在り方～政党政治	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	
現代の経済	経済社会の変容と現代経済の仕組み	主権者としての参政の在り方～選挙	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		国際政治の動向	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		人権、国家主権、領土などに関する国際法の意義	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		国際連合を中心とする国際機構の役割	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		国際政治の特質	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
国民経済と国際経済	国際紛争の諸要因	国際社会における日本の役割	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		資本主義社会経済及び社会主義経済の変容	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		国民経済における家計	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		企業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		大きな政府と小さな政府	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
日本経済の歴史	日本経済の歩み	労使関係と労働市場	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		市場経済の機能と限界	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		経済成長と景気変動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		財政の仕組みと働き	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		租税の意義と役割	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
追加項目	政治 経 済	資金の循環と金融機関の働き	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		産業構造の変化	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		経済活動の在り方と福祉の向上の関連	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		貿易の意義と国際収支の現状	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		為替相場の仕組み	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
適当な項目がない場合、この欄に項目を書き加えてください。						

		最初に「所属・専攻」のご記入をお願いいたします。			
		■ここをクリックして記入シートへ移動			
科目		内容		【欄A: 重要度】	【欄B: 習得度】
基本項目	(1)(2)(3)／ABC…の項目	アイウエオ…の項目		入学時に必ず身につけているべきだと思われる学習項目に✓をつける。適当な項目がない場合は「追加項目」欄にご記入ください。	十分に身につけていない、学習が不足している。と思われる学習項目に✓をつける。適当な項目がない場合は「追加項目」欄にご記入ください。
	日本事情	世界と日本の地域構成	日本の地域構成 都道府県の構成と地域区分	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		地域の規模に応じた調査	身近な地域 都道府県	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			世界の国々	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	世界と比べてみた日本	世界と比べてみた日本	自然環境から見た日本の地域的特色	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			人口から見た日本の地域的特色	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		様々な面からとらえた日本	資源や産業から見た日本の地域的特色	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			生活・文化から見た日本の地域的特色	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	現代社会	様々な特色を関連づけて見た日本	地域間の結びつきから見た日本の地域的特色	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>		
<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>		
日本の大学		現代に生きる私たちの課題 現代の社会生活と青年 現代の経済社会と経済活動の在り方 現代の民主政治と民主社会の倫理 国際社会の動向と日本の果たすべき役割	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
適当な項目がない場合、この欄に項目を書き加えてください。					
追加項目	日本事情			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

		最初に「所属・専攻」のご記入をお願いいたします。				
		■ここをクリックして記入シートへ移動				
科目		内容		【欄A: 重要度】	【欄B: 習得度】	
高等学校 学習指導内容 ～「数学」～	(1)(2)(3)／ABC…の項目	アイウエオ…の項目		入学時に必ず身につけているべきだと思われる学習項目に□をつけ、適当な項目がない場合は「追加項目」欄にご記入ください。		
				十分に身につけていない、学習が不足していると思われる学習項目に□をつけ、適當な項目がない場合は「追加項目」欄にご記入ください。		
	数学 I	方程式と不等式	数と式	実数 式の展開と因数分解	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			一次方程式		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			二次方程式		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		二次関数	二次関数とそのグラフ		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			二次関数の値の変化		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		図形と計量	三角比	二次関数の最大・最小		<input type="checkbox"/>
	二次不等式				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	正弦、余弦、正接				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	三角比の相互関係	三角比の相互関係		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		正弦定理、余弦定理		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		図形の計量 【用語・記号】sin,cos,tan		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	数学 II	式と証明・高次方程式	式と証明	整式の除法、分数式 等式と不等式の証明	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			高次方程式	複素数と二次方程式 高次方程式 【用語・記号】虚数、i、判別式、因数定理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			図形と方程式	点と直線	点の座標 直線の方程式	<input type="checkbox"/>
		円		円の方程式 円と直線	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		いろいろな関数		角の拡張	角の拡張	<input type="checkbox"/>
三角関数			三角関数とその基本的な性質 三角関数の加法定理	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
指数関数と対数関数			指数の拡張 指数関数 対数関数 【用語・記号】弧度法、累乗根、logax	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
微分・積分の考え方		微分の考え方	微分係数と導関数	微分係数と導関数 導関数の応用、接線、関数値の増減	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			不定積分と定積分	不定積分と定積分	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			面積 【用語・記号】極限値、lim	面積 【用語・記号】極限値、lim	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
数学 III		極限	数列の極限	数列 {m} の極限 無限等比級数の和	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			関数とその極限	合成関数と逆関数 関数値の極限 【用語・記号】収束、発散、∞	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	微分法		導関数	関数の和・差・積・商の導関数 合成関数の導関数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		導関数の応用	三角関数・指数関数・対数関数の導関数 接線、関数値の増減、速度、加速度 【用語・記号】自然対数、e、第二次導関数、変曲線	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		積分法	不定積分と定積分	積分との基本的な性質 簡単な置換積分法・部分積分法	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	積分の応用		いろいろな関数の積分 面積、体積	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	数学 A		平面图形	三角形の性質	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		円の性質		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		集合と論理	集合と要素の個数 命題と証明	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	数学 B	順列／組合せ	順列／組合せ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		場合の数と確率	確率とその基本的な法則 独立な試行と確率 【用語・記号】nPr, nCr, 階乗、n!, 余事象、排反	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		数列	数列とその和	等差数列と等比数列 いろいろな数列	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
数学 C	ベクトル	漸化式と数学的帰納法	漸化式と数列 数学的帰納法 【用語・記号】Σ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		平面上のベクトル	ベクトルとその演算 ベクトルの内積	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		空間座標とベクトル	空間座標、空間におけるベクトル 度数分布表、相関図	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
統計とコンピュータ	資料の整理	代表値、分散、標準偏差、相関係数	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	資料の分析		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	簡単なプログラム	整数の計算 近似値の計算	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
数学 D	行列とその応用	行列	行列との演算、和、差、実数倍 行列の積と逆行列	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		逆行列	連立一次方程式 点の移動 【用語・記号】A-1	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		連立一次方程式	放物線	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	式と曲線	二次曲線	楕円と双曲线 曲線の媒介変数表示	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		媒介変数表示と極座標	極座標と極方程式 【用語・記号】焦点、準線	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		極座標と極方程式		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	確率分布	確率の計算	確率変数と確率分布	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		確率分布	二項分布 【用語・記号】条件つき確率、平均、分散、標準偏差	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		正規分布	連続型確率変数 正規分布	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	統計処理	統計的な推測	母集団と標本 統計的な推測の考え方 【用語・記号】推定	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
統計的な推測			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
追加項目	適当な項目がない場合、この欄に項目を書き加えてください。					
数学				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

		最初に「所属・専攻」のご記入をお願いいたします。					
		■ここをクリックして記入シートへ移動					
科目		内容		【欄A: 重要度】	【欄B: 習得度】		
高等 学校 学 習 指 導 内 容 （「理 科」）	物理 I	(1)(2)(3)/ABC…の項目	アイウエオ…の項目	入学時に必ず身につけておきたいと思われる学習項目に✓をつける。適当な項目がない場合は「追加項目」欄にご記入ください。	十分に身につけていない、学習が不足していると思われる学習項目に✓をつける。適当な項目がない場合は「追加項目」欄にご記入ください。		
		電気 波 運動とエネルギー	電気	生活の中の電気	電気と生活 モーターと発電機 交流と電波	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				電気にに関する探究活動		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				いろいろな波		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			波	音と光	音の伝わり方	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
					音の干渉と共鳴	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
					光の伝わり方	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			運動とエネルギー	物体の運動	光の回折と干渉	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
					日常に起こる物体の運動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
					運動の表し方	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
運動の法則	<input type="checkbox"/>				<input type="checkbox"/>		
物理 II	力と運動 電気と磁気 物質と原子 原子と原子核 課題研究	力と運動	エネルギーの測り方	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
			運動エネルギーと位置エネルギー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		電気と磁気	熱と温度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
			電気とエネルギー	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
		物質と原子	エネルギーの変換と保存	エネルギーの変換と保存	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
				運動とエネルギーに関する探究活動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		原子と原子核 課題研究	平面 上 の 運 動	平面 上 の 運 動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
				運動量と力積	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
				円運動と単振動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
				万有引力による運動	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
電荷と電界	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>			
電流による磁界	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>			
電磁誘導	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>			
電磁波	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>			
原子、分子の運動	原子、分子の運動	物質の三態	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
		分子の運動と圧力	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
		原子と電子	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
		固体の性質と電子	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
原子、電子と物質の性質	原子、電子と物質の性質	粒子性と波動性	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
		量子論と原子の構造	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
		原子核	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
		素粒子と宇宙	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
特定の物理的事象に関する研究 物理学を発展させた実験に関する研究							
追 加 項 目	物理	適当な項目がない場合、この欄に項目を書き加えてください。					
		<input type="checkbox"/>					
		<input type="checkbox"/>					
		<input type="checkbox"/>					
		<input type="checkbox"/>					
		<input type="checkbox"/>					
		<input type="checkbox"/>					
		<input type="checkbox"/>					
		<input type="checkbox"/>					
		<input type="checkbox"/>					

		最初に「所属・専攻」のご記入をお願いいたします。				
		■ここをクリックして記入シートへ移動				
科目	内容			【欄A: 重要度】	【欄B: 習得度】	
高等学校学習指導内容（「理科」）	(1)(2)(3)／ABC…の項目	アイウエオ…の項目		入学時に必ず身につけているべきだと思われる学習項目に✓をつけ、適当な項目がない場合は「追加項目」欄にご記入ください。	十分に身につけていない、学習が不足している、と思われる学習項目に✓をつけ、適當な項目がない場合は「追加項目」欄にご記入ください。	
	化学 I	物質の構成	物質と人間生活	化学とその役割	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			物質の構成粒子	物質の探究	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			物質の構成に関する探究活動	原子、分子、イオン	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		物質の種類と性質	無機物質	物質量	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			有機化合物	単体	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			物質の種類と性質に関する探究活動	化合物	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		物質の変化	炭化水素	反応熱	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			官能基を含む化合物	酸・塩基、中和	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			化学反応	酸化と還元	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		化学 II	物質の構造と化学平衡	物質の変化に関する探究活動		<input type="checkbox"/>
	物質の構造			化学結合	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	液体と固体			気体の法則	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	反応速度			液体と固体	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	化学平衡		反応速度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
生活と物質	食品と衣料の化学	化学平衡	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	材料の化学	食品	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	生命の化学	衣料	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	薬品の化学	プラスチック	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
課題研究	特定の化学的事象に関する研究	金属、セラミックス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	化学を発展させた実験に関する研究	生命体を構成する物質	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
追加項目	化学	生命を維持する化学反応	生命を維持する化学反応	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		医薬品	医薬品	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		肥料	肥料	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		特定の化学的事象に関する研究	特定の化学的事象に関する研究	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		化学を発展させた実験に関する研究	化学を発展させた実験に関する研究	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
		適当な項目がない場合、この欄に項目を書き加えてください。			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
					<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

【回答回票】

I 票查調

国費学部留学生教育に関する意見調査
大阪大学CJLC

		文科系					
質問	先生のご所属・ご専攻をお書きください。	社会科学系			人文系		一般教養 留学生教育 その他の人文系 文系(文) (10)
		日本関係 (13)	教育学 (8)	経済 (33)	法学 (11)	人文系 (13)	
質問1	省略	2	0	0	0	2	0
質問2	これまで国費学部留学生を指導教員(卒業論文主査)として何人程度指導されましたか。	5	4	2	2	1	0
	3 1~4名指導した	26	18	3	15	7	3
	4 指導したことがない	56	19	5	14	22	9
	5 よくわからぬ (無回答)	3	1	0	1	0	0
	1 10名以上指導した	23	9	1	8	6	3
	2 5~9名指導した	17	13	1	12	2	1
質問3	これまで講義や演習などの授業で、国費学部留学生を受講生として何人程度指導されましたか。	35	10	4	6	20	6
	3 1~4名指導した	7	3	0	3	3	1
	4 指導したことがない	13	9	5	4	3	2
	5 よくわからぬ (無回答)	0	0	0	0	0	0
	1 大変よく知っている	7	1	0	1	0	1
	2 かなり知っている	19	7	2	5	7	4
質問4	国費学部留学生制度や国費学部留学生予備教育について、どの程度ご存知ですか。	26	15	5	10	9	4
	3 どちらとも言えない	35	19	3	16	12	5
	4 あまり知らない	8	2	1	1	5	0
	5 まったく知らない (無回答)	0	0	0	0	0	0
質問5	先生のご所属の学科・専攻での学習活動を行うために必要な言語運用能力を国費学部留学生は備えていますか。国費学部留学生の日本語および英語能力について、別紙「言語活動調査票」(調査票II)にご回答をお願いします。	0	0	0	0	0	0

照 照 檢 査 票 II - (1) お よ び II - (2) 参 照

調査票Ⅰ
【割合】

調査票Ⅰ

		文科系									
		社会科学系		人文系		一般教養		文 (他)			
		法学 (11)	経済 (33)	日本関係 教育学 (13)	その他の人文学 科 (6)	留学生教育 その他の人文学 科 (13)	留学生教育 其他の言語文 科 (10)	留学生教育 其他の言語文 科 (2)	文 (5)		
質問1 先生のご所属ご事務をお書きください。	省 路										
	1 10名以上指導した	2.1	0	0	0	5.88	0	25	0	0	0
	2 5~9名指導した	5.3	9.09	18.18	6.06	2.94	7.69	0	0	0	0
質問2 これまで国費学部留学生を指導教員(卒業論文主査)として何人程度指導されましたか。	3 1~4名指導した	27	40.9	27.27	45.45	20.59	23.08	25	15.38	0	0
	4 指導したことがない	59	43.2	45.45	42.42	64.71	69.23	50	69.23	9.17	90
	5 よくわからぬ (無回答)	3.2	2.27	9.09	0	2.94	0	0	7.69	8.33	10
	1 10名以上指導した	24	20.5	9.09	24.24	17.65	23.08	12.5	15.38	53.33	70
	2 5~9名指導した	18	29.6	9.09	36.36	5.88	7.69	12.5	0	0	40
質問3 これまで講義や演習などの授業で、国費学部留学生を受講生として何人程度指導されましたか。	3 1~4名指導した	37	22.7	36.36	18.18	58.82	46.15	50	76.92	33.33	20
	4 指導したことがない	7.4	6.82	0	9.09	8.82	7.69	12.5	7.69	8.33	10
	5 よくわからぬ (無回答)	14	20.5	45.45	12.12	8.82	15.38	12.5	0	0	20
	1 大変よく知っている	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2 かなり知っている	7.4	2.27	0	3.03	2.94	0	12.5	0	4.17	50
質問4 国費学部留学生制度や国費学部留学生予備教育について、どの程度ご存知ですか。	3 どちらとも言えない	20	15.9	18.18	15.15	20.59	30.77	0	23.08	4.17	50
	4 あまり知らない	27	34.1	45.45	30.3	26.47	30.77	25	23.08	8.33	0
	5まったく知らない (無回答)	37	43.2	27.27	48.48	35.29	38.46	37.5	30.77	8.33	0
質問5 先生のご所属の学科・専攻での学習活動を行ったために必要な言語運用能力を国費学部留学生は備えていますか。国費学部留学生の日本語および英語能力について、別紙「言語活動調査票」(調査票II)にご回答をお願いします。											調査票 II - (1) および II - (2) 参照

調査票!
【回答数】

調査票 I

		文科系						留学生教育 その他の人文学 英語教育文 文(その他)	
		社会科学系		人文系		一般教養			
		法学 (11)	経済 (33)	日本関係 教育学 (13)	その他の人文学 (8)	(13)	(10)		
質問6	(1) 政治経済	33	28	7	21	3	0	0	
	(2) 日本史	19	6	3	3	11	6	2	
	(3) 日本事情	36	15	7	8	14	5	6	
	(4) 数学	24	18	0	18	5	0	3	
	(5) 物理	0	0	0	0	0	0	0	
	(6) 化学	1	1	0	1	0	0	0	
	(1) 日本語が日本人学生と同程度でできること	17	6	3	3	8	2	3	
	(2) 高校の各教科について日本人学生と同程度に知識があること	21	9	0	9	8	3	1	
	(3) 専門分野について知識があること	12	4	1	3	6	0	2	
	(4) 大学の授業シラバスがはいり理解できる語彙力があること	68	32	7	25	24	10	4	
	(5) 英語ができること	29	15	2	13	8	1	2	
	(6) 日本について知識があること	22	6	4	2	11	5	2	
	(7) 日本に対する興味、関心があること	57	23	8	15	22	7	6	
	(8) 知的能力に優れていること	53	26	8	18	18	4	6	
	(9) 課題設定し、探求・解決する能力があること	37	17	5	12	11	1	2	
	(10) 学習意欲が高いこと	81	40	9	31	25	9	6	
	(11) 目的意識が高いこと	57	24	5	19	20	6	3	
	(12) 勤勉なこと	59	31	7	24	20	5	4	
	(13) 創造性があること	14	7	3	4	5	1	2	
	(14) 協調性があること	34	18	4	14	11	1	2	
	(15) 入学した大学、学部、学科について知識があること	14	5	2	3	3	1	1	
	(16) 大学のある地域や日常生活について知識があること	9	2	0	2	0	2	1	
	(17) その他	8	5	1	4	1	0	1	
質問7	本調査の内容や方法についてのご意見、国費学部留学生予備教育に対するご要望、その他国費学部留学生教育に関するご意見などをご自由に お書きください。								
質問8	省略								

[割合] [調査票]

I 票查調

国費学部留学生教育に関する意見調査 大阪大学CJLC

質問6	質問7	質問8	質問9	質問10	質問11	質問12	質問13	質問14	質問15	質問16	質問17	文科系						
												社会科学系			人文系			
												法学 (11)	経済 (33)	日本国際 教育学 (13)	日本語 (8)	英語 (13)	その他の人文学 科	
(1) 政治経済							35	63.6	63.64	63.64	8.82	0	25	7.69	0	0	0	40
(2) 日本史							20	13.6	27.27	9.09	32.35	46.15	25	23.08	16.67	20	0	0
(3) 日本事情							38	34.1	63.64	24.24	41.18	38.46	75	23.08	58.33	70	0	0
(4) 数学							25	40.9	0	54.55	14.71	0	37.5	15.38	0	0	0	20
(5) 物理							0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(6) 化学							1.1	2.27	0	3.03	0	0	0	0	0	0	0	0
(1) 日本語が日本人学生と同程度できること							18	13.6	27.27	9.09	23.53	15.38	37.5	23.08	8.33	10	0	40
(2) 高校の各教科について日本人学生と同程度ご知識があること							22	20.5	0	27.27	23.53	23.08	12.5	30.77	25	30	0	20
(3) 専門分野について知識があること							13	9.09	9.09	9.09	17.65	0	25	30.77	16.67	10	50	0
(4) 大学の授業シラバスがだいたい理解できる語彙力があること							72	72.7	63.64	75.76	70.59	76.92	50	76.92	66.67	60	100	80
(5) 英語ができること							31	34.1	18.18	39.39	23.53	7.69	25	38.46	25	30	0	60
(6) 日本について知識があること							23	13.6	36.36	6.06	32.35	38.46	25	30.77	41.67	40	50	0
(7) 日本に対する興味・関心があること							60	52.3	72.73	45.45	64.71	53.85	75	69.23	83.33	80	100	40
(8) 知的能力に優れていること							56	59.1	72.73	54.55	52.94	30.77	75	61.54	58.33	60	50	40
(9) 課題設定し、探求・解決する能力があること							39	38.6	45.45	36.36	32.35	7.69	25	61.54	33.33	30	50	100
(10) 学習意欲が高いこと							85	90.9	81.82	93.94	73.53	69.23	75	76.92	91.67	90	100	100
(11) 目的意識が高いこと							60	54.6	45.45	57.58	58.82	46.15	37.5	84.62	83.33	90	50	60
(12) 勤勉なこと							62	70.5	63.64	72.73	56.82	38.46	50	84.62	50	50	50	40
(13) 創造性があること							15	15.9	27.27	12.12	14.71	7.69	25	15.38	16.67	0	100	0
(14) 協調性があること							36	40.9	36.36	42.42	32.35	7.69	25	61.54	33.33	30	50	20
(15) 入学した大学、学部、学科について知識があること							15	11.4	18.18	9.09	8.82	7.69	25	0	41.67	40	50	20
(16) 大学のある地域や日常生活について知識があること							9.5	4.55	0	6.06	5.88	0	0	15.38	33.33	30	50	20
(17) その他							84	11.4	9.09	12.12	2.94	0	12.5	0	8.33	10	0	20

**調査票!
【回答数】**

調査票 I

国費学部留学生教育に関する意見調査
大阪大学CJLC

質問	先生のご所属・ご専攻をお書きください。	理科系														
		工学系							理学系							
		電気電子情報系			電気電子情報				機械			環境工		生命工		
		(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	
質問1	先生のご所属・ご専攻をお書きください。	省 略	3	3	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	1 10名以上指導した	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2 5~9名指導した	41	35	19	4	9	6	5	4	2	0	5	5	1	2	1
	3 1~4名指導した	36	31	19	3	7	9	1	1	0	2	8	4	0	2	1
	4 指導したことがない	2	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	5 よくわからない、 (無回答)	2	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
質問2	これまで国費学部留学生を指導教員(卒業論文主査)として何人程度指導されましたか。	1 10名以上指導した	32	30	20	3	9	8	2	2	1	3	1	1	0	0
	2 5~9名指導した	15	13	8	0	5	3	0	2	0	0	3	2	0	1	0
	3 1~4名指導した	26	21	10	4	4	2	1	2	0	1	7	5	0	3	1
	4 指導したことがない	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	5 よくわからない、 (無回答)	12	9	5	1	1	3	3	1	0	0	0	1	0	0	1
質問3	これまで講義や演習などの授業で、国費学部留学生を受講生として何人程度指導されましたか。	1 大変よく知っている	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	2 かなり知っている	14	8	5	1	2	2	0	1	0	1	5	1	2	0	1
	3 どちらとも言えない	29	26	12	3	4	5	1	3	2	1	7	3	0	2	1
	4 あまり知らない	35	32	22	3	11	8	3	3	0	4	1	0	1	0	2
	5 まったく知らない (無回答)	7	7	3	1	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
質問4	国費学部留学生制度や国費学部留学生予備教育について、どの程度ご存知ですか。	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
質問5	先生のご所属の学科専攻での学習活動を行うために必要な言語運用能力を国費学部留学生は備えていますか。国費学部留学生の日本語および英語能力について、別紙「言語活動調査票」(調査票II)にご回答をお願いします。	調査票 II - (1) および II - (2) 参照														

**調査票Ⅰ
【割合】**

国費学部留学生教育に関する意見調査
大阪大学CJLC

質問番号	質問文	回答選択肢	理系									
			工学系					理学系				
			電気電子情報系		機械・環境工学			生命工学		物理学		
			(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(1)	(2)	(3)
質問1	先生のご所属・ご専攻をお書きください。	省略	3.49	4.05	6.98	0	10.53	6.25	0	0	0	0
	1 10名以上指導した		2.33	2.7	12.5	0	0	0	0	0	0	0
	2 5～9名指導した		47.67	47.3	44.19	50	47.37	37.5	83.33	57.14	0	7.14
	3 1～4名指導した		41.86	41.89	44.19	37.5	36.84	56.25	16.67	14.29	0	35.71
	4 指導したことがない		2.33	2.7	2.33	0	5.26	0	0	14.29	0	57.14
	5 よくわからない、(無回答)		2.33	1.35	0	0	0	0	0	14.29	0	0
質問2	これまで国費学部留学生を指導教員(卒業論文主査)として何人程度指導されましたか。		37.21	40.54	46.51	37.5	47.37	50	33.33	28.57	100	50
	1 10名以上指導した		17.44	17.57	18.6	0	26.32	18.75	0	28.57	0	21.43
	2 5～9名指導した		30.23	28.38	23.26	50	21.05	12.5	16.67	28.57	0	22.22
	3 1～4名指導した		1.16	1.35	0	0	0	0	0	50	50	75
	4 指導したことがない		13.95	12.16	11.63	12.5	5.26	18.75	50	14.29	0	7.14
	5 よく知らない、(無回答)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
質問3	これまで講義や演習などの授業で、国費学部留学生を受講生として、何人程度指導されましたか。		1.16	1.35	0	0	0	0	0	0	0	0
	1 大変よく知っている		16.28	10.81	11.63	12.5	10.53	12.5	0	14.29	0	11.11
	2 かなり知っている		33.72	35.14	27.91	37.5	21.05	31.25	16.67	42.86	100	50
	3 どちらとも言えない		40.7	43.24	51.16	37.5	57.89	50	50	42.86	0	33.33
	4 あまり知らない		8.14	9.46	6.98	12.5	10.53	0	33.33	0	0	0
	5 まったく知らない、(無回答)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
質問4	国費学部留学生制度や国費学部留学生予備教育について、どの程度ご存知ですか。		40.7	43.24	51.16	37.5	57.89	50	50	42.86	0	28.57
	1 大変よく知っている		8.14	9.46	6.98	12.5	10.53	0	33.33	0	0	0
	2 かなり知っている		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
質問5	先生のご所属の学科・専攻での学習活動を行ったために必要な言語運用能力を国費学部留学生は備えていますか。国費学部留学生の日本語および英語能力について、別紙「言語活動調査票」(調査票II)にご回答をお願いします。		40.7	43.24	51.16	37.5	57.89	50	50	42.86	0	28.57
	1 大変よく知っている		8.14	9.46	6.98	12.5	10.53	0	33.33	0	0	0
	2 かなり知っている		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

調査票 II - (1) および II - (2) 参照

調査票!
【回答数】

調査票 I

質問6	先生のご所属の学科・専攻での創立に必須の教科を下の6科目の中から選んでX印をつけ、それら全ての教科について別紙学習項目調査票」(調査票Ⅲ)にご回答をお願いします。聞違いがない科目については、調査票は白紙のままで、次頁以降の科目にお進みください。	理系																									
		工学系						理学系																			
		電気電子情報系			機械 情報/電気電子情報系			環境工		化学工		生命工		工(その他)		数学		物理学		化学		生物学		教育学/理科		共通教育(理)	
(1) 政治経済	1	1	0	0	0	0	0	(6)	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	(3)
(2) 日本史	0	0	0	0	0	0	0	(16)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(3) 日本事情	5	5	0	2	1	0	0	(7)	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(4) 数学	78	67	41	8	17	16	6	(14)	7	2	0	11	8	1	4	2	1	0	3	2	1	0	0	0	0	0	
(5) 物理	67	57	34	8	11	15	5	(2)	7	2	0	9	8	0	4	2	1	1	2	0	1	2	0	0	0	0	0
(6) 化学	28	21	7	2	0	5	2	(1)	2	2	2	6	5	0	1	2	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0
(1) 日本語が日本人学生と同程度できること	17	17	9	3	5	1	2	1	0	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 高校の各教科について日本人学生と同程度に知識があること	60	52	29	4	12	13	3	6	2	2	10	7	1	3	1	3	1	1	0	1	0	1	0	1	1	1	1
(3) 専門分野について知識があること	18	14	7	2	1	4	2	0	1	1	3	3	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	0	1	1
(4) 大学の授業シラバスがだいたい理解できる語彙力があること	54	47	27	4	12	11	4	5	2	2	7	5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2
(5) 英語ができること	40	32	17	2	11	4	3	2	2	0	8	7	1	4	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
(6) 日本について知識があること	9	9	5	3	1	1	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(7) 日本に対する興味・関心があること	37	31	17	4	6	7	4	3	1	0	6	5	0	3	2	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1
(8) 知的能力に優れていること	48	40	22	2	12	8	5	4	2	0	7	6	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2
(9) 課題設定し、探求・解決する能力があること	29	24	11	2	5	4	2	4	2	1	4	5	1	3	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(10) 学習意欲が高いこと	75	64	37	6	17	14	6	7	2	1	11	8	1	3	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	3	3
(11) 目的意識が高いこと	59	50	29	5	15	9	3	6	2	2	8	7	1	4	1	1	1	0	2	2	1	1	1	1	1	0	2
(12) 勤勉なこと	54	46	24	3	13	8	4	5	1	1	11	6	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2
(13) 創造性があること	21	18	9	2	3	4	1	2	1	0	5	3	1	1	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0
(14) 協調性があること	49	45	24	6	9	9	6	5	1	0	9	3	0	1	1	0	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1
(15) 入学した大学、学部、学科について知識があること	16	14	6	0	2	4	1	2	0	0	5	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
(16) 大学のある地域や日常生活について知識があること	15	15	8	0	5	3	2	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(17) その他	5	5	2	1	1	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
質問8	本調査の内容や方法についてのご意見、国費学部留学生に対するご要望、その他国費学部留学生教育に関するご意見などをご自由にお書きください。																										
	省略																										

調査票Ⅰ
【割合】

調査票Ⅰ

国費学部留学生教育に関する意見調査
大阪大学CJLC

		理学系																
		工学系								理学系								
		電気電子情報系				機械情報				環境工		化学工		生命工		(その他の)		
		電気・電子 (8)	情報 (9)	電／情 (10)	機 (11)	機械 (12)	環境 (13)	化 (14)	工 (15)	生物 (16)	物 (17)	化 (18)	生 (19)	物 (20)	理 (21)	教 (22)	育 (23)	
(1) 政治経済	1.16	1.35	0	0	0	0	0	14.29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(2) 日本史	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(3) 日本書情	5.81	6.76	6.98	0	10.53	6.25	0	28.57	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(4) 数学	90.7	90.54	95.35	100	89.47	100	100	100	0	78.57	88.89	100	100	100	100	100	100	
(5) 物理	77.91	77.03	79.07	100	57.89	83.75	83.33	100	100	0	64.29	88.89	0	100	100	100	100	66.67
(6) 化学	32.56	28.38	16.28	25	0	31.25	33.33	28.57	100	100	42.86	55.56	0	25	100	100	100	66.67
(1) 日本語が日本人学生と同程度できること	19.77	22.97	20.93	37.5	26.32	6.25	33.33	14.29	0	50	28.57	0	0	0	0	0	0	0
(2) 高校の各教科について日本人学生と同程度に知識があること	69.77	70.27	67.44	50	63.16	81.25	50	85.71	100	100	71.43	77.78	100	75	50	100	100	33.33
(3) 専門分野について知識があること	20.93	18.92	16.28	25	5.26	25	33.33	0	50	50	21.43	33.33	100	25	0	100	0	33.33
(4) 大学の授業シラバスがだいたい理解できる語彙力があること	62.79	63.51	62.79	50	63.16	68.75	66.67	71.43	100	100	50	55.56	100	25	50	100	100	66.67
(5) 英語ができますこと	46.51	43.24	39.53	25	57.89	25	50	28.57	100	0	57.14	77.78	100	100	0	100	100	33.33
(6) 日本について知識があること	10.47	12.16	11.63	37.5	5.26	6.25	0	14.29	0	0	21.43	0	0	0	0	0	0	0
(7) 日本に対する興味・関心があること	43.02	41.89	39.53	50	31.58	43.75	66.67	42.86	50	0	42.86	55.56	0	75	100	0	0	33.33
(8) 知的能力に優れていますこと	55.81	54.05	51.16	25	63.16	50	83.33	57.14	100	0	50	66.67	100	50	100	100	0	66.67
(9) 課題設定し、探求・解決する能力があること	33.72	32.43	25.58	25	26.32	25	33.33	57.14	100	50	28.57	55.56	100	75	0	100	0	0
(10) 学習意欲が高いこと	87.21	86.49	86.05	75	89.47	87.5	100	100	100	50	78.57	88.89	100	75	100	100	100	100
(11) 目的意識が高いこと	68.6	67.57	67.44	62.5	78.95	56.25	50	85.71	100	100	57.14	77.78	100	100	50	100	0	66.67
(12) 勤勉なこと	62.79	62.16	55.81	37.5	68.42	50	66.67	71.43	50	50	78.57	66.67	100	50	50	100	100	66.67
(13) 創造性があること	24.42	24.32	20.93	25	15.79	25	16.67	28.57	50	0	35.71	33.33	100	25	0	100	0	0
(14) 協調性があること	56.98	60.81	55.81	75	47.37	56.25	100	71.43	50	0	64.29	33.33	0	25	50	0	100	33.33
(15) 入学した大学、学部、学科について知識があること	18.6	18.92	13.95	0	10.53	25	16.67	28.57	0	0	35.71	0	0	0	0	0	0	66.67
(16) 大学のある地域や日常生活について知識があること	17.44	20.27	18.6	0	26.32	18.75	33.33	14.29	50	50	14.29	0	0	0	0	0	0	0
(17) その他	5.81	6.76	4.65	12.5	5.26	0	16.67	14.29	0	0	7.14	0	0	0	0	0	0	0
質問8 本調査の内容や方法についてのご意見、国費学部留学生予備教育に関するご要望、その他国費学部留学生教育に関するご意見などをご自由に お書きください。																		
質問9 省略																		

調査票II-(1)
【欄A・重要度】回答数

日本語

科目	内 容	文科系											
		社会科学系				人文系				一般教養			
		法学	経済	日本関係	教育学	その他人文学				留学生教育	共通教育(文)	文(その他)	
基本項目	聞く能力	96/96	44/44	11/11	33/33	33/33	12/12	8/8	13/13	14/14	12/12	2/2	5/5
	聞く能力	学術的な内容の話を聞いて、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる 日常会話を聞いて、話し手の意向を理解したり、必要な情報や概要、要点をとらえたりすることができる	49	21	6	15	18	4	7	7	7	6	3
	聞く能力	学術的な内容の文章を読んで、論理の展開や内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる 日常的な内容の文章を読んで、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	84	39	10	29	29	12	7	10	12	11	1
	聞く能力	日常的な内容の文章を読んで、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる 文学的な文章を読んで、内容を的確にとらえ、表現を味わうことができる	52	23	7	16	20	4	7	9	7	6	2
	読む能力	日常的な内容の文章を読んで、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる 文学的な文章を読んで、内容を的確にとらえ、表現を味わうことができる	77	38	10	28	24	10	5	9	11	10	4
	読む能力	日常的な文章を読んで、内容を的確にとらえ、表現を味わうことができる 与えられた文章を、目的にあわせて、必要な速度で読むことができる	8	2	0	2	4	1	1	2	1	1	0
	読む能力	常用漢字を読みこなすことができる 漢字で書かれた専門用語を読んで理解することができる	44	19	5	14	18	10	3	5	7	6	0
	話す能力	近代文語文、古文や漢文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解することができる 自分が伝ふようとする内容を、論理的に述べることができる	29	12	4	8	10	5	2	3	7	6	0
	話す能力	自分が伝ふようとする内容を、目的や場に応じて文体などの表現を工夫しながら話すことができる 自分が伝ふようとする内容を、相手の質問に答えていることができる	4	0	0	0	3	2	0	1	1	0	0
	話す能力	自分が伝ふようとする内容を、論理的に述べることができる 自分が伝ふようとする内容を、目的や場に応じて文体などの表現を工夫しながら話すことができる 自分が伝ふようとする内容を、相手の質問に答えていることができる 自分が伝ふようとする内容を、自分の考え方などをまとめ、発表することができる 聞いたり読んだりして得た情報や自分の考え方などについて、話合・振りり意見交換ができる 聞いたり読んだりして得た情報や自分の考え方などについて、話し合ふようとする内容を、論理的に構成しながら文章にまとめることができる 自分が伝ふようとする内容を、自分のや場に応じて文体などの表現を工夫しながら書くことができる 自分が伝ふようとする内容を、正しい表記法で書くことができる 自分が伝ふようとする内容を、必要や要素を文章にまとめることができる 聞いたり読んだりして得た情報を整理し、概要や要素を文章にまとめることができる 講義を聞きながら、必要な情報をノートにとることができる 筆記試験などで設問に対する解答を、必要な速度で書くことができる 主な常用漢字を書くことができる	77	37	10	27	25	10	8	7	11	10	1

調査票II-(1)
【欄A・重要度】割合

日本語

科目	内 容	文科系										留学生教育(文・その他)	
		人文系					一般教養						
		社会科学系	法学	経済	日本関係	教育学	その他人文学	14/14	12/12	2/2	5/5		
基本項目	聞く能力	学術的な内容の話を聞いて、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	96/96	44/44	11/11	33/33	33/33	12/12	8/8	13/13	14/14	12/12	2/2
	読む能力	日常会話を聞いて、話し手の意向を理解したり、必要な情報や概要、要点をとらえたりすることができる	51.04	63.64	54.55	45.45	85.71	33.33	87.5	53.85	100	50	60
	話す能力	学術的な内容の文章を読んで、論理の展開や内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	87.5	118.18	90.91	87.88	138.1	100	87.5	76.92	171.43	91.67	50
	書く能力	日常的な内容の文章を読んで、論理的に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	54.17	69.7	63.64	46.48	95.24	33.33	87.5	69.23	100	50	40
	聞く能力	日常的な内容の文章を読んで、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	80.21	115.15	90.91	84.85	114.29	83.33	62.5	69.23	157.14	83.33	50
	読む能力	日常的な文章を読んで、内容を的確にとらえ、表現を終わらすことができる	8.33	6.06	0	6.06	19.05	8.33	12.5	15.38	28.57	8.33	50
	話す能力	与えられた文章を、目的にあわせて、必要な速度で読むことができる	45.83	57.58	45.45	42.42	85.71	83.33	37.5	38.46	100	50	0
	書く能力	常用漢字を読みこなすことができる	65.63	96.97	81.82	69.7	100	83.33	50	53.85	114.29	66.67	0
	聞く能力	漢字で書かれた専門用語を読んで理解することができる	30.21	36.36	36.36	24.24	47.62	41.67	25	23.08	100	50	0
	読む能力	近代文語文、古文や漢文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解することができる	4.17	0	0	0	14.29	16.67	0	7.69	14.29	0	50
日本語項目	聞く能力	自分が伝えようとする内容を、論理的に述べることができる	80.21	112.12	90.91	81.82	119.05	83.33	100	53.85	157.14	83.33	50
	読む能力	自分が伝えようとする内容を、目的や場に応じて文体などの表現を工夫しながら話すことができる	27.08	21.21	9.09	18.8	57.14	58.93	0	38.46	85.71	41.67	50
	話す能力	自分が伝えようとしたときに質問に答えていくことができる	82.29	100	81.82	72.73	142.86	100	75	92.31	171.43	91.67	50
	書く能力	聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどをまとめ、発表することができる	64.58	78.79	63.64	57.58	114.29	75	62.5	76.92	128.57	66.67	50
	聞く能力	聞いたり読んだりして得た情報や自分の考え方などについて、話合・振りり意見の交換ができる	62.5	75.76	63.64	54.55	100	66.67	62.5	61.54	157.14	83.33	50
	読む能力	自分が伝えようとする内容を、論理的に構成しながら文章にまとめることができる	68.75	103.03	81.82	75.76	90.48	50	87.5	46.15	128.57	66.67	50
	話す能力	自分が伝えようとする内容を、目的や場に応じて文体などの表現を工夫しながら書くことができる	30.21	18.18	18.18	12.12	61.9	50	25	38.46	128.57	66.67	50
	書く能力	自分が伝えようとする内容を、正しい表記法で書くことができる	44.79	60.61	63.64	39.39	71.43	75	37.5	23.08	85.71	41.67	50
	聞く能力	聞いたり読んだりして得た情報を整理し、概要や要点を文章にまとめることができる	65.63	84.85	63.64	63.64	104.76	75	62.5	61.54	142.86	75	50
	読む能力	講義を聞きながら、必要な情報をノートにとることができます	72.92	100	72.73	75.76	109.52	83.33	62.5	61.54	157.14	83.33	50
	書く能力	筆記試験などで設問に対する解答を、必要な速度で書くことができる	51.04	75.76	63.64	54.55	66.67	58.33	50	23.08	114.29	58.33	50
	聞く能力	主な常用漢字を書くことができる	43.75	54.55	54.55	36.36	76.19	50	62.5	38.46	100	50	20

調査票II-(1)
【欄A・重要度】回答数

日本語

科 目	内 容	工学系										理学系						
		電気電子情報系					電気・電子 情報 機械 環境工 化学工 生命工 工(その他)					数学 物理学 化学 生物学 教育学(理科) 共通教育(理)						
		88/88	76/76	43/43	8/8	19/19	16/16	6/6	7/7	3/3	2/2	15/15	9/9	1/1	4/4	2/2	1/1	
基 本 項 目	聞く能力	学術的な内容の話を聞いて、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	60	53	33	5	14	14	5	4	2	1	8	7	1	3	1	1
		日常会話を聞いて、話し手の意向を理解したり、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	71	62	36	6	17	13	5	7	2	2	10	9	1	4	2	1
		学術的な内容の文章を読んで、論理の展開や内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	60	52	31	4	15	12	6	5	1	0	9	7	1	3	1	1
		日常的な内容の文章を読んで、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	72	62	35	6	16	13	4	7	2	2	12	9	1	4	2	1
		文学的な文章を読んで、内容を的確にとらえ、表現を味わうことができる	4	2	0	2	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	読む能力	与えられた文章を、目的にあわせて、必要な速度で読むことができる	36	32	19	1	12	6	4	4	1	0	4	3	0	2	0	1
		常用漢字を読みこなすことができる	46	43	25	4	12	9	5	5	1	1	6	3	0	1	1	0
		漢字で書かれた専門用語を読んで理解することができる	40	39	23	2	10	11	5	2	2	1	6	1	0	0	0	0
		近代文語文、古文や漢文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解することができる	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	話す能力	自分が伝えようとする内容を、論理的に述べることができる	69	60	33	4	16	13	6	7	2	2	10	8	1	4	1	1
日本語		自分が伝えようとする内容を、目的や場に応じて文体などの表現を工夫しながら話すことができる	25	21	12	2	7	3	2	2	1	2	2	3	0	2	0	1
		自分が伝えようとする内容を、相手の質問に答えて答えることができる	71	62	36	6	16	14	6	7	2	2	9	8	1	4	1	1
		聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどをまとめ、発表することができます	49	43	26	4	13	9	5	6	1	0	5	5	0	2	1	1
		聞いたり読んだりして得た情報や自分の考え方などについて、話合・振り意見の交換ができる	46	40	18	2	10	6	5	7	1	1	8	5	0	2	1	1
		自分が伝えようとする内容を、論理的に構成しながら文章にまとめることができる	65	56	33	3	17	13	6	6	1	1	9	8	1	3	2	1
		自分が伝えようとする内容を、目的や場に応じて文体ながら書くことができる	19	16	10	2	3	5	2	2	1	0	1	2	0	1	0	1
		自分が伝えようとする内容を、正しい表記法で書くことができる	37	33	18	2	11	5	6	5	0	0	4	3	0	1	0	1
		聞いたり読んだりして得た情報を整理し、概要や要点を文章にまとめることができる	48	42	27	6	11	10	3	4	2	1	5	5	0	2	1	1
		講義を聞きながら、必要な情報をノートにとることができます	64	56	31	3	14	14	6	6	2	1	10	7	1	3	1	1
	書く能力	筆記試験などで設問に対する解答を、必要な速度で書くことができる	49	43	25	2	15	8	4	5	1	1	7	5	1	1	1	1
		主な常用漢字を書くことができる	23	21	13	2	5	6	2	2	0	1	3	2	0	1	0	0

調査票II-(1)
【欄A・重要度】割合

日本語

科目	内容	工学系										理学系																			
		電気電子情報系					電気・電子 情報					機械		環境工		生命工		工(その他)		数学		物理学		化学		生物学		教育学(理科)		共通教育(理)	
		88/88	76/76	43/43	8/8	19/19	16/16	6/6	7/7	3/3	2/2	15/15	9/9	1/1	4/4	2/2	1/1	1/1	4/4	2/2	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	3/3		
基本項目	聞く能力	学術的な内容の話を聞いて、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる 日常会話を聞いて、話し手の意向を理解したり、必要な情報や概要、要点をとらえたりすることができる	75.95	77.94	80.49	62.5	73.68	87.5	83.33	57.14	66.67	50	53.33	63.64	100	75	50	100	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	読む能力	学術的な内容の文章を読んで、論理の展開や内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる 日常的な内容の文章を読んで、論理の展開や内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる 文学的な文章を読んで、内容を的確にとらえ、表現を終わらうことができる	89.87	91.18	87.8	75	89.47	81.25	83.33	100	66.67	100	66.67	81.82	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	0	
	常用漢字を読みこなすことができる	5.06	5.88	4.88	0	10.33	0	0	14.29	0	0	6.67	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	漢字で書かれた専門用語を読むことができる	50.63	57.35	56.1	25	52.63	68.75	83.33	28.57	66.67	50	40	9.09	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	近代文語文、古文や漢文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解することができる	1.27	1.47	2.44	0	5.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	自分が伝えようとする内容を、論理的に述べることができる	87.34	88.24	80.49	50	84.21	81.25	100	100	66.67	100	66.67	72.73	100	100	50	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	33.33	
	自分が伝伝えようとする内容を、目的や場に応じて文体などの表現を工夫しながら話すことができる	31.65	30.98	29.27	25	36.84	18.75	33.33	28.57	33.33	100	13.33	27.27	0	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	聞いながらあることについて相手に質問したり、相手の質問に答えてりすることができる	89.87	91.18	87.8	75	84.21	87.5	100	100	66.67	100	60	72.73	100	100	50	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	33.33	
	聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどをまとめ、発表することができる	62.03	63.24	63.41	50	68.42	56.25	83.33	85.71	33.33	0	33.33	45.45	0	50	50	0	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	33.33	
	聞いたり読んだりして得た情報や自分の考え方などについて、話合・振りり意見の交換ができる	56.23	58.82	43.9	25	52.63	37.5	83.33	100	33.33	50	53.33	45.45	0	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	33.33	
	自分が伝えようとする内容を、論理的に構成しながら文章にまとめてることができる	82.28	82.35	80.49	37.5	89.47	81.25	100	85.71	33.33	50	60	72.73	100	75	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	33.33	
	自分が伝えようとする内容を、目的や場に応じて文体などの表現を工夫しながら書くことができる	24.05	23.53	24.39	25	15.79	31.25	33.33	28.57	33.33	0	6.67	18.18	0	25	0	100	0	100	0	100	0	100	0	100	0	100	0	100	0	33.33
	自分が伝えようとする内容を、正しい表記法で書くことができる	46.84	49.53	43.9	25	57.89	31.25	100	71.43	0	0	26.67	27.27	0	25	0	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	33.33
	聞いたり読んだりして得た情報を整理し、概要や要点を文章にまとめることができる	60.76	61.76	65.85	75	57.89	62.5	50	57.14	66.67	50	33.33	45.45	0	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	33.33	
	講義を聞きながら、必要な情報をノートにとることができます	81.01	82.35	75.61	37.5	73.68	87.5	100	85.71	66.67	50	66.67	63.64	100	75	50	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	33.33	
	筆記試験などで設問に対する解答を、必要な速度で書くことができる	62.03	63.24	60.98	25	78.95	50	66.67	71.43	33.33	50	46.67	45.45	100	25	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	33.33	
	主な常用漢字を書くことができる	29.11	31.71	25	26.32	37.5	33.33	28.57	0	50	20	18.18	0	25	0	100	0	100	0	100	0	100	0	100	0	100	0	100	0	33.33	

調査票II-(1)
【欄B・習得度】回答数

日本語

科目	内 容	文科系						一般教養				文(その他)	
		社会科学系			人文系			留学生教育		共通教育(文)			
		法学	経済	日本関係	教育学	その他の人文学	14/14	12/12	2/2	5/5			
基本項目	聞く能力	学術的な内容の話を聞いて、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	96/96	44/44	11/11	33/33	33/33	12/12	8/8	13/13	14/14	12/12	2/2
		日常会話を聞いて、話し手の意向を理解したり、必要な情報や概要、要点をとらえたりすることができる	5	2	0	2	2	0	1	1	0	0	1
		学術的な内容の文章を読んで、論理の展開や内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	33	14	0	14	10	5	3	2	8	7	1
		日常的な内容の文章を読んで、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	6	5	1	4	0	0	0	0	0	0	1
		文学的な文章を読んで、内容を的確にとらえ、表現を終わらすことができる	11	5	1	4	4	2	0	2	2	2	0
		与えられた文章を、目的にあわせて、必要な速度で読むことができる	18	8	1	7	4	0	0	4	6	5	1
		常用漢字を読みこなすことができる	16	7	1	6	2	0	0	2	6	6	0
		漢字で書かれた専門用語を読んで理解することができる	22	11	1	10	5	1	0	4	6	5	1
		近代文語文、古文や漢文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解することができる	15	4	1	3	7	4	0	3	4	3	1
		自分が伝えようとする内容を、論理的に述べることができる	24	9	1	8	10	5	1	4	3	3	0
話す能力		自分が伝えるようとする内容を、目的や場に応じて文体などの表現を工夫しながら話すことができる	21	8	1	7	9	6	0	3	3	3	0
		聞いひあることについて相手に質問したり、相手の質問に答えてりすることができる	11	3	0	3	3	2	0	1	2	2	0
		聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどをまとめ、発表することができる	16	8	1	7	3	1	1	1	4	4	0
		聞いたり読んだりして専門情報を自分の考え方などについて、話合・振り意見の交換ができる	23	13	3	10	7	6	0	1	2	2	0
		自分が伝えようとする内容を、論理的に構成しながら文章にまとめることができる	30	9	0	9	10	4	3	3	8	7	1
		自分が伝えようとする内容を、目的や場に応じて文体などの表現を工夫しながら書くことができる	18	6	0	6	9	4	1	4	3	3	0
		自分が伝えようとする内容を、正しい表記法で書くことができる	20	11	1	10	4	1	1	2	3	2	1
		聞いたり読んだりして得た情報を整理し、概要や要点を文章にまとめることができる	16	7	1	6	7	4	1	2	1	0	1
		講義を聞きながら、必要な情報をノートにとることができます	12	7	1	6	3	1	1	1	2	2	0
		筆記試験などで設問に対する解答を、必要な速度で書くことができる	22	11	2	9	5	0	1	4	4	3	1
書く能力		主な常用漢字を書くことができる	12	5	0	5	3	0	1	2	4	4	0

調査票II-(1)
【欄B・習得度】割合

日本語

科目	内 容	文科系										文(他)
		社会科学系					人文系					
		法学	経済	日本関係	教育学	その他人文学	留学生教育	共通教育(文)	留学生教育	共通教育(文)	人文系	一般教養
基本項目	聞く能力	学術的な内容の話を聞いて、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	96/96 44/44 11/11 33/33 33/33	36.36	52.38	41.67	37.5	23.08	100	50	50	5/5
	聞く能力	日常会話を聞いて、話し手の意向を理解したり、必要な情報や概要、要点をとらえたりすることができる	34.38 39.39 9.09 0 6.06	5.21	6.06	9.52	0	12.5	7.69	0	0	0
	聞く能力	学術的な内容の文章を読んで、論理の展開や内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	34.38 42.42 0 42.42	5.25	15.15	9.09	12.12	0	0	0	0	20
	読む能力	日常的な内容の文章を読んで、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	11.46 15.15 9.09 12.12 19.05	18.75	24.24 9.09 21.21 19.05	16.67 0 0 0	15.38	11.429	56.33	50	20	
	読む能力	文学的な文章を読んで、内容を的確にとらえ、表現を味わうことができる	16.67 21.21 9.09 18.18 9.52	16.67	21.21 9.09 30.3 23.81	8.33 0 0 0	30.77	85.71	41.67	50	0	
	読む能力	与えられた文章を、目的にあわせて、必要な速度で読むことができる	22.92 33.33 9.09 30.3 23.81	15.63	12.12 9.09 9.09 33.33	8.33 0 0 0	30.77	85.71	41.67	50	0	
	読む能力	常用漢字を読みこなすことができる	漢字で書かれた専門用語を読んで理解することができる	22.92 33.33 9.09 30.3 23.81	15.63	12.12 9.09 9.09 33.33	8.33 0 0 0	30.77	85.71	41.67	50	0
	話す能力	近代文語文、古文や漢文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解することができる	自分が伝ふようとする内容を、論理的に述べることができる	25 27.27 9.09 24.24 41.67	21.88 24.24 9.09 21.21 42.86	14.29 50 0	23.08	42.86	25	0	20	
	話す能力	自分が伝ふようとする内容を、目的や場に応じて文体などの表現を工夫しながら話すことができる	自分が伝ふようとする内容を、目的や場について相手の質問に答えてリすることができる	1.46 9.09 0 9.09 14.29	1.46 24.24 9.09 21.21 14.29	16.67 8.33 12.5 50	0 0 0 0	30.77	42.86	25	0	
	話す能力	聞いたり読んだりして得た情報や自分の考え方などをまとめ、発表することができる	聞いたり読んだりして得た情報や自分の考え方などをまとめ、発表することができる	1.46 9.09 0 9.09 14.29	1.46 24.24 9.09 21.21 14.29	16.67 8.33 12.5 50	0 0 0 0	30.77	42.86	25	0	
	書く能力	聞いたり読んだりして得た情報や自分の考え方などについて、話合・振りり意見の交換ができる	自分が伝ふようとする内容を、論理的に構成しながら文章にまとめることができる	23.96 39.39 27.27 0 27.27	31.25 27.27 0 27.27 47.62	30.3 33.33 50 0	0 0 0 0	30.77	42.86	25	0	
	書く能力	自分が伝ふようとする内容を、目的や場に応じて文体などの表現を工夫しながら書くことができる	自分が伝ふようとする内容を、目的や場に応じて文体などの表現を工夫しながら書くことができる	1.46 18.18 0 18.18 42.86	1.46 20.83 33.33 9.09 30.3 19.05	14.29 8.33 12.5 50	0 0 0 0	30.77	42.86	25	0	
	書く能力	自分が伝ふようとする内容を、正しい表記法で書くことができる	自分が伝ふようとする内容を、正しい表記法で書くことができる	1.46 21.21 9.09 18.18 33.33	12.5 21.21 9.09 18.18 14.29	14.29 8.33 12.5 50	0 0 0 0	30.77	42.86	25	0	
	書く能力	聞いたり読んだりして得た情報を整理し、概要や要点を文章にまとめることがある	講義を聞きながら、必要な情報をノートにとることがができる	12.5 21.21 9.09 18.18 14.29	22.92 33.33 18.18 27.27 23.81	8.33 0 0 0	0 0 0 0	30.77	42.86	25	0	
	書く能力	筆記試験などで設問に対する解答を、必要な速度で書くことができる	筆記試験などで設問に対する解答を、必要な速度で書くことができる	12.5 15.15 0 15.15 14.29	12.5 15.15 0 15.15 14.29	15.38 57.14 33.33 0	0 0 0 0	30.77	42.86	25	0	

調査票II-(1)
【欄B・習得度】回答数

日本語

科 目	内 容	工学系										理学系						
		電気電子情報系					電気・電子 情報 機械 環境工 化学工 生命工 工(その他)					数学 物理学 化学 生物学 教育学(理科) 共通教育(理)						
		88/88	76/76	43/43	8/8	19/19	16/16	6/6	7/7	3/3	2/2	15/15	9/9	1/1	4/4	2/2	1/1	
基 本 項 目	聞く能力	学術的な内容の話を聞いて、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	22	21	13	3	6	4	0	3	0	2	3	1	0	0	0	1
		日常会話を聞いて、話し手の意向を理解したり、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	13	13	8	1	4	3	0	0	1	0	4	0	0	0	0	0
		学術的な内容の文章を読んで、論理の展開や内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	22	21	10	1	6	3	1	4	0	2	4	1	0	0	0	1
		日常的な内容の文章を読んで、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	11	10	5	1	2	0	1	0	1	3	1	0	0	0	0	1
		文学的な文章を読んで、内容を的確にとらえ、表現を味わうことができる	11	11	7	0	5	2	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0
		与えられた文章を、目的にあわせて、必要な速度で読むことができる	8	8	4	0	3	1	0	1	0	1	2	0	0	0	0	0
		常用漢字を読みこなすことができる	13	13	6	0	3	0	4	0	1	2	0	0	0	0	0	0
		漢字で書かれた専門用語を読んで理解することができる	16	16	10	1	4	5	1	0	0	2	3	0	0	0	0	0
		近代文語文、古文や漢文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解することができる	12	12	8	0	6	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
		自分が伝えようとする内容を、論理的に述べることができる	15	14	5	1	1	3	1	2	0	1	5	1	0	0	0	1
話す能力		自分が伝えようとする内容を、目的や場に応じて文体などの表現を工夫しながら話すことができる	11	11	7	1	5	1	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0
		聞いがあることについて相手に質問したり、相手の質問に答えてりすることができる	13	13	4	1	2	1	0	2	1	2	4	0	0	0	0	0
		聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどをまとめ、発表することができる	12	12	6	2	2	0	1	0	2	3	0	0	0	0	0	0
		聞いたり読んだりして得た情報や自分の考え方などについて、話合・振りり意見の交換ができる	16	16	6	1	2	3	1	0	2	3	0	0	0	0	0	0
		自分が伝えようとする内容を、論理的に構成しながら文章にまとめることができる	19	17	8	1	2	5	0	4	0	1	4	2	0	0	0	1
書く能力		自分が伝えようとする内容を、目的や場に応じて文体などの表現を工夫しながら書くことができる	13	13	7	0	5	2	0	1	0	2	3	0	0	0	0	0
		自分が伝えようとする内容を、正しい表記法で書くことができる	21	20	10	1	4	5	1	3	0	1	5	1	0	0	0	1
		聞いたり読んだりして得た情報を整理し、概要や要点を文章にまとめることができる	14	13	8	1	4	3	0	2	0	2	1	1	0	0	0	1
		講義を聞きながら、必要な情報をノートにとることができる	13	13	7	0	4	3	0	2	1	1	2	0	0	0	0	0
		筆記試験などて設問に対する解答を、必要な速度で書くことができる	13	12	3	0	1	2	0	1	1	2	5	1	0	0	0	1
		主な常用漢字を書くことができる	8	6	0	3	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0

調査票II-(1)
【欄B・習得度】割合

日本語

科 目	内 容	工学系										理学系						
		電気電子情報系					電気・電子 情報 機械 環境工 化学工 生命工 工(その他)					数学 物理学 化学 生物学 教育学(理科) 共通教育(理)						
		88/88	76/76	43/43	8/8	19/19	16/16	6/6	7/7	3/3	2/2	15/15	9/9	1/1	4/4	2/2	1/1	
基 本 項 目	聞く能力	学術的な内容の話を聞いて、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	27.85	30.88	31.71	37.5	31.58	25	0	42.86	0	100	20	9.09	0	0	0	100
	聞く能力	日常会話を聞いて、話し手の意向を理解したり、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	16.46	19.12	19.51	12.5	21.05	18.75	0	0	33.33	0	26.67	0	0	0	0	0
	読む能力	学術的な内容の文章を読んで、論理の展開や内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	27.85	30.88	24.39	12.5	31.58	18.75	16.67	57.14	0	100	26.67	9.09	0	0	0	100
	読む能力	日常的な内容の文章を読んで、論理を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	13.92	14.71	12.2	12.5	10.53	12.5	0	14.29	0	50	20	9.09	0	0	0	100
	読む能力	文学的な文章を読んで、内容を的確にとらえ、表現を終わうことができる	13.92	16.18	17.07	0	26.32	12.5	0	14.29	0	0	20	0	0	0	0	0
	読む能力	与えられた文章を、目的にあわせて、必要な速度で読むことができる	10.13	11.76	9.76	0	15.79	6.25	0	14.29	0	50	13.33	0	0	0	0	0
	常用漢字を読みこなすことができる	16.46	19.12	14.63	0	15.79	18.75	0	57.14	0	50	13.33	0	0	0	0	0	0
	漢字で書かれた専門用語を読んで理解することができる	20.25	23.53	24.39	12.5	21.05	31.25	16.67	0	0	100	20	0	0	0	0	0	0
	話す能力	近代文語文、古文や漢文に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解することができる	15.19	17.65	19.51	0	31.58	12.5	0	28.57	0	0	13.33	0	0	0	0	0
	話す能力	自分が伝えようとする内容を、論理的に述べることができる	18.99	20.59	12.2	12.5	52.6	18.75	16.67	28.57	0	50	33.33	9.09	0	0	0	100
	話す能力	自分が伝えようとする内容を、目や場に応じて文体などの表現を工夫しながら話すことができる	13.92	16.18	17.07	12.5	26.32	6.25	0	14.29	0	0	20	0	0	0	0	0
	話す能力	聞いひあることについて相手に質問したり、相手の質問に答えてりすることができる	16.46	19.12	9.76	12.5	10.53	6.25	0	28.57	33.33	100	26.67	0	0	0	0	0
	話す能力	聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどをまとめ、発表することができる	15.19	17.65	14.63	25	10.53	12.5	0	14.29	0	100	20	0	0	0	0	0
	話す能力	聞いたり読んだりして得た情報や自分の考え方などについて、話合・振りり意見の交換ができる	20.25	23.53	14.63	12.5	10.53	18.75	16.67	42.86	0	100	26.67	0	0	0	0	0
	話す能力	自分が伝えようとする内容を、論理的に構成しながら文章にまとめることができる	24.05	25	19.51	12.5	10.53	31.25	0	57.14	0	50	26.67	18.18	0	0	50	100
	書く能力	自分が伝えようとする内容を、目や場に応じて文体などの表現を工夫しながら書くことができる	16.46	19.12	17.07	0	26.32	12.5	0	14.29	0	100	20	0	0	0	0	0
	書く能力	自分が伝えようとする内容を、正しい表記法で書くことができる	26.58	29.41	24.39	12.5	21.05	31.25	16.67	42.86	0	50	33.33	9.09	0	0	0	100
	書く能力	聞いたり読んだりして得た情報を整理し、概要や要点を文章にまとめることがある	17.72	19.12	19.51	12.5	21.05	18.75	0	28.57	0	100	6.67	9.09	0	0	0	100
	書く能力	講義を聞きながら、必要な情報をノートにとることができる	16.46	19.12	17.07	0	21.05	18.75	0	28.57	33.33	50	13.33	0	0	0	0	0
	書く能力	筆記試験などで設問に対する解答を、必要な速度で書くことができる	16.46	17.65	7.32	0	5.26	12.5	0	14.29	33.33	100	33.33	9.09	0	0	0	100
	書く能力	主な常用漢字を書くことができる	10.13	11.76	14.63	0	15.79	18.75	0	0	50	6.67	0	0	0	0	0	0

調査票II-(2)
【欄A・重要度】回答数

英語

科目	内 容	文科系						一般教養 留学生教育(文) 文(その他)	
		社会科学系			人文系				
		法学	経済	日本関係	教育学	その他人文学			
基本項目	聞く能力	96/96 44/44	11/11 33/33	33/33 33/33	12/12 8/8	13/13 13/13	14/14 14/14	12/12 2/2	
	学術的な内容の話を聞いて、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえて聞けることができる	22	10	9	10	0	5	0	
	日常会話を聞いて、話し手の意向を理解したり、必要な情報や概要、要点をとらえて聞けることができる	43	22	6	16	3	3	6	
	学術的な内容の文章を読んで、論理の展開や内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	40	19	1	18	15	1	5	
	日常的な内容の文章を読んで、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	47	22	5	17	15	3	4	
	文学的な文章を読んで、内容を的確にとらえ、表現を味わうことができる	4	2	0	2	2	0	0	
	与えられた文章を、目的にあわせて、必要な速度で読むことができる	38	19	5	14	14	4	4	
	自分が伝えようとする内容を、論理的に述べることができる	42	23	6	17	13	2	6	
	自分が伝えようとする内容を、目的や場に応じて文体などの表現を工夫しながら話すことができる	13	5	0	5	5	0	2	
	関心のあることについて相手に質問したり、相手の質問に答えたりすることができる	43	22	6	16	11	2	4	
英語	話す能力	30	16	4	12	10	1	4	
	聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどをまとめ、発表することができます	33	17	2	15	10	2	4	
	聞いたり読んだりして得た情報や自分の考えなどについて、話を合つたり意見交換ができる	12	7	1	6	4	1	1	
	英語の文章を口頭で日本語に訳すことができる	43	24	5	19	14	2	5	
	自分が伝えようとする内容を、論理的に構成しながら文章にまとめることができる	12	4	0	4	6	1	2	
	自分が伝えようとする内容を、目的や場に応じて文体などの表現を工夫しながら書くことができる	30	17	2	15	6	2	4	
	自分が伝えようとする内容を、正しい表記法で書くことができる	30	18	4	14	8	1	2	
	聞いたり読んだりして得た情報を整理し、概要や要点を文章にまとめることができます	24	14	2	12	7	1	2	
	講義を聞きながら、必要な情報をノートにとることができます	20	11	1	10	6	1	4	
	筆記試験などで設問に対する解答を、必要な速度で書くことができる	17	8	1	7	1	3	1	
	英語の文章を日本語の文章に翻訳することができます							1	

調査票II-(2)
【欄A・重要度】割合

英語

科 目	内 容	文科系						一般教養 留学生教育(文、文その他)					
		社会科学系			人文系								
		法学	経済	日本関係	教育学	その他人文学	文(その他)						
基 本 項 目	聞く能力	96.96	44.44	11/11	33/33	33/33	12/12	8/8	13/13	14/14	12/12	2/2	5/5
	学術的な内容の話を聞いて、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえたりすることができる	22.92	30.3	9.09	27.27	47.62	0	62.5	38.46	0	0	0	40
	日常会話を聞いて、話し手の意向を理解したり、必要な情報や概要、要点をとらえたりすることができる	44.79	66.67	54.55	49.48	52.38	25	37.5	38.46	85.71	50	0	80
	学術的な内容の文章を読んで、論理の展開や内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	41.67	57.58	9.09	54.55	71.43	8.33	62.5	69.23	28.57	16.67	0	80
	日常的な内容の文章を読んで、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	49.96	66.67	45.45	51.52	71.43	25	50	61.54	100	58.33	0	60
	文学的な文章を読んで、内容を的確にとらえ、表現を味わうことができる	4.17	6.06	0	6.06	9.52	0	0	15.38	0	0	0	0
	与えられた文章を、目的にあわせて、必要な速度で読むことができる	39.58	57.58	45.45	42.42	66.67	33.33	50	46.15	71.43	41.67	0	0
	自分が伝えようとする内容を、論理的に述べることができる	43.75	69.7	54.55	51.52	61.9	16.67	75	38.46	42.86	25	0	60
	自分が伝えようとする内容を、目的や場に応じて文体などの表現を工夫しながら話すことができる	13.54	15.15	0	15.15	23.81	0	25	23.08	14.29	8.33	0	40
	自分が伝えようとする内容を、論理的に述べることができる	44.79	66.67	54.55	48.48	52.38	16.67	50	38.46	100	58.33	0	60
書く能力	話す能力	13.25	48.48	36.36	36.36	47.62	8.33	50	38.46	28.57	16.67	0	40
	聞いたり読みながらして得た情報や自分の考えなどをまとめ、発表することができます	34.38	51.52	18.18	45.45	47.62	16.67	50	30.77	57.14	33.33	0	40
	英語の文章を口頭で日本語に訳すことができる	12.5	21.21	9.09	18.18	19.05	8.33	12.5	15.38	0	0	0	20
	自分が伝えようとする内容を、論理的に構成しながら文章にまとめることができる	44.79	72.73	45.45	57.58	66.67	16.67	62.5	53.55	28.57	16.67	0	60
	自分が伝えようとする内容を、目的や場に応じて文体などの表現を工夫しながら書くことができる	12.5	12.12	0	12.12	28.57	8.33	25	23.08	14.29	8.33	0	20
筆記試験などて設問に対する解答を、必要な速度で書くことができる	自分が伝えようとする内容を、正しい表記法で書くことができる	31.25	51.52	18.18	45.45	38.1	16.67	25	30.77	42.86	25	0	40
	聞いたり読みながらして得た情報を整理し、概要や要点を文章にまとめることができる	31.25	54.55	36.36	42.42	38.1	8.33	25	38.46	28.57	16.67	0	40
	講義を聞きながら、必要な情報をノートにとることがができる	25	42.42	18.18	36.36	33.33	8.33	25	30.77	14.29	8.33	0	40
	筆記試験などて設問に対する解答を、必要な速度で書くことができる	20.83	33.33	9.09	30.3	28.57	8.33	12.5	30.77	28.57	16.67	0	20
英語の文章を日本語の文章に翻訳することができる	英語の文章を日本語の文章に翻訳することができる	17.71	24.24	9.09	21.21	33.33	8.33	37.5	23.08	14.29	8.33	0	20

調査票II-(2)
【欄A・重要度】回答数

英語

科 目	内 容	工学系										理学系																
		電気電子情報系					機械					環境工		生命工		工(その他)		9/9	1/1	4/4	2/2	1/1	4/4	2/2	1/1	3/3		
		電気・電子	情報	電／情	機械	環境工	化学工	生命工	工(その他)	9/9	1/1	4/4	2/2	1/1	4/4	2/2	1/1	4/4	2/2	1/1	4/4	2/2	1/1	4/4	2/2	1/1	3/3	
基 本 項 目	聞く能力	学術的な内容の話を聞いて、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	42	38	20	4	7	9	4	6	2	1	5	4	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	読む能力	学術的大な文章を読んで、論理的展開や内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	53	47	24	6	8	10	5	6	1	2	9	6	0	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	話す能力	自分の伝えようとする内容を、論理的に述べることができる	53	45	26	4	11	11	4	5	1	2	7	7	0	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	書く能力	自分が伝えようとする内容を、目的や場に応じて文文体などの表現を工夫しながら話すことができる	21	18	9	2	4	3	2	2	1	1	3	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1
	聽く能力	自分が伝えようとする内容を、目的や場に応じて相手の質問に答えてたりすることができる	47	39	21	5	8	8	4	4	1	2	7	7	0	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	読む能力	聞いたり読みながらして得た情報を自分の考えなどをまとめ、発表することができます	35	31	18	2	6	10	3	4	1	1	4	3	0	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1
	話す能力	聞いたり読みながらして得た情報を自分の考え方などについて、話し合ったり意見交換しながら、必要な情報を交換することができます	34	29	14	2	7	5	4	5	1	1	4	4	0	2	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	書く能力	英語の文章を口頭で日本語に訳すことができる	17	14	9	3	3	1	2	0	1	1	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0
	聽く能力	自分が伝えようとする内容を、論理的に構成しながら文章にまとめてめることができる	54	44	25	4	11	10	6	5	1	0	7	9	1	4	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	読む能力	自分が伝えようとする内容を、目的や場に応じて文文体などの表現を工夫しながら書くことができる	25	22	11	3	5	3	2	1	1	4	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0
	書く能力	自分が伝えようとする内容を、正しい表記法で書くことができる	42	37	21	3	9	9	6	5	0	1	4	4	0	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1
	聽く能力	聞いたり読みながら、必要な情報をノートにとることができる	33	29	16	2	6	8	3	4	1	0	5	3	0	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1
	読む能力	筆記試験などで設問に対する解答を、必要な速度で書くことができる	22	20	9	0	4	5	4	1	1	1	0	5	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0
	書く能力	英語の文章を日本語の文章に翻訳することができる	22	20	14	3	5	6	0	1	1	1	3	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0

調査票II-(2)
【欄A・重要度】割合

英語

科目	内 容	工学系										理学系																			
		電気電子情報系					電／情					機械		環境工		化学工		生命工		工(その他)		数学		物理学		化学		生物学		教養学(理科)	
基 本 項 目	聞く能力	学術的な内容の話を聞いて、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	53.16	55.88	48.78	50	36.84	56.25	66.67	85.71	66.67	50	33.33	36.36	0	75	0	100	0	0	0	1/1	4/4	2/2	1/1	1/1	1/1	3/3			
	読む能力	学術的大な文章を読んで、論理の展開や内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	67.09	69.12	59.54	75	42.11	62.5	83.33	85.71	33.33	100	60	54.55	0	100	0	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	話す能力	日常的な内容の文章を読んで、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	74.68	76.47	65.85	75	57.89	62.5	100	85.71	66.67	50	66.67	54.55	100	75	50	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	書く能力	日常的な内容の文章を読んで、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	62.03	61.76	53.66	62.5	36.84	62.5	66.67	71.43	33.33	100	53.33	54.55	100	50	50	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	聞く能力	日常的な文章を読んで、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	12.66	13.24	9.76	0	10.53	12.5	0	28.57	0	0	20	9.09	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	読む能力	日常的な文章を読んで、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	39.24	41.18	29.27	0	31.58	37.5	100	57.14	33.33	50	26.67	18.18	0	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	話す能力	自分が伝えようとする内容を、論理的に述べることができる	67.09	66.18	63.41	50	57.89	68.75	66.67	71.43	33.33	100	46.67	63.64	0	100	50	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	書く能力	自分が伝えようとする内容を、目的や場に応じて文文体などの表現を工夫しながら話すことができる	26.58	26.47	21.95	25	21.05	18.75	33.33	28.57	33.33	50	20	18.18	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	聞く能力	自分が伝えようとする内容を、論理的に述べることができる	59.49	57.35	51.22	62.5	42.11	50	66.67	57.14	33.33	100	46.67	63.64	0	100	50	100	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	読む能力	自分が伝えようとする内容を、目的や場に応じて文文体などの表現を工夫しながら話すことができる	44.3	45.59	43.9	25	31.58	62.5	50	57.14	33.33	50	26.67	27.27	0	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	話す能力	自分が伝えようとする内容を、論理的に述べることができる	43.04	42.65	34.15	25	36.84	31.25	66.67	71.43	33.33	50	26.67	36.36	0	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	書く能力	自分が伝えようとする内容を、論理的に構成しながら文章にまとめて書くことができる	21.52	20.59	21.95	37.5	15.79	18.75	16.67	28.57	0	50	6.67	18.18	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	聞く能力	自分が伝えようとする内容を、目的や場に応じて文文体などの表現を工夫しながら書くことができる	68.35	64.11	60.98	50	57.89	62.5	100	71.43	33.33	0	46.67	81.82	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100			
	読む能力	自分が伝えようとする内容を、目的や場に応じて文文体などの表現を工夫しながら書くことができる	31.65	32.35	26.83	37.5	26.32	18.75	50	28.57	33.33	50	26.67	18.18	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	話す能力	自分が伝えようとする内容を、正しい表記法で書くことができる	53.16	54.41	51.22	37.5	47.37	56.25	100	71.43	0	50	26.67	36.36	0	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	書く能力	自分が伝えようとする内容を、正しい表記法で書くことができる	41.77	42.65	39.02	25	31.58	50	50	57.14	33.33	0	33.33	27.27	0	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	聞く能力	自分が伝えながら、必要な情報をノートにとることがができる	34.18	33.82	31.71	12.5	15.79	56.25	33.33	14.29	33.33	50	33.33	27.27	0	50	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	読む能力	筆記試験などで設問に対する解答を、必要な速度で書くことができる	27.85	29.41	21.95	0	21.05	31.25	66.67	14.29	33.33	0	33.33	9.09	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	話す能力	英語の文章を日本語に訳すことができる	27.85	29.41	34.15	37.5	26.32	37.5	0	14.29	33.33	50	20	18.18	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

調査票II-(2)
【欄B・習得度】回答数

英語

科目	内 容	文科系						留学生教育 共通系質(文) (その他)	一般教養 文(他)	
		社会科学系		人文系		日本関係 教育学	その他人文学			
		法学	経済	33/33	12/12	8/8	13/13	14/14	12/12	2/2
基本項目	聞く能力	学術的な内容の話を聞いて、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	6	3	0	3	2	0	1	1
		日常会話を聞いて、話し手の意向を理解したり、必要な情報や概要、要点をとらえたりすることができる	6	2	0	2	0	0	0	0
		学術的な内容の文章を読んで、論理の展開や内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	12	5	0	5	2	0	1	3
		日常的な内容の文章を読んで、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	3	1	0	1	0	0	1	1
	読む能力	文学的な文章を読んで、内容を的確にとらえ、表現を味わうことができる	3	2	0	2	0	0	0	0
		与えられた文章を、目的にあわせて、必要な速度で読むことができる	4	2	0	2	0	0	0	2
		自分が伝えようとする内容を、論理的に述べることができる	10	4	0	4	2	0	1	2
		自分が伝えようとする内容を、目的や場に応じて文体などの表現を工夫しながら話すことができる	3	2	0	2	0	0	0	0
	話す能力	関心のあることについて相手に質問したり、相手の質問に答えたりすることができます	4	1	0	1	1	0	0	1
		聞いたり読みながらして得た情報や自分の考えなどをまとめ、発表することができます	5	3	1	2	0	0	0	0
		聞いたり読みながらして得た情報や自分の考えなどについて、話を合つたり意見交換ができる	7	3	0	3	1	1	0	3
	英語	英語の文章を口頭で日本語に訳すことができる	5	3	0	3	1	0	0	0
	読む能力	自分が伝えようとする内容を、論理的に構成しながら文章にまとめることができる	9	5	0	5	2	0	1	1
		自分が伝えようとする内容を、目的や場に応じて文体などの表現を工夫しながら書くことができる	6	2	0	2	1	0	1	2
		自分が伝えようとする内容を、正しい表記法で書くことができる	6	3	0	3	0	0	0	0
	書く能力	聞いたり読みながらして得た情報を整理し、概要や要点を文章にまとめることができます	6	2	0	2	1	0	1	1
		講義を聞きながら、必要な情報をノートにとることができます	3	1	0	1	0	0	0	0
		筆記試験などで設問に対する解答を、必要な速度で書くことができる	6	4	1	3	1	0	1	1
	英語	英語の文章を日本語の文章に翻訳することができます	12	9	0	9	1	0	1	2

調査票II-(2)
【欄B・習得度】割合

英語

科目	内 容	文科系						一般教養 留学生教育 共通教育(文) 文(その他)					
		社会科学系		人文系		日本関係 教育学 その他人文学	留学生教育 共通教育(文) 文(その他)						
		法学	経済	日本関係 教育学	その他人文学								
基本項目	聞く能力	96.96	44.44	11.11	33.33	33.33	12.12	8.8	13.13	14.14	12.12	2.2	5.5
	学術的な内容の話を聞いて、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点を点をとらえることができる	6.25	9.09	0	9.09	9.52	0	12.5	7.69	14.29	8.33	0	0
	日常会話を聞いて、話し手の意向を理解したり、必要な情報や概要、要点をとらえたりすることができる	6.25	6.06	0	6.06	0	0	0	0	28.57	16.67	0	40
	学術的な内容の文章を読んで、論理の展開や内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	12.5	15.15	0	15.15	9.52	0	12.5	7.69	42.86	25	0	40
	日常的な内容の文章を読んで、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	3.13	3.03	0	3.03	4.76	0	0	7.69	14.29	8.33	0	0
	文学的な文章を読んで、内容を的確にとらえ、表現を味わうことができる	3.13	6.06	0	6.06	0	0	0	0	14.29	8.33	0	0
	与えられた文章を、目的にあわせて、必要な速度で読むことができる	4.17	6.06	0	6.06	0	0	0	0	28.57	16.67	0	0
	自分が伝えようとする内容を、論理的に述べることができる	10.42	12.12	0	12.12	9.52	0	12.5	7.69	28.57	16.67	0	40
	自分が伝えようとする内容を、目的や場に応じて文体などの表現を工夫しながら話すことができる	3.13	6.06	0	6.06	0	0	0	0	14.29	8.33	0	0
	関心のあることについて相手に質問したり、相手の質問に答えたりすることができます	4.17	3.03	0	3.03	4.76	8.33	0	0	14.29	8.33	0	20
書く能力	聞いたり読みながらして得た情報を自分の考えなどをまとめ、発表することができます	5.21	9.09	9.09	6.06	0	0	0	0	28.57	16.67	0	0
	聞きながら説明したりして得た情報を自分の考えなどについて、話を合つたり意見交換しながらして得た情報を自分の考えなどをまとめて、発表することができます	7.29	9.09	0	9.09	4.76	8.33	0	0	42.86	25	0	0
	英語の文章を口頭で日本語に訳すことができる	5.21	9.09	0	9.09	4.76	0	0	7.69	14.29	8.33	0	0
	自分が伝えようとする内容を、論理的に構成しながら文章にまとめることができる	9.38	15.15	0	15.15	9.52	0	12.5	7.69	14.29	8.33	0	20
	自分が伝えようとする内容を、目的や場に応じて文体などの表現を工夫しながら書くことができる	6.25	6.06	0	6.06	4.76	0	0	7.69	28.57	16.67	0	20
筆記試験などて設問に対する解答を、必要な速度で書くことができる	自分が伝えようとする内容を、正しい表記法で書くことができる	6.25	9.09	0	9.09	0	0	0	0	42.86	25	0	0
	聞いたり読みながら、必要な情報をノートにとることができます	6.25	6.06	0	6.06	4.76	0	0	7.69	14.29	8.33	0	40
	筆記試験などて設問に対する解答を、必要な速度で書くことができる	3.13	3.03	0	3.03	0	0	0	0	14.29	8.33	0	20
	英語の文章を日本語の文章に翻訳することができます	12.5	27.27	0	27.27	4.76	0	12.5	0	28.57	16.67	0	0

調査票II-(2)
【欄B・習得度】回答数

英語

科目	内 容	工学系										理学系							
		電気電子情報系					電気電子情報系					数学			物理学				
		電気・電子	情報	電／情	機械	環境工	化学工	生命工	工(その他)	9/9	1/1	4/4	2/2	1/1	物理學	化學	生物學	教育學(理科)	共通系(理科)
基本項目	聞く能力	学術的な内容の話を聞いて、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	38/88	76/76	43/43	8/8	19/19	16/16	6/6	7/7	3/3	2/2	15/15	9/9	1/1	4/4	2/2	1/1	3/3
	聞く能力	日常会話を聞いて、話し手の意向を理解したり、必要な情報や概要、要点をとらえたりすることができる	12	12	4	2	2	0	1	2	1	1	3	0	0	0	0	0	0
	読む能力	学術的大な内容の文章を読んで、論理的展開や内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	9	9	5	1	4	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	0
	読む能力	日常的な内容の文章を読んで、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	15	15	8	2	4	2	0	2	0	2	3	0	0	0	0	0	0
	読む能力	文学的な文章を読んで、内容を的確に理解し、表現を味わうことができる	10	10	5	1	3	1	0	0	0	0	1	4	0	0	0	0	0
	与えられた文章を、目的にあわせて、必要な速度で読むことができる	6	6	4	0	4	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	話す能力	自分が伝えようとする内容を、論理的に述べることができる	5	5	2	0	2	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0
	話す能力	自分が伝えようとする内容を、目的や場に応じて文體などの表現を工夫しながら話すことができる	12	12	6	2	2	2	0	1	0	0	2	3	0	0	0	0	0
	話す能力	関心のあることについて相手に質問したり、相手の質問に答えたりすることができる	9	9	6	1	4	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0
	書く能力	聞いたり読み込んだりして得た情報を自分の考え方などをまとめ、発表することができます	10	10	5	2	2	1	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	0
	書く能力	聞いたり読み込んだりして得た情報を自分の考え方などについて、話を合つたり意見交換ができる	10	10	4	1	3	0	0	1	0	0	2	3	0	0	0	0	0
	書く能力	英語の文章を口頭で日本語に訳すことができる	5	5	3	0	2	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
	書く能力	自分が伝えようとする内容を、論理的に構成しながら文章にまとめることができる	12	12	7	1	4	2	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	0
	書く能力	自分が伝えようとする内容を、目的や場に応じて文體などの表現を工夫しながら書くことができる	10	10	6	1	4	1	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0	0
	書く能力	自分が伝えようとする内容を、正しい表記法で書くことができる	11	11	7	1	4	2	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0
	書く能力	聞いたり読み込んだりして得た情報を整理し、概要や要点を文章にまとめることができます	14	14	7	2	3	2	0	2	0	2	3	0	0	0	0	0	0
	書く能力	講義を聞きながら、必要な情報をノートにとることができる	9	9	3	0	1	2	0	1	0	0	2	3	0	0	0	0	0
	書く能力	筆記試験などで設問に対する解答を、必要な速度で書くことができる	7	7	2	0	2	0	0	1	0	0	2	2	0	0	0	0	0
	書く能力	英語の文章を日本語の文章に翻訳することができます	5	5	3	0	1	2	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0

調査票II-(2)
【欄B・習得度】割合

英語

科 目	内 容	工学系										理学系						数学			物理学			化学		生物学		教養学(理科)		共通系(理)	
		電気電子情報系					機械					環境工		化学工		生命工		工(その他)		1/1	4/4	2/2	1/1	物理學	化 学	生物 學	教養學(理科)	共通系(理)			
		電気・電子	情報	電／情	機械	環境工	化学工	生命工	工(その他)	1/1	4/4	2/2	1/1	物理學	化 学	生物 學	教養學(理科)	共通系(理)													
基 本 項 目	聞く能力	学術的な内容の話を聞いて、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	15.19	17.65	9.76	25	10.53	0	16.67	28.57	33.33	50	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	読む能力	学術的大な文章を読んで、論理的展開や内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	11.39	13.24	12.2	12.5	21.05	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	話す能力	日常的な内容の文章を読んで、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	18.99	22.06	19.51	25	21.05	12.5	0	28.57	0	100	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	書く能力	日常的な文章を読んで、内容を的確に理解し、必要な情報や概要、要点をとらえることができる	12.66	14.71	12.2	12.5	15.79	6.25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	聽く能力	文学的な文章を読んで、内容を的確に理解し、表現を味わうことができる	7.59	8.82	9.76	0	21.05	0	0	14.29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	読む能力	与えられた文章を、目的にあわせて、必要な速度で読むことができる	6.33	7.35	4.88	0	10.53	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	書く能力	自分が伝えようとする内容を、論理的に述べることができる	15.19	17.65	14.63	25	10.53	12.5	0	14.29	0	100	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	聽く能力	自分が伝えようとする内容を、目的や場に応じて文體などの表現を工夫しながら話すことができる	11.39	13.24	14.63	12.5	21.05	6.25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	話す能力	自分が伝えようとする内容について相手に質問したり、相手の質問に答えたりすることができる	11.39	13.24	9.76	12.5	10.53	6.25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	書く能力	聞いたり読みながらして得た情報を自分の考え方などについて、話し合ったり意見交換しながら話すことができる	12.66	14.71	12.2	25	10.53	6.25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	読む能力	英語の文章を口頭で日本語に訳すことができる	12.66	14.71	9.76	12.5	15.79	0	0	14.29	0	100	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	書く能力	自分が伝えようとする内容を、論理的に構成しながら文章にまとめることができる	6.33	7.35	7.32	0	10.53	6.25	0	14.29	0	50	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	聽く能力	自分が伝えようとする内容を、目的や場に応じて文體などの表現を工夫しながら書くことができる	15.19	17.65	17.07	12.5	21.05	12.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	話す能力	自分が伝えようとする内容を、正しい表記法で書くことができる	12.66	14.71	14.63	12.5	21.05	6.25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	書く能力	聞いたり読みながらして得た情報を整理し、概要や要点を文章にまとめることができる	13.92	16.16	17.07	12.5	21.05	12.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	読む能力	講義を聞きながら、必要な情報をノートにとることができます	11.39	13.24	7.32	0	5.26	12.5	0	14.29	0	100	20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	書く能力	筆記試験などで設問に対する解答を、必要な速度で書くことができる	8.86	10.29	4.88	0	10.53	0	0	14.29	0	100	13.33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	読む能力	英語の文章を日本語の文章に翻訳することができます	6.33	7.35	7.32	0	5.26	12.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

調査票III-（1）
【欄A・重要度】回答数

政治経済

科 目	(1)(2)(3)／B/Cの項目	内 容	文科系												文(その他)	
			社会科学系						人文系							
			日本関係 法 学	日本関係 經 激	日本関係 教 育	その他の人文系 学科	留学生教育	共通教育	0/10	0/12	0/10	0/2	文(その他)	文(その他)		
高等學校学習指導内容 （「公民」）	現代の政治	日本国憲法の基本的性格 国会・内閣・裁判所 政治と法の機能 人権保護法の支配	11	7	5	2	4	2	1	1	0	0	0	0	0	
		権利と義務の關係 議会制民主主義 民主政治の本質 民主生活と地方自治 望ましい政治の在り方～政党政治 主権者としての参政の在り方～選挙	12	11	7	4	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
		国際政治の動向 人権・国家主権、領土などに関する国際法の意義 国際連合をはじめとする国際機構の役割 国際政治の特質 国際紛争の特要因	9	8	3	5	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
		国際社会における日本の役割 資本主義社会及び社会主義経済の変容 国民経済における家計 企業	10	9	5	4	1	0	0	1	0	0	0	0	0	
		大きな政策と小さな政策 労使関係と労働市場 市場経済の機能と限界 経済成長と景気変動 財政の仕組みと働き 相続の意義と分割 資金の循環・金融機関の働き 産業構造の変化	10	9	3	6	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
		経済活動の仕じ方と福祉の向上の問題 貿易の意義と国際収支の現状 為替相場の仕組み 国際協調の必要性 国際経済の特質 国際経済における日本の役割	10	8	2	6	1	0	0	1	0	0	0	0	1	
		第二次世界大戦前の経済 戦後改革 高度成長期の経済 石油危機後の経済 バブル経済と日本経済	7	6	0	6	1	0	0	1	0	0	0	0	0	
		日本経済の歴史 日本経済の歩み	10	8	2	6	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
			12	11	2	9	1	0	0	1	0	0	0	0	0	
			16	10	2	6	4	0	2	0	0	0	0	0	0	

調査票III-（1）
【欄A・重要度】割合

政治経済

科 目	(1)(2)(3)/ABC…の項目	アイウエオ…の項目	内容	文科系												留学生教育 共通教育文 文(その他)
				社会科学系				人文系				日本関係 教育学				一般教養 0/10 0/12 0/10 0/2 2/5
				38/93	29/44	9/11	20/33	7/32	2/12	3/8	2/12	12.5	8.33	0	0	
高等 学校 指 導 内 容 （「公 民」）	現代の政治	日本国憲法の基本的性格	11.83	15.91	45.45	6.06	12.5	16.67	12.5	8.33	0	0	0	0	0	0
		国会 内閣・裁判所	9.38	18.18	27.27	15.15	3.13	8.33	0	0	0	0	0	0	0	0
		政治と法の機能	12.9	25	63.64	12.12	3.13	8.33	0	0	0	0	0	0	0	0
		人権保護法の支配	9.38	18.18	27.27	15.15	3.13	8.33	0	0	0	0	0	0	0	0
		権利と義務の關係	8.6	15.91	27.27	12.12	3.13	8.33	0	0	0	0	0	0	0	0
		議会制民主義	12.9	22.73	45.45	15.15	6.25	8.33	0	8.33	0	0	0	0	0	0
		民主政治の本質	11.83	22.73	45.45	15.15	3.13	8.33	0	0	0	0	0	0	0	0
		住民生活と地方自治	4.3	6.82	9.09	6.06	3.13	8.33	0	0	0	0	0	0	0	0
		望ましい政治の在り方 ～政党政治	8.6	15.91	36.36	9.09	3.13	8.33	0	0	0	0	0	0	0	0
		主権者としての参政の在り方 ～選舉	6.45	11.36	27.27	6.06	3.13	8.33	0	0	0	0	0	0	0	0
高等 学校 指 導 内 容 （「公 民」）	国際政治の動向	国際政治の動向	18.38	34.09	72.73	21.21	6.25	0	0	16.67	0	0	0	0	0	0
		人権・国家主権、領土などに関する国際法の意義	9.38	15.91	45.45	6.06	6.25	0	0	16.67	0	0	0	0	0	0
		国際連合を中心とする国際機構の役割	10.15	18.18	45.45	9.09	6.25	0	0	16.67	0	0	0	0	0	0
		国際政治の特質	9.38	18.18	27.27	15.15	3.13	0	0	8.33	0	0	0	0	0	0
		国際紛争の要因	10.15	20.45	45.45	12.12	3.13	0	0	8.33	0	0	0	0	0	0
		国際社会における日本の役割	8.6	16.18	36.36	12.12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		資本主義社会経済及び社会主義経済の変容	13.38	27.27	36.36	24.24	3.13	0	0	8.33	0	0	0	0	0	0
		国民経済における家計	5.38	9.09	0	12.12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		企業	13.38	27.27	9.09	33.33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		大きな政と小さな政府	10.15	20.45	27.27	18.18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等 学校 指 導 内 容 （「公 民」）	現代の経済	労使関係と労働市場	10.15	18.18	18.18	18.18	3.13	0	0	8.33	0	0	0	0	0	0
		市場経済の機能と限界	18.28	36.36	45.45	33.33	3.13	0	0	8.33	0	0	0	0	0	0
		経済成長と景気変動	8.6	13.64	9.09	15.15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		財政の仕組みと働き	8.6	18.18	0	24.24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		租税の意義と役割	4.3	6.82	9.09	6.06	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		資金の循環と金融機関の働き	7.53	13.64	0	18.18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		産業構造の変化	10.15	18.18	9.09	21.21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		経済活動の在り方と福祉の向上の関連	7.53	13.64	0	18.18	3.13	0	0	8.33	0	0	0	0	0	0
		貿易の意義と国際収支の現状	8.6	18.18	18.18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		為替相場の仕組み	8.6	13.64	0	18.18	3.13	0	0	8.33	0	0	0	0	0	0
日本 経済の歴史	日本経済	国際協調の必要性	7.53	13.64	27.27	9.09	3.13	0	0	8.33	0	0	0	0	0	0
		第二次世界大戦前の経済	7.53	13.64	18.18	12.12	3.13	0	12.5	0	0	0	0	0	0	0
		戦後改革	10.15	18.18	18.18	18.18	6.25	0	12.5	8.33	0	0	0	0	0	0
		高度成長期の経済	12.9	25	18.18	27.27	3.13	0	0	8.33	0	0	0	0	0	0
		石油危機後の経済	12.9	26.45	18.18	21.21	6.25	0	25	0	0	0	0	0	0	0
		ノアーズ経済と日本経済	17.2	27.73	18.18	24.24	12.5	0	25	16.67	0	0	0	0	0	0

調査票III-（1）
【欄A・重要度】回答数

政治経済

科 目	(1)(2)(3)／B/Cの項目	内 容	工学系												理学系													
			電気電子情報系			電気電子 情報 電／情			機械 環境工 化学工 生命工			工(その他)			数学		物理学		化学		生物学		教養学(理系)					
			電気電子			0.8			1/43			0.6			2/7			0.3			0.2			0/15				
			電気電子			0.8			1/43			0.6			2/7			0.3			0.2			0/15				
高等學校学習指導内容（「公民」）	現代の政治	日本国憲法の基本的性格	1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		国会、内閣、裁判所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		政治と法の機能	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		人権保護法の支配	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		権利と義務の関係	3	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		議会制民主主義	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		民主政治の本質	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		民主生活と地方自治	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		望ましい政治在り方～政党政治	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		主権者としての参政の在り方～選挙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
高等學校学習指導内容（「公民」）	国際政治の動向	国際政治の動向	2	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		人権、國家主権、領土などに関する国際法の意義	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		国際連合をはじめとする国際機構の役割	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		国際政治の特質	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		国際紛争の特徴	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		国際社会における日本の役割	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		資本主義社会及び社会主義経済の変容	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		国民経済における家計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		企業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		大きな民族と小さな民族	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
高等學校学習指導内容（「公民」）	現代の経済	労使関係と労働市場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		市場経済の機能と限界	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		経済成長と景気変動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		財政の仕組みと働き	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		相続の意義と役割	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		資金の循環と金融機関の働き	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		産業構造の変化	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		経済活動の仕方と福祉の向上の問題	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		貿易の意義と国際収支の現状	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		国際協調の必要性	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		国際経済における日本の役割	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
日本経済の歴史	第二次世界大戦前の経済	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		戦後改革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
日本経済の歩み	高度成長期の経済	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		石油危機後の経済	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
日本経済の歴史	バブル経済と日本経済	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

調査票III-（1）
【欄A・重要度】割合

政治経済

科 目	(1)(2)(3)/ABC…の項目	アイウエオ…の項目	内 容			工学系						理学系									
			電気電子情報系			電 情			機 械			環 境 工			化 学 工			生 物 学			
			電 气	电 子	情 報	电／情	电／情	机 械	环 境	工	化 学	工	生物	数 学	物 理	化 学	生 物	数 学	物 理	化 学	生 物
高等學校指導内容（「公民」）	日本国憲法の基本的性格	1.14	1.32	2.33	0	5.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	国会 内閣・裁判所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	政治と法の機能	1.14	1.32	0	0	0	0	0	14.29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人権保護法の支配	1.14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	権利と義務の關係	3.41	2.63	2.33	0	5.26	0	0	14.29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33.33
	議会制民主義	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	民主政治の本質	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	住民生活と地方自治	2.27	2.63	0	0	0	0	0	28.57	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	望ましい政治の在り方 ～政党政治	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	主権者としての參政の在り方 ～選舉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
現代の政治	国際政治の動向	2.27	2.63	2.33	0	5.26	0	0	14.29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	人権・國家主権、領土などに関する國際法の意義	1.14	1.32	0	0	0	0	0	14.29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	国際連合をはじめとする国際機構の役割	1.14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33.33
	国際政治の特質	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	国際紛争の起因	1.14	1.32	2.33	0	5.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	国際社会における日本の役割	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	資本主義社会経済及び社会主義経済の変容	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	国民经济における家計	1.14	1.32	0	0	0	0	0	0	14.29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	企業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	大きな政と小さな政府	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
現代の経済	労使関係と労働市場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	市場経済の慣習と限界	1.14	1.32	2.33	0	5.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経済成長と景気変動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	財政の仕組みと働き	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	租税の意義と役割	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	資金の循環と金融機関の働き	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	産業構造の変化	1.14	1.32	2.33	0	5.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	経済活動の在り方と福祉の向上の関連	1.14	1.32	0	0	0	0	0	14.29	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	貿易の意義と国際収支の現状	1.14	1.32	2.33	0	5.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	国際協調の必要性	2.27	1.32	2.33	0	5.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33.33
日本経済の歴史	国民经济と国際経済	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	第二次世界大戦前の経済	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	戦後改革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本経済の歩み	高度成長期の経済	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	石油危機後の経済	1.14	1.32	2.33	0	5.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ハイテク経営と日本経済	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

調査票III-（1）
【欄B・習得度】回答数

政治経済

科 目	(1)(2)(3)／ABC…の項目	アイウエオ…の項目	内容	本回答数／回答総数＝	文科系						留学生教育 共通教育文 文(その他)	
					社会科学系			人文系				
					38/33	29/44	9/11	20/33	7/32	2/12	3/8	
高等學校学習指導内容（「公民」）	現代の政治	日本憲法の基本的性格	日本国憲法の基本的性格	3	1	0	1	2	1	0	0	0
			国会 内閣・裁判所	3	1	0	1	2	1	0	1	0
			政治と法の機能	3	1	0	1	2	1	0	1	0
			人権保護法の支配	3	1	0	1	2	1	0	1	0
			権利と義務の関係	3	1	0	1	2	1	0	1	0
			議会制民主主義	2	1	0	1	1	0	0	0	0
			民主政治の本質	3	1	0	1	2	1	0	1	0
			住民生活と地方自治	3	1	0	1	2	1	0	1	0
			望ましい政治の在り方 ～政党政治	3	1	0	1	2	1	0	1	0
			主権者としての参政の在り方 ～選挙	2	1	0	1	1	0	0	0	0
高等學校学習指導内容（「公民」）	現代の国際政治	国際政治の動向	国際政治の動向	2	0	2	0	0	0	0	0	0
			人権・国家主権、領土などに関する国際法の意義	1	1	0	1	0	0	0	0	0
			国際連合を中心とする国際機構の役割	1	1	0	1	0	0	0	0	0
			国際政治の特質	3	2	0	2	1	0	0	1	0
			国際紛争の要因	3	2	0	2	1	0	0	1	0
			国際社会における日本の役割	3	2	0	2	1	0	0	1	0
			資本主義社会経済及び社会主義経済の変容	4	3	0	3	1	0	0	1	0
			国民経済における家計	4	2	0	2	1	0	0	1	0
			企業	7	5	0	5	1	0	0	1	0
			大きな改革と小さな政府	4	2	0	2	1	0	0	1	0
高等學校学習指導内容（「公民」）	現代の経済	経済社会の変容と現代経済の仕組み	労使関係と労働市場	4	2	0	2	1	0	0	1	0
			市場経済の懸念と限界	7	7	1	6	0	0	0	0	0
			経済成長と景気変動	5	3	0	3	1	0	0	1	0
			財政の仕組みと働き	3	2	0	2	1	0	0	1	0
			租税の意義と役割	4	2	0	2	1	0	0	1	0
			資金の循環・金融機関の働き	5	3	0	3	1	0	0	1	0
			産業構造の変化	5	3	0	3	1	0	0	1	0
			経済活動の在り方と福祉の向上の関連	3	2	0	2	1	0	0	1	0
			貿易の意義と国際収支の現状	5	4	0	4	1	0	0	1	0
			為替相場の仕組み	5	4	0	4	0	0	0	0	1
日本経済の歴史	日本経済の歴史	国民経済と国際経済	国際協調の必要性	3	2	0	2	1	0	0	1	0
			第二次世界大戦前の経済	4	3	1	2	1	0	0	1	0
			戦後改革	4	4	2	2	0	0	0	0	0
			高度成長期の経済	7	5	2	3	1	0	0	1	0
			石油危機後の経済	7	5	2	3	1	0	0	1	0
			ハイテク経済と日本経済	4	3	1	2	0	0	0	0	0

調査票III-（1）
【欄B・習得度】割合

政治経済

科 目	(1)(2)(3)／ABC…の項目	アイウエオ…の項目	内容	文科系												
				社会科学系						人文系						
				38/93	29/44	9/11	20/33	7/32	2/42	3/8	2/12	その他人文学	日本関係	教育学	その他の文	
高等學校指導内容 （「公民」）	現代の政治	日本国憲法の基本的性格	日本国憲法の基本的性格	3.3	2.27	0	3.03	6.25	8.33	12.5	0	0	0	0	0	
		国会 内閣・裁判所	国会 内閣・裁判所	3.3	2.27	0	3.03	6.25	8.33	0	8.33	0	0	0	0	
		政治と法の機能	政治と法の機能	3.3	2.27	0	3.03	6.25	8.33	0	8.33	0	0	0	0	
		人権保護法の支配	人権保護法の支配	3.3	2.27	0	3.03	6.25	8.33	0	8.33	0	0	0	0	
		権利と義務の關係	権利と義務の關係	3.3	2.27	0	3.03	6.25	8.33	0	8.33	0	0	0	0	
		議会制民主義	議会制民主義	2.15	2.27	0	3.03	3.13	8.33	0	0	0	0	0	0	
		民主政治の本質	民主政治の本質	3.3	2.27	0	3.03	6.25	8.33	0	8.33	0	0	0	0	
		住民生活と地方自治	住民生活と地方自治	3.3	2.27	0	3.03	6.25	8.33	0	8.33	0	0	0	0	
		望ましい政治の在り方 ～政党政治	望ましい政治の在り方 ～政党政治	3.3	2.27	0	3.03	6.25	8.33	0	8.33	0	0	0	0	
		主権者としての参政の在り方 ～選舉	主権者としての参政の在り方 ～選舉	2.15	2.27	0	3.03	3.13	8.33	0	0	0	0	0	0	
高等學校指導内容 （「公民」）	現代の経済	国際政治の動向	国際政治の動向	2.15	4.55	0	6.06	0	0	0	0	0	0	0	0	
		人権・国家主権、領土などに関する国際法の意義	人権・国家主権、領土などに関する国際法の意義	1.08	2.27	0	3.03	0	0	0	0	0	0	0	0	
		国際連合を中心とする国際機構の役割	国際連合を中心とする国際機構の役割	1.08	2.27	0	3.03	0	0	0	0	0	0	0	0	
		国際政治の特質	国際政治の特質	3.23	4.55	0	6.06	3.13	0	0	8.33	0	0	0	0	
		国際紛争の起因	国際紛争の起因	3.23	4.55	0	6.06	3.13	0	0	8.33	0	0	0	0	
		国際社会における日本の役割	国際社会における日本の役割	3.23	4.55	0	6.06	3.13	0	0	8.33	0	0	0	0	
		資本主義社会経済及び社会主義経済の変容	資本主義社会経済及び社会主義経済の変容	4.3	6.82	0	9.09	3.13	0	0	8.33	0	0	0	0	
		国民経済における家計	国民経済における家計	4.3	4.55	0	6.06	3.13	0	0	8.33	0	0	0	0	
		企業	企業	7.53	11.36	0	15.15	3.13	0	0	8.33	0	0	0	0	
		大きな政と小さな政府	大きな政と小さな政府	4.3	4.55	0	6.06	3.13	0	0	8.33	0	0	0	0	
高等學校指導内容 （「公民」）	現代の経済	労使関係と労働市場	労使関係と労働市場	4.3	4.55	0	6.06	3.13	0	0	8.33	0	0	0	0	
		市場経済の懸念と限界	市場経済の懸念と限界	7.53	15.91	9.09	18.18	0	0	0	0	0	0	0	0	
		経済成長と景気変動	経済成長と景気変動	5.38	6.82	0	9.09	3.13	0	0	8.33	0	0	0	0	
		財政の仕組みと働き	財政の仕組みと働き	3.23	4.55	0	6.06	3.13	0	0	8.33	0	0	0	0	
		租税の意義と役割	租税の意義と役割	4.3	4.55	0	6.06	3.13	0	0	8.33	0	0	0	0	
		資金の循環と金融機関の働き	資金の循環と金融機関の働き	5.38	6.82	0	9.09	3.13	0	0	8.33	0	0	0	0	
		産業構造の変化	産業構造の変化	5.38	6.82	0	9.09	3.13	0	0	8.33	0	0	0	0	
		経済活動の在り方と福祉の向上の関連	経済活動の在り方と福祉の向上の関連	3.23	4.55	0	6.06	3.13	0	0	8.33	0	0	0	0	
		貿易の意義と国際収支の現状	貿易の意義と国際収支の現状	5.38	9.09	0	12.12	3.13	0	0	8.33	0	0	0	0	
		為替相場の仕組み	為替相場の仕組み	5.38	9.09	0	12.12	0	0	0	0	0	0	0	0	
日本經濟の歴史	日本經濟の歴史	国際協調の必要性	国際協調の必要性	3.23	4.55	0	6.06	3.13	0	0	8.33	0	0	0	0	
		第二次世界大戦前の経済	第二次世界大戦前の経済	4.3	6.82	9.09	6.06	3.13	0	0	8.33	0	0	0	0	
		戦後改革	戦後改革	4.3	9.09	18.18	6.06	0	0	0	0	0	0	0	0	
高度成長期の経済				7.53	11.36	18.18	9.09	3.13	0	0	8.33	0	0	0	0	
石油危機後の経済				7.53	11.36	18.18	9.09	3.13	0	0	8.33	0	0	0	0	
ノアの説と日本経済				4.3	6.82	9.09	6.06	3.13	0	0	8.33	0	0	0	0	

調査票III-（1）
【欄B・習得度】回答数

政治経済

科 目	(1)(2)(3)/ABC…の項	アイウエオ…の項目	内 容			本票回答数／回答総数＝	工 学 系			理 科 系							
			電気電子情報系	電気電子	情報		電／情	機械	環境工	化学工	生命工	工(その他)	数学	物理學	化 学	生物 學	統計学(理)
高等學校学習指導内容（「公民」）	現代の政治	日本国憲法の基本的性格	4.98	3/76	1/43	0/8	1/19	0/16	0/6	2/7	0/3	0/2	0/15	0/9	0/1	0/1	1/3
		国会 内閣・裁判所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		政治と法の機能	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		人権保護の方法の支配	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		権利と義務の関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		議会制民主主義	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		民主政治の本質	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		住民生活と地方自治	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		望ましい政治の在り方～政党政治	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		主権者としての参政の在り方～選挙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等學校学習指導内容（「公民」）	現代の国際政治	国際政治の動向	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		人権・国家主権・領土などに関する国際法の意義	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		国際連合を中心とする国際機構の役割	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		国際政治の特質	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		国際紛争の起因	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		国際社会における日本の役割	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		資本主義社会経済及び社会主義経済の変容	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		国民経済における家計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		企業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		大きな政と小さな政府	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等學校学習指導内容（「公民」）	現代の経済	労使関係と労働市場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		市場経済の態勢と限界	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		経済成長と景気変動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		財政の仕組みと働き	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		租税の意義と役割	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		資金の循環と金融機関の働き	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		産業構造の変化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		経済活動の在り方と福祉の向上の関連	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		貿易の意義と国際収支の現状	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		為替相場の仕組み	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本経済の歴史	日本経済の歩み	国際協調の必要性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		第二次世界大戦前の経済	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		戦後改革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		高度成長期の経済	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		石油危機後の経済	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		ハイテク経営と日本経済	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

調査票III-（1）
【欄B・習得度】割合

政治経済

科 目	(1)(2)(3)/ABC…の項	アイウエオ…の項目	内 容			本回答数／回答総数＝	工 学 系			理 科 系							
			電気電子情報系	電気電子	情報		電／情	機械	環境工	化学工	生命工	工(その他)	数学	物理學	化 学	生物 學	統計学(理)
高等學校学習指導内容（「公民」）	現代の政治	日本国憲法の基本的性格	4.98	3/76	1/43	0/8	1/19	0/16	0/6	2/7	0/3	0/2	0/15	0/9	0/1	0/1	1/3
		国会 内閣・裁判所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		政治と法の機能	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		人権保護の方法	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		権利と義務の関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		議会制民主主義	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		民主政治の本質	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		住民生活と地方自治	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		望ましい政治の在り方～政党政治	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		主権者としての参政の在り方～選挙	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等學校学習指導内容（「公民」）	国際政治の動向	国際政治の動向	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		人権・国家主権・領土などに関する国際法の意義	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		国際連合を中心とする国際機構の役割	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		国際政治の特質	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		国際紛争の起因	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		国際社会における日本の役割	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		資本主義社会経済及び社会主義経済の変容	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		国民経済における家計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		企業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		大きな政と小さな政府	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等學校学習指導内容（「公民」）	市場経済	労使関係と労働市場	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		市場経済の態勢と限界	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		経済成長と景気変動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		財政の仕組みと働き	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		租税の意義と役割	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		資金の循環と金融機関の働き	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		産業構造の変化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		経済活動の在り方と福祉の向上の関連	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		貿易の意義と国際収支の現状	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		為替相場の仕組み	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等學校学習指導内容（「公民」）	国際経済	国際協調の必要性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		国際経済機制の役割	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		国際経済の特質	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等學校学習指導内容（「公民」）	日本経済の歴史	第二次世界大戦前の経済	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		戦後改革	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等學校学習指導内容（「公民」）	日本経済の歩み	高度成長期の経済	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		石油危機後の経済	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等學校学習指導内容（「公民」）	日本経済	ハイテク経営と日本経済	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

調査票III-（2）
【欄A・重要度】回答数

日本史

科目	(1)(2)(3)／ABC-の項目	内容	文科系											
			社会科学系				人文系				一般教養			
			日本関係	教育学	その他人文学	留学生教育(文系)	日本関係	教育学	その他人文学	留学生教育(文系)	日本関係	教育学	その他人文学	留学生教育(文系)
日本 歴史 A 高等 学校 学習 指導 内 容 ～「 地 理 歴 史 」～	近代日本の形成と19世紀の世界	国際環境の変化と幕藩体制の動搖 明治維新と近代国家の形成 国際関係の推移と近代産業の成立	5 11/44 28/93	2 5/11 6/33	1 15/32	2 5/12 4/8	2 6/12 2/12	0 2/10 0/2	0 1/12 0/2	0 1/12 0/2	0 1/12 0/2	0 1/12 0/2	0 1/12 0/2	0 1/12 0/2
	近代日本の歩みと国際化	政党政治の展開と大衆文化の形成 近代産業の発展と国民生活	10 5 3 3	5 3 2 0	3 2 4 4	4 3 5 5	3 3 4 4	0 0 1 0	0 1 1 0	0 1 1 0	0 1 1 0	0 1 1 0	0 1 1 0	
	第二次世界大戦後の日本と世界	両大戦を以ぐる国際情勢と日本 戦後政治の動向と国際社会 現代の日本と世界	13 6 4 8 9 4 18 9 4	13 4 2 4 5 7 8 4 5	6 3 2 4 5 7 4 4	3 3 6 8 3 0 0	3 0 3 4 0 0 0	0 1 1 0 3 2 3	0 1 1 4 1 1 1	0 1 1 2 2 2 1	0 1 1 2 2 2 0	0 1 1 2 2 2 0	0 1 1 2 2 2 0	
	歴史の考察	歴史の追究(日本人の生活と風俗) 歴史の追究(世界の中の日本)	9 10 3	3 1 1	2 2 0	5 6 3	3 3 0	0 0 0	0 4 3	2 2 2	1 1 1	0 0 0	0 0 0	
	原始・古代の社会・文化と東アジア	日本文化の黎明 古代国家の形成と東アジア 古代国家の推移と社会の変化	2 1 1 5 1 0 4 0 0	1 1 0 1 0 0 3 0 0	0 0 0 3 1 0 3 0 0	0 0 0 2 3 0 2 0 0	0 0 0 0 0 0 0 1 0	0 0 0 0 1 1 1 1 1	0 4 3 1 1 1 1 1	2 2 2 1 1 1 1 1	0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0		
	中世の社会・文化と東アジア	武家政権の成立 武家政権の展開と社会の変化	6 2 1 5 1 0 5	2 1 1 1 0 1 1	1 1 3 3 1 0 3	3 2 0 2 0 0 3	2 0 0 2 0 0 1	0 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1 1	0 1 1 1 1 1 1	0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0		
	近世の社会・文化と国際関係	織豊政権と幕藩体制の形成 国際環境の変化と幕藩体制の動搖 明治維新と立憲体制の成立	6 3 3 12 5 3 9 5 7	3 2 1 5 3 2 3 2 3	1 1 2 3 2 3 3 2 4	1 0 1 5 2 3 2 0 7	0 1 0 2 0 0 1 0 3	0 1 1 0 0 1 1 1 2	0 1 1 1 1 1 1 1 2	0 1 1 1 1 1 1 1 2	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0		
	第二次世界大戦期の日本と世界	国際関係の推移と立憲国家の展開 近代産業の発展と近代文化	10 5 15 6 16 7 10 5 15 6 18 10 20	5 3 2 4 7 3 5 3 4 2 5 7 3 5 3	2 2 3 2 4 7 3 2 3 2 4 7 3 5 10	2 3 3 2 7 3 4 2 7 3 4 7 3 10	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 1 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0	0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0	0 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		
	第二次世界大戦後の日本と世界	第二次世界大戦と日本 現代の日本と世界	日本と世界	日本と世界	日本と世界	日本と世界	日本と世界	日本と世界	日本と世界	日本と世界	日本と世界	日本と世界	日本と世界	日本と世界

調査票III-（2）
【欄A・重要度】割合

日本史

科目	(1)(2)(3)／ABC…の項目	内容	文科系											
			社会科学系				人文系				一般教養			
			法学	経営	日本関係	教育学	その他人文学	2/12	2/10	2/2	留学生教育 共通教育(文) (その他の文)			
日本 史 A 高等 学校 学 習 指 導 内 容 ～「地 理 歴 史」～	近代日本の形成と19世紀の世界	国際環境の変化と幕藩体制の動搖 明治維新と近代国家の形成 国際関係の推移と近代産業の成立	5.38 11.83 11.36	4.55 21.27 6.06	3.03 12.5 25	6.25 0 0	16.67 8.33 8.33	0 16.67 20	0 20 0	0 0 0	8.33 16.67 8.33	10 20 10	0 0 0	0 0 0
	近代日本の歩みと第二次世界大戦後の日本と世界	政党政治の展開と大衆文化の形成 近代産業の発展と国民生活 両戦をめぐる国際情勢と日本	8.6 12.9 13.98	6.82 27.27 11.36	0 12.5 9.09	15.63 33.33	0 0 0	8.33 8.33 8.33	10 10 16.67	0 20 20	0 0 0	0 0 0	0 0 0	
	歴史の考察	戦後政治の動向と国際社会 現代の日本と世界	19.35 19.35	18.18 20.45	36.36 15.15	12.12 21.38	25 33.33	0 0	25 25	25 16.67	0 20	0 0	0 0	0 0
	歴史の追究(日本人の生活と信仰)	歴史の追究(世界の中の日本)	9.68 10.75	6.82 9.09	9.09 6.06	15.63 18.75	25	0	16.67	8.33	10	0	0	0
	原始・古代の社会・文化と東アジア	日本文化の黎明 古代国家の形成と東アジア	2.15 5.38	2.27 0	9.09 0	0 0	0 0	0 0	25	8.33	10	0	0	0
	中世の社会・文化と東アジア	武家政権の成立 武家政権の展開と社会の変化	6.45 5.38	4.55 2.27	9.09 0	3.03 9.38	16.67 0	0 8.33	0 8.33	8.33 8.33	10 10	0 0	0 0	0 0
	近世の社会・文化と国際関係	織豊政権と幕藩体制の形成 国際環境の変化と幕藩体制の動搖	5.38 6.45	2.27 6.82	0 18.18	3.03 3.03	9.38 8.33	16.67 0	0 8.33	8.33 8.33	10 10	0 0	0 0	0 0
	近代日本の形成とアジア	明治維新と立憲体制の成立 国際関係の推移と立憲国家の展開	12.9 9.68	11.36 11.36	27.27 18.18	6.06 9.09	15.63 9.38	16.67 16.67	0 0	25 8.33	16.67 8.33	20 10	0 0	0 0
	第一次世界大戦	近代産業の発展と近代文化	17.2 15.91	21.27 21.27	12.12 21.38	25	25	16.67	16.67	20	0	0	0	0
	第二次世界大戦期の日本と世界	第一次世界大戦 政党政治の発展と大衆文化の形成 第二次世界大戦と日本	10.75 10.75 16.13	11.36 11.36 13.94	27.27 27.27 36.36	6.06 12.5 6.06	15.63 16.67 21.38	12.5 12.5 25	8.33 8.33 12.5	8.33 8.33 25	10 10 16.67	0 0 20	0 0 0	0 0 0
	第二次世界大戦後の日本と世界	戦後政治の動向と国際社会 現代の日本と世界	19.35 21.51	22.73 18.18	45.45 27.27	15.15 15.15	21.38 31.25	33.33 25	25	8.33 16.67	10 20	0 0	0 0	0 0

調査票III-（2）
【欄A・重要度】回答数

日本史

科目	(1)(2)(3)／ABC-の項目	内容 本票回答数／回答総数	工学系												理学系						数学			物理学			化学			生物学					
			電気電子情報系			電気・電子 情報			電／情			機械			環境工			生命工			工(その他)			数学			物理学			化学			生物学		
			1/88	1/76	1/43	0/2	1/19	0/16	0/6	0/7	0/3	0/2	0/15	0/15	0/9	0/1	0/1	0/2	0/1	0/1	0/1	0/1	0/1	0/1	0/1	0/1	0/1	0/1	0/1	0/1	0/1				
日本 歴史 A 高等 学校 学習 指導 内容 ～「地 理 歴史」～	近代日本の形成と19世紀の世界	国際環境の変化と幕藩体制の動搖 明治維新と近代国家の形成	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	近代日本の歩みと国際関係	国際関係の性移と近代産業の成立 政党政治の展開と大衆文化の形成	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	第二次世界大戦後の日本と世界	近代産業の発展と国民生活 両大戦を以ぐる国際情勢と日本	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	歴史の考察	戦後政治の動向と国際社会 現代の日本と世界	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	原始・古代の社会・文化と東アジア	歴史の追究(日本人の生活と思想) 歴史の追究(世界の中の日本)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	中世の社会・文化と東アジア	古代国家の形成と東アジア 古代国家の推移と社会の変化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	近世の社会・文化と東アジア	武家政権の成立 武家政権の展開と社会の変化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	第二次世界大戦期の日本と世界	織豊改権と幕藩体制の形成 国際環境の変化と幕藩体制の動搖	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	第二次世界大戦後の日本と世界	明治維新と立憲体制の成立 国際関係の推移と立憲国家の展開	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	第二次世界大戦期の日本と世界	第二次世界大戦と日本 第二次世界大戦後の日本と世界	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					

調査票III-（2）
【欄A・重要度】割合

日本史

科目	(1)(2)(3)／ABC…の項目	内容	理工系												理学系					
			電気電子情報系						工学系						数学					
			電気・電子	情報	電／情	機械	環境工	化學工	生命工	工(その他)	物理學	化學	生物學	數學(理科)	物理學	化學	生物學	數學(理科)	物理學	
日本 歴史 A 高等 学校 学習 指導 内容 ～「地理 歴史」～	近代日本の形成と19世紀の世界	国際環境の変化と幕藩体制の動搖	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	明治維新と近代国家の形成	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	国際関係の推移と近代産業の成立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	政党政治の展開と大衆文化の形成	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	近代産業の発展と国民生活	1.14	1.32	2.33	0	5.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	両戦をめぐる国際情勢と日本	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	第二次世界大戦後の日本と世界	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	戦後政治の動向と国際社会	1.14	1.32	2.33	0	5.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	現代の日本と世界	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	歴史の追究(日本人の生活と信仰)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
日本 歴史 B 高等 学校 学習 指導 内容 ～「地理 歴史」～	歴史の追究(世界の中の日本)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	日本文化の黎明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	原始・古代の社会・文化と東アジア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	古代国家の形成と東アジア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	古代国家の推移と社会の変化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	中世の社会・文化と東アジア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	武家政権の成立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	武家政権の展開と社会の変化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	近世の社会・文化と国際関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	織豊改変と幕藩体制の形成	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
日本 歴史 C 高等 学校 学習 指導 内容 ～「地理 歴史」～	国際環境の変化と幕藩体制の動搖	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	明治維新と立憲体制の成立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	国際関係の推移と立憲国家の展開	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	近代産業の発展と近代文化	1.14	1.32	2.33	0	5.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	第一次世界大戦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
日本 歴史 D 高等 学校 学習 指導 内容 ～「地理 歴史」～	第二次世界大戦の日本と世界	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	政党政治の発展と大衆文化の形成	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	第二次世界大戦後の日本と世界	1.14	1.32	2.33	0	5.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

調査票III-（2）
【欄B・習得度】回答数

日本史

科目	(1)(2)(3)／ABC…の項目	内容	文科系											
			社会科学系				人文系				一般教養			
			日本関係	教育学	その他人文学	留学生教育	英語教育(文)	日本関係	教育学	その他人文学	留学生教育	英語教育(文)	日本関係	教育学
日本 史 A 高等 学校 学 習 指 導 内 容 ～「地 理 歴 史」～	近代日本の形成と19世紀の世界	国際環境の変化と幕藩体制の動搖 明治維新と近代国家の形成 国際関係の推移と近代産業の成立	3 4 5	0 1 1	0 0 0	2 2 3	1 2 0	0 0 2	1 0 0	1 1 1	1 1 1	1 1 1	0 0 0	
	近代日本の歩みと第二次世界大戦後の日本と世界	政党政治の展開と大衆文化の形成 近代産業の発展と国民生活 両大戦をめぐる国際情勢と日本 戦後政治の動向と国際社会 現代の日本と世界	3 7 3 7 6	0 2 0 2 0	0 1 4 1 2	2 1 3 4 3	0 1 0 3 0	0 1 0 0 1	1 1 1 1 2	1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	0 0 0 0 0		
	歴史の考察	歴史の追究(日本人の生活と信仰) 歴史の追究(世界の中の日本)	2 2	0 0	0 0	1 1	1 1	0 0	0 0	0 1	0 1	0 1	0 0	
	原始・古代の社会・文化と東アジア	日本文化の黎明 古代国家の形成と東アジア 古代国家の推移と社会の変化 武家政権の成立	3 3 3 3	0 0 0 0	0 0 0 0	2 2 1 1	1 1 0 0	0 1 0 0	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	0 0 0 0		
	中世の社会・文化と東アジア	武家政権の展開と社会の変化	3	0	0	2	1	0	1	1	1	1	0	
	近世の社会・文化と国際関係	織豊改権と幕藩体制の形成 国際環境の変化と幕藩体制の動搖	3 3	0 0	0 0	2 2	1 1	0 0	1 1	1 1	1 1	1 1	0 0	
	近代日本の形成とアジア	明治維新と立憲体制の成立 国際関係の推移と立憲国家の展開 近代産業の発展と近代文化	3 4 6	1 1 3	0 0 2	1 1 1	0 0 2	1 1 2	0 0 2	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	
	第二次世界大戦期の日本と世界	第一次世界大戦 政党政治の発展と大衆文化の形成 第二次世界大戦と日本	4 3 4	1 0 1	0 0 0	2 2 1	1 0 1	0 0 2	1 1 2	0 0 0	1 1 1	1 1 1	0 0 0	
	第二次世界大戦後の日本と世界	戦後政治の動向と国際社会 現代の日本と世界	8 4	3 2	1 0	4 2	3 1	0 0	3 0	1 0	1 0	1 0	0 0	

調査票III-（2）
【欄B・習得度】割合

日本史

科目	(1)(2)(3)／ABC…の項目	内容	文科系											
			社会科学系				人文系				一般教養			
			法学	経営	日本関係	教育学	その他人文学	2/12	2/10	2/2	留学生教育 英語教育(文) (その他の文)			
日本 史 A 高等 学校 学 習 指 導 内 容 ～「地 理 歴 史」～	近代日本の形成と世界 世紀の世界	国際環境の変化と幕藩体制の動搖 明治維新と近代国家の形成	3.23	0	0	6.25	8.33	0	8.33	8.33	10	0	0	0
	国際関係の進歩と近代産業の成立	4.3	2.27	9.09	0	6.25	16.67	0	0	8.33	10	0	0	0
	政党政治の展開と大衆文化の形成	5.38	2.27	9.09	0	9.38	16.67	0	8.33	8.33	10	0	0	0
	近代産業の発展と国民生活	3.23	0	0	6.25	8.33	0	8.33	8.33	10	0	0	0	0
	両大戦をめぐる国際情勢と日本	7.53	4.55	9.09	3.03	12.5	25	0	8.33	8.33	10	0	0	0
	第二次世界大戦後の日本と世界	3.23	0	0	6.25	16.67	0	0	8.33	8.33	10	0	0	0
	戦後政治の動向と国際社会	7.53	4.55	9.09	3.03	12.5	25	0	8.33	8.33	10	0	0	0
	現代の日本と世界	6.45	4.55	0	6.06	9.38	8.33	0	16.67	8.33	10	0	0	0
	歴史の追究(日本人の生活と信仰)	2.15	0	0	3.13	8.33	0	0	8.33	8.33	10	0	0	0
	歴史の追究(世界の中の日本)	2.15	0	0	3.13	8.33	0	0	8.33	8.33	10	0	0	0
日本 史 B 高等 学校 学 習 指 導 内 容 ～「地 理 歴 史」～	日本文化の黎明	3.23	0	0	6.25	8.33	0	8.33	8.33	10	0	0	0	0
	原始・古代の社会・文化 原生・古代国家の形成と東アジア	3.23	0	0	6.25	8.33	0	8.33	8.33	10	0	0	0	0
	古代国家の進歩と社会の変化	3.23	0	0	6.25	8.33	0	8.33	8.33	10	0	0	0	0
	武家政権の成立	3.23	0	0	6.25	8.33	0	8.33	8.33	10	0	0	0	0
	中世の社会・文化と 東アジア	3.23	0	0	6.25	8.33	0	8.33	8.33	10	0	0	0	0
	武家政権の展開と社会の変化	3.23	0	0	6.25	8.33	0	8.33	8.33	10	0	0	0	0
	近世の社会・文化と 国際関係	3.23	0	0	6.25	8.33	0	8.33	8.33	10	0	0	0	0
	国際環境の変化と幕藩体制の動搖	3.23	0	0	6.25	8.33	0	8.33	8.33	10	0	0	0	0
	明治維新と立憲体制の成立	3.23	2.27	9.09	0	3.13	8.33	0	0	8.33	10	0	0	0
	国際関係の進歩と立憲国家の展開	4.3	2.27	9.09	0	6.25	8.33	0	8.33	8.33	10	0	0	0
日本 史 B 高等 学校 学 習 指 導 内 容 ～「地 理 歴 史」～	近代産業の発展と近代文化	6.45	6.82	18.18	3.03	6.25	16.67	0	0	8.33	10	0	0	0
	第一次世界大戦	4.3	2.27	9.09	0	6.25	8.33	0	8.33	8.33	10	0	0	0
	第二次世界大戦期の日本 と世界	3.23	0	0	6.25	8.33	0	8.33	8.33	10	0	0	0	0
	第二次世界大戦と日本	4.3	2.27	0	3.03	6.25	16.67	0	0	8.33	10	0	0	0
日本 史 B 高等 学校 学 習 指 導 内 容 ～「地 理 歴 史」～	戦後政治の動向と国際社会	8.6	6.82	9.09	6.06	12.5	25	0	8.33	8.33	10	0	0	0
	現代の日本と世界	4.3	4.55	0	6.06	3.13	0	12.5	0	8.33	10	0	0	0

調査票III-（2）
【欄B・習得度】回答数

日本史

科目	(1)(2)(3)／ABC…の項目	内容	工学系												理学系											
			電気電子情報系				機械				環境工		生命工		工(その他)		数学			物理学			化学		生物学	
			電気・電子	情報	電／情	機械	環境工	化學工	生命工	工(その他)	0.9	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
日本 史 高 等 学 校 学 習 指 導 内 容 ～「地 理 歴 史」～	近代日本の形成と19世紀の世界	国際環境の変化と幕藩体制の動搖	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	明治維新と近代国家の形成	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	国際関係の推移と近代産業の成立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	政党政治の展開と大衆文化の形成	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	近代産業の発展と国民生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	両大戦をめぐる国際情勢と日本	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	第二次世界大戦後の日本と世界	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	戦後政治の動向と国際社会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	現代の日本と世界	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	歴史の追究(日本人の生活と信仰)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
日本 史 A 高 等 学 校 学 習 指 導 内 容 ～「地 理 歴 史」～	歴史の考察	歴史の追究(世界の中の日本)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	日本文化の黎明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	原始・古代の社会・文化と東アジア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	古代国家の形成と東アジア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	古代国家の推移と社会の変化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	中世の社会・文化と東アジア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	武家政権の成立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	武家政権の展開と社会の変化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	近世の社会・文化と国際関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	近世日本の形成とアジア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
日本 史 B 高 等 学 校 学 習 指 導 内 容 ～「地 理 歴 史」～	第一次世界大戦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	政黨政治の発展と大衆文化の形成	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	第二次世界大戦と日本	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	戦後政治の動向と国際社会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	第二次世界大戦後の日本と世界	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

調査票III-（2）
【欄B・習得度】割合

日本史

科目	(1)(2)(3)／ABC…の項目	内容	工学系												理学系					
			電気電子情報系			電気・電子 情報 電／情			機械 環境工 化学工 生命工			工(その他)			数学 物理学 化学 生物学 教育学(理科) 外語学(英語)					
		本票回答数／回答総数	1/88	1/76	1/43	0/3	1/19	0/16	0/6	0/7	0/3	0/2	0/15	0/9	0/1	0/4	0/2	0/1	0/1	0/3
日本 歴史 A 高等 学校 学習 指導 内容 ～「地理 歴史」～	近代日本の形成と19世紀の世界	国際環境の変化と幕藩体制の動搖	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	明治維新と近代国家の形成	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	国際関係の推移と近代産業の成立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	政党政治の展開と大衆文化の形成	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	近代産業の発展と国民生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	両大戦をめぐる国際情勢と日本	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	第二次世界大戦後の日本と世界	戦後政治の動向と国際社会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	現代の日本と世界	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	歴史の追究(日本人の生活と信仰)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	歴史の考察 歴史の追究(世界の中の日本)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本 歴史 B 高等 学校 学習 指導 内容 ～「地理 歴史」～	日本文化の黎明	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	古代国家の形成と東アジア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	古代国家の推移と社会の変化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中世の社会・文化と東アジア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	武家政権の成立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	武家政権の展開と社会の変化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	近世の社会・文化と国際関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	織豊改革と幕藩体制の形成	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	国際環境の変化と幕藩体制の動搖	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	明治維新と立憲体制の成立	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本 歴史 B 高等 学校 学習 指導 内容 ～「地理 歴史」～	国際関係の推移と立憲国家の展開	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	近代産業の発展と近代文化	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	第一次世界大戦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	政党政治の発展と大衆文化の形成	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	第二次世界大戦後の日本と世界	戦後政治の動向と国際社会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

調査票III-（3）
【欄A・重要度】回答数

日本事情

科 目	内 容	文科系													
		社会科学系				人文系				一般教養					
		日本	関係	法 学	経 济	日本	關 係	教 育	学 生	その他の人文学	留 学	教 育	共通教育(文)		
世界と日本の地域構成	(1)(2)(3)～A50…の項	アイエオ…の項目	本票回答数／回答総数	41/93	17/44	8/11	9/33	16/32	6/12	5/8	5/12	8/12	8/10	0/2	0/5
世界と日本の地域構成	日本の位置と領域	日本の位置と領域		34	13	7	6	13	5	3	5	8	8	0	0
世界と日本の地域構成	都道府県の構成と地域区分	都道府県の構成と地域区分		20	5	2	3	11	4	4	3	4	4	0	0
身近な地域	身近な地域	身近な地域		7	1	0	1	2	0	1	1	4	4	0	0
都道府県	都道府県	都道府県		10	3	1	2	4	0	1	3	3	3	0	0
世界の国々	世界の国々	世界の国々		9	3	1	2	4	0	1	3	2	2	0	0
日本事情	日本事情	日本事情		18	6	2	4	7	1	2	4	5	5	0	0
日本事情	人口から見た日本の地域的特色	人口から見た日本の地域的特色		18	4	1	3	9	0	5	4	5	5	0	0
日本事情	資源や産業から見た日本の地域的特色	資源や産業から見た日本の地域的特色		18	8	2	6	8	2	3	3	2	2	0	0
日本事情	生活・文化から見た日本の地域的特色	生活・文化から見た日本の地域的特色		27	8	4	4	12	4	4	4	7	7	0	0
日本事情	地域間の結びつきから見た日本の地域的特色	地域間の結びつきから見た日本の地域的特色		9	1	0	1	7	1	3	3	1	1	0	0
日本事情	様々な特色を関連づけて見た日本	様々な特色を関連づけて見た日本		3	1	0	1	2	1	1	0	0	0	0	0
日本事情	現代に生きる私たちの課題	現代に生きる私たちの課題		6	1	0	1	3	0	1	2	2	2	0	0
日本事情	現代の社会生活と青年	現代の社会生活と青年		11	2	1	1	6	0	4	2	3	3	0	0
日本事情	現代の経済社会と経済活動の在り方	現代の経済社会と経済活動の在り方		21	8	2	6	10	2	4	4	3	3	0	0
日本事情	現代の民主政治と民主社会の倫理	現代の民主政治と民主社会の倫理		21	9	6	3	9	2	3	4	3	3	0	0
日本事情	国際社会の動向と日本の果たすべき役割	国際社会の動向と日本の果たすべき役割		15	7	4	3	6	1	3	2	2	2	0	0
日本事情	日本の大学	日本の大学		12	3	0	3	6	2	1	3	3	3	0	0

調査票III-（3）
【欄A・重要度】割合

日本事情

科目	内容	文科系													
		社会科学系			人文系			日本関係			教育学			留学生教育 共通教育(文)	文(他) 0/5
(1)(2)(3)／A50…の項 目	アイエフオ…の項目	本票回答数／回答総数	41/93	17/44	8/11	9/33	16/32	6/12	5/8	5/12	8/12	8/10	0/2		
日本事情	世界と日本の地域構成	日本の位置と領域	36.56	29.55	63.64	18.18	40.63	41.67	37.5	41.67	66.67	80	0	0	0
	都道府県の構成と地域区分	都道府県の構成と地域区分	21.51	11.36	18.18	9.39	34.38	33.33	50	25	33.33	40	0	0	0
	身近な地域	身近な地域	7.53	2.27	0	3.03	6.25	0	12.5	8.33	33.33	40	0	0	0
	都道府県	都道府県	10.75	6.82	9.09	6.06	12.5	0	12.5	25	25	30	0	0	0
	世界の国々	世界の国々	9.68	6.82	9.09	6.06	12.5	0	12.5	25	16.67	20	0	0	0
	自然環境から見た日本の地域的特色	自然環境から見た日本の地域的特色	19.35	13.64	18.18	12.12	21.88	8.33	25	33.33	41.67	50	0	0	0
	人口から見た日本の地域的特色	人口から見た日本の地域的特色	19.35	9.09	9.09	9.09	28.13	0	62.5	33.33	41.67	50	0	0	0
	資源や産業から見た日本の地域的特色	資源や産業から見た日本の地域的特色	19.35	18.18	18.18	18.18	25	16.67	37.5	25	16.67	20	0	0	0
	生活・文化から見た日本の地域的特色	生活・文化から見た日本の地域的特色	29.03	18.18	36.36	12.12	37.5	33.33	50	33.33	58.33	70	0	0	0
	地域間の結びつきから見た日本の地域的特色	地域間の結びつきから見た日本の地域的特色	9.68	2.27	0	3.03	21.88	8.33	37.5	25	8.33	10	0	0	0
基本項目	様々な特徴を関連づけて見た日本	様々な特徴を関連づけて見た日本	3.23	2.27	0	3.03	6.25	8.33	12.5	0	0	0	0	0	0
	現代に生きる私たちの課題	現代に生きる私たちの課題	6.45	2.27	0	3.03	9.38	0	12.5	16.67	16.67	20	0	0	0
	現代の社会生活と青年	現代の社会生活と青年	11.83	4.55	9.09	3.03	18.75	0	50	16.67	25	30	0	0	0
	現代の経済社会と経済活動の在り方	現代の経済社会と経済活動の在り方	22.58	18.18	18.18	18.18	31.25	16.67	50	33.33	25	30	0	0	0
	現代の民主政治と民主社会の倫理	現代の民主政治と民主社会の倫理	22.58	20.45	54.55	9.09	28.13	16.67	37.5	33.33	25	30	0	0	0
現代社会	国際社会の動向と日本の果すべき役割	国際社会の動向と日本の果すべき役割	16.13	15.91	36.36	9.09	18.75	8.33	37.5	16.67	16.67	20	0	0	0
	日本の大学	日本の大学	12.9	6.82	0	9.09	18.75	16.67	12.5	25	25	30	0	0	0

調査票III-（3）
【欄A・重要度】回答数

日本事情

科 目	内 容	理学系																			
		工学系						理学系													
		電気電子情報系			電気・電子 情報			電／情 機械			環境工 化学工										
(1)(2)(3)～A50…の項	アイエオ…の項目	本票回答数	/回答総数	7/88	6/76	4/43	0/8	3/19	1/16	0/6	2/7	0/3	0/2	0/15	0/9	0/1	0/4	0/2	0/1	0/1	1/3
世界と日本の地域構成	日本の地域構成	日本の位置と領域	4	3	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
地域の規模に応じた調査	都道府県	都道府県の構成と地域区分	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身近な地域	世界の国々	自然環境から見た日本の地域的特色	3	2	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人口から見た日本の地域的特色	資源や産業から見た日本の地域的特色	生活・文化から見た日本の地域的特色	5	5	3	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
様々な面からとらえた日本	地域間の結びつきから見た日本の地域的特色	現代に生きる私たちの課題	1	1	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本 事 情	現代社会	現代の社会生活と青年	2	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
基 本 項 目	現代の社会と人間としての在り方生き方	現代の経済社会と経済活動の在り方	5	4	3	0	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		現代の民主政治と民主社会の倫理	3	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		国際社会の動向と日本の果たすべき役割	2	2	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本の大学		1	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

調査票III-（3）
【欄A・重要度】割合

日本事情

科目	内容	理工系														
		電気電子情報系				工学系				理系						
(1)(2)(3)／A/B/C…の項目	アイエフオ…の項目	本票回答数／回答総数		電気・電子	情報	電／音	機械	環境工	化学生	生命工	工(その他)	数学	物理学	化学	生物学	統計学(理科)
世界と日本の地域構成		日本の位置と領域		7.88	6/76	4/43	0/8	3/19	1/16	0/6	2/7	0/3	0/2	0/15	0/9	0/1
日本の地域構成		都道府県の構成と地域区分		4.55	3.95	2.33	0	0	6.25	0	28.57	0	0	0	0	33.33
地域の規模に応じた調査	身近な地域	0		1.14	1.32	0	0	0	0	0	14.29	0	0	0	0	0
	都道府県	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	世界の国々	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自然環境から見た日本の地域的特色	3.41		2.63	2.33	0	0	6.25	0	14.29	0	0	0	0	0	33.33
日本と比べてみた日本	人口から見た日本の地域的特色	2.27		2.63	2.33	0	0	6.25	0	14.29	0	0	0	0	0	0
	資源や産業から見た日本の地域的特色	5.68		6.58	6.98	0	10.53	6.25	0	28.57	0	0	0	0	0	0
	生活・文化から見た日本の地域的特色	2.27		2.63	4.65	0	5.26	6.25	0	0	0	0	0	0	0	0
	地域間の結びつきから見た日本の地域的特色	1.14		1.32	2.33	0	0	6.25	0	0	0	0	0	0	0	0
現代社会	様々な特徴を関連づけて見た日本	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	現代に生きる私たちの課題	1.14		1.32	2.33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	現代の社会生活と青年	2.27		1.32	2.33	0	5.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	現代の経済社会と経済活動の在り方	5.68		5.26	6.98	0	15.79	0	0	14.29	0	0	0	0	0	33.33
現代社会	現代の民主政治と民主社会の倫理	3.41		2.63	4.65	0	10.53	0	0	0	0	0	0	0	0	33.33
	国際社会の動向と日本の果すべき役割	2.27		2.63	2.33	0	5.26	0	0	14.29	0	0	0	0	0	0
日本の大学		1.14		1.32	2.33	0	5.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0

調査票III-1(3)
【欄B・習得度】回答数

日本事情

科目	内容	文科系												日本関係			教育学			その他の人文学			留学生教育			共通教育(文)			文(他)		
		(1)(2)(3)／A5G…の項目	アイエオ…の項目	本票回答数／回答総数	41/93	17/44	8/11	9/33	16/32	6/12	5/8	5/12	8/12	8/10	0/2	0/5	0/5	0/5	0/5	0/5	0/5	0/5	0/5	0/5	0/5	0/5	0/5	0/5			
世界と日本の地域構成	日本の地域構成	日本の位置と領域		2	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
地域の規模に応じた調査	都道府県の構成と地域区分	都道府県の構成と地域区分		9	3	1	2	3	1	0	2	3	1	0	2	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
身近な地域	都道府県	身近な地域		3	1	0	1	2	0	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
世界の国々	世界の国々	世界の国々		4	2	1	1	1	0	0	0	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0					
日本	日本	自然環境から見た日本の地域的特色		2	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
日本	日本	人口から見た日本の地域的特色		3	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
日本	日本	資源や産業から見た日本の地域的特色		9	5	1	4	2	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
日本	日本	生活・文化から見た日本の地域的特色		6	4	1	3	2	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
日本	日本	地域間の結びつきから見た日本の地域的特色		7	3	0	3	2	0	0	0	0	2	0	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
日本	日本	様々な特徴を関連づけて見た日本		5	1	0	1	2	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
日本	日本	現代に生きる私たちの課題		2	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
日本	日本	現代の社会生活と青年		3	2	0	2	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
日本	日本	現代の経済社会と経済活動の在り方		3	1	0	1	1	0	0	0	0	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
日本	日本	現代の民主政治と民主社会の倫理		3	1	0	1	1	1	1	1	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
日本	日本	国際社会の動向と日本の果すべき役割		5	2	1	1	2	0	0	0	0	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
日本	日本	日本の大学		3	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0					

調査票III-（3）
【欄B・習得度】割合

日本事情

科目	内容	文系系										一般教養		
		社会科学系			人文系			一般教養			文(他)			
(1)(2)(3)/A/B/C…の項目	アイエフオ…の項目	本票回答数/回答総数	41/93	17/44	8/11	9/33	16/32	6/12	5/8	5/12	8/12	8/10	0/2	0/5
世界と日本の地域構成	日本の地域構成	日本の位置と領域		2.15	4.55	9.09	3.03	0	0	0	0	0	0	0
地域の規模に応じた調査	都道府県の構成と地域区分	都道府県の構成と地域区分		9.68	6.82	9.09	6.06	9.38	8.33	0	16.67	25	30	0
身近な地域	都道府県			3.23	2.27	0	3.03	6.25	0	0	16.67	0	0	0
世界の国々	世界の国々			4.3	4.55	9.09	3.03	3.13	0	0	8.33	8.33	10	0
自然環境から見た日本の地域的特色	人口から見た日本の地域的特色	自然環境から見た日本の地域的特色		2.15	2.27	0	3.03	3.13	0	0	8.33	0	0	0
日本	日本	人口から見た日本の地域的特色		3.23	4.55	0	6.06	3.13	0	0	8.33	0	0	0
世界と比べてみた日本	世界と比べてみた日本	資源や産業から見た日本の地域的特色		9.68	11.36	9.09	12.12	6.25	0	0	16.67	16.67	20	0
日本事情	日本事情	生活・文化から見た日本の地域的特色		6.45	9.09	9.09	9.09	6.25	0	0	16.67	16.67	20	0
様々な特徴を関連づけて見た日本	様々な特徴を関連づけて見た日本	地域間の結びつきから見た日本の地域的特色		7.53	6.82	0	9.09	6.25	0	0	16.67	16.67	20	0
現代に生きる私たちの課題	現代に生きる私たちの課題			5.38	2.27	0	3.03	6.25	8.33	0	8.33	0	0	0
現代社会	現代社会	現代の社会生活と青年		2.15	2.27	0	3.03	0	0	0	8.33	10	0	0
現代社会	現代社会	現代の経済社会と経済活動の在り方		3.23	4.55	0	6.06	3.13	0	0	8.33	0	0	0
万	万	現代の民主政治と民主社会の倫理		3.23	2.27	0	3.03	3.13	0	0	8.33	10	0	0
国際社会の動向と日本の果すべき役割	国際社会の動向と日本の果すべき役割			5.38	4.55	9.09	3.03	6.25	0	0	16.67	8.33	10	0
日本の大学	日本の大学			3.23	4.55	0	6.06	0	0	0	8.33	10	0	0

調査票III-（3）
【欄B・習得度】回答数

日本事情

科目	内容	工学系										理学系								
		電気電子情報系					電／情／機械／環境工／化學工／生命工／工(その他)					数学／物理學／化學／生物学／教育學(理科)／共通教育(理)								
(1)(2)(3)/A/G…の項目	アイウエオ…の項目	本票回答数/回答総数		7/88	6/76	4/43	0/8	3/19	1/16	0/6	2/7	0/3	0/2	0/15	0/9	0/1	0/4	0/2	0/1	0/1
世界と日本の地域構成	日本の地域構成	日本の位置と領域	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域の規模に応じた調査	都道府県の構成と地域区分	都道府県の構成と地域区分	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
身近な地域	都道府県	都道府県	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
世界の国々	世界の国々	世界の国々	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本事情	様々な面から見た日本	自然環境から見た日本の地域的特色	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本事情	人口から見た日本の地域的特色	人口から見た日本の地域的特色	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本事情	資源や産業から見た日本の地域的特色	資源や産業から見た日本の地域的特色	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本事情	生活・文化から見た日本の地域的特色	生活・文化から見た日本の地域的特色	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本事情	地域間の結びつきから見た日本の地域的特色	地域間の結びつきから見た日本の地域的特色	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本事情	様々な特徴を関連づけて見た日本	様々な特徴を関連づけて見た日本	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本事情	現代に生きる私たちの課題	現代に生きる私たちの課題	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本事情	現代の社会生活と青年	現代の社会生活と青年	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本事情	現代の経済社会と経済活動の在り方	現代の経済社会と経済活動の在り方	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本事情	現代の民主政治と民主社会の倫理	現代の民主政治と民主社会の倫理	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本事情	国際社会の動向と日本の果すべき役割	国際社会の動向と日本の果すべき役割	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本事情	日本の大学	日本の大学	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

調査票III-（3）
【欄B・習得度】割合

日本事情

科目	内容	工学系										理学系								
		電気電子情報系					電気・電子 情報 電／音			機械 環境工 化学工		生命工 工(その他)		数学 物理学 化学		生物学 教育学(理科) 社会教育(理)				
(1)(2)(3)/A/B/C…の項目	アイエフオ…の項目	本票回答数/回答総数		7/88	6/76	4/43	0/8	3/19	1/16	0/6	2/7	0/3	0/2	0/15	0/9	0/1	0/4	0/2	0/1	0/1
世界と日本の地域構成	日本の地域構成	日本の位置と領域		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
地域の規模に応じた調査	都道府県の構成と地域区分	都道府県の構成と地域区分		1.14	1.32	0	0	0	0	0	0	14.29	0	0	0	0	0	0	0	0
身近な地域	都道府県	都道府県		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
世界の国々	世界の国々	世界の国々		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本事情	様々な面から見た日本	自然環境から見た日本の地域的特色		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本事情	様々な特徴をもつ日本	人口から見た日本の地域的特色		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本事情	日本と比べてみた日本	資源や産業から見た日本の地域的特色		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本事情	日本と比べてみた日本	生活・文化から見た日本の地域的特色		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本事情	日本と比べてみた日本	地域間の結びつきから見た日本の地域的特色		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本事情	現代に生きる私たちの課題	現代に生きる私たちの課題		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本事情	現代社会	現代の社会生活と青年		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本事情	現代社会	現代の経済社会と経済活動の在り方		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本事情	現代社会	現代の民主政治と民主社会の倫理		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日本事情	日本の大学	国際社会の動向と日本の果たすべき役割		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

調査票III-（4）
【欄A・重要度】回答数

数学

科目	内容	文科系						一般教養 留学生教育 共通教育文 件(その他)
		社会科学系	人文系	日本関係 教育学	その他人文学 科	0/12	0/10	
数学	(1)(2)(3)／ABC…の項目	アイウエオ…の項目	本票回答数／回答总数→	27/93	21/44	1/11	20/33	5/32
	方程式と不等式	数と式	実数 式の展開と因数分解	22	18	1	17	4
	一次方程式			22	18	1	17	4
	二次方程式			21	16	0	16	4
	二次関数	二次関数とそのグラフ	二次関数の最大・最小 二次不等式	21	16	0	16	4
	图形と計量	三角比	正弦、余弦、正接 三角比の相互関係	17	14	0	14	3
	高 等 学 校 学 习 指 導 内 容 (「数学」)	三角比と図形	正弦定理、余弦定理 图形の計量（用語・記号）sin,cos,tan	16	13	0	13	3
	式と証明・高次方程式	式と証明	整式の除法、分数式 等式と不等式の証明	15	12	1	11	3
	高次方程式	高次方程式（用語・記号）虚数、判別式、因数定理	17	15	1	14	2	
	图形と方程式	点と直線	点の座標 直線の方程式	16	15	1	14	1
数学	いろいろな関数	円	円の方程式 円と直線	14	13	1	12	0
	三角関数	角の折張	角の折張	12	12	0	12	0
	指数関数	三角関数とその基本的な性質	三角関数の加法定理	16	14	1	13	2
	対数関数	指数関数とその性質	指数関数の加法	13	12	1	11	1
	複素数	複素数の乗法	複素数の乗法	16	15	1	14	1
	微分・積分の考え方	微分の考え方	指数関数（用語・記号）測度法、累乗根、log× 微分係数と導関数 導関数の応用、接線、導数值の増減 不定積分と定積分 面積（用語・記号）極限値、lim	20	17	1	16	2
	極限	数列の極限	数列 $ a_n $ の極限 無限等比級数の和	8	7	1	6	1
	微分法	関数との極限	合成関数と逆関数 関数の極限【用語・記号】収束、発散、∞	9	8	1	7	1
	積分法	導関数	導関数の和・差・積・商の導関数 合成関数の導関数	8	7	1	6	1
	III	導関数の応用	三角関数・指数関数・対数関数の導関数 【用語・記号】自然対数、e、第一次導関数、変曲線	10	10	1	9	0
	積分法	不定積分と定積分	積分とその基本的な性質 簡単な置換積分法、部分積分法 いろいろな積分の積分	8	8	1	7	0
		積分の応用	面積、体積	8	8	1	7	0

調査票III-（4）
【欄A・重要度】割合

数学

科目	内容	文科系						一般教養	文(他)	
		社会科学系		人文系		日本関係				
数学	(1)(2)(3)／ABC…の項目	アイウエオ…の項目		本票回答数／回答総数→		27/93	21/44	1/11	20/33	5/32
	方程式と不等式	数と式	実数	23.66	40.91	9.09	51.52	12.5	0	37.5
	一次方程式	式の展開と因数分解		23.66	40.91	9.09	51.52	12.5	0	37.5
	二次方程式			22.58	36.36	0	48.48	12.5	0	37.5
	二次関数	二次関数とそのグラフ		22.58	36.36	0	48.48	12.5	0	37.5
	二次関数	二次関数の値の変化		24.73	40.91	9.09	51.52	12.5	0	37.5
	二次不等式	二次不等式		22.58	38.64	9.09	48.48	12.5	0	37.5
	三角比	正弦、余弦、正接		18.28	31.82	0	42.42	9.38	0	37.5
	图形と計量	三角比の相互関係		17.2	29.55	0	39.39	9.38	0	37.5
	三角比と図形	正弦定理、余弦定理		16.13	27.27	9.09	33.33	9.38	0	37.5
高等数学	式と証明、高次方程式	图形の計量【用語・記号】sin,cos,tan		16.13	27.27	9.09	33.33	9.38	0	37.5
	式と証明	整式の除法、分数式		18.28	34.09	9.09	42.42	6.25	0	12.5
	高次方程式	整式と不等式の証明		17.2	34.09	9.09	42.42	3.13	0	8.33
	高次方程式	標準数と二次方程式【用語・記号】虚数i、判別式、因数定理		15.05	29.55	9.09	36.36	3.13	0	8.33
	点と直線	高次方程式【用語・記号】虚数i、判別式、因数定理		12.9	25	9.09	30.3	3.13	0	8.33
	直線の方程式	点の座標		19.35	38.64	9.09	48.48	3.13	0	12.5
	円の方程式	直線の方程式		20.43	38.64	9.09	48.48	6.25	0	12.5
	円	円と直線		16.13	34.09	9.09	42.42	0	0	0
	三角関数	角の加減		16.13	31.82	9.09	39.39	3.13	0	8.33
	いろいろな関数	三角関数とその基本的な性質		12.9	27.27	9.09	36.36	0	0	0
数学指導内 容（「数学」）	指数関数	三角関数の加法定理		17.2	31.82	9.09	39.39	6.25	0	12.5
	指數関数と対数関数	三角関数の加法定理		13.98	27.27	9.09	33.33	3.13	0	12.5
	指數関数と対数関数	指數関数		17.2	34.09	9.09	42.42	3.13	0	12.5
	指數関数	指數関数【用語・記号】複素数、log,exp		22.58	40.91	9.09	51.52	6.25	0	12.5
	微分・積分の考え方	指數関数と対数関数		21.51	38.64	9.09	48.48	6.25	0	12.5
	微分・積分の考え方	導関数の応用、接線、関数値の増減		24.73	47.73	9.09	60.61	3.13	0	12.5
	微分・積分の考え方	不定積分と定積分		24.73	47.73	9.09	60.61	3.13	0	12.5
	微分・積分の考え方	面積【用語・記号】極限値、lim		20.43	43.18	9.09	54.55	0	0	0
	数列	面積【用語・記号】極限値		18.28	38.64	9.09	48.48	0	0	0
	極限	数列の極限		8.6	15.91	9.09	18.18	3.13	0	12.5
数学Ⅲ	導関数	無限等比級数の和		8.6	15.91	9.09	18.18	3.13	0	12.5
	導関数	合成関数と逆関数		9.68	18.18	9.09	21.21	3.13	0	12.5
	導関数	関数の極限【用語・記号】収束、発散、∞		8.6	15.91	9.09	18.18	3.13	0	12.5
	導関数	関数の和・差・積・商の導関数		10.75	22.73	9.09	27.27	0	0	0
	導関数	合成関数の導関数		9.68	20.45	9.09	24.24	0	0	0
数学Ⅲ	導関数の応用	三角関数・指數関数・対数関数の導関数		9.68	20.45	9.09	24.24	0	0	0
	導関数の応用	接線、関数値の増減、速度、加速度		10.75	20.45	9.09	24.24	3.13	0	12.5
	導関数の応用	自然対数e、e、第二次導関数、変曲線		8.6	18.18	9.09	21.21	0	0	0
積分法	不定積分と定積分	単純な置換積分法、部分積分法		8.6	18.18	9.09	21.21	0	0	0
	積分法	いろいろな関数の積分		8.6	18.18	9.09	21.21	0	0	0
積分法	積分の応用	面積、体積		8.6	18.18	9.09	21.21	0	0	0

調査票III-（4）
【欄A・重要度】回答数

数学

科目	内容	文科系						一般教養	文(その他)	
		社会科学系		人文系		日本関係				
高等學校学習指導導入	(1)(2)(3)／ABC…の項目	アイウエオ…の項目	本票回答数／回答总数→	27/93	21/44	1/11	20/33	5/32	0/12	0/12
	平面图形	三角形の性質		10	10	0	10	0	0	0
	集合と論理	円の性質		10	10	0	10	0	0	0
	A場合の数と確率	集合と要素の個数		14	13	1	12	1	0	0
	独立な試行の確率	命題と証明		13	12	1	11	1	0	0
	順列／組合せ	順列と排列の基本的な法則		14	12	1	11	2	0	0
	等差数列と等比数列	独立な試行の確率		14	12	1	11	2	0	0
	数列とその和	等差数列と等比数列		12	12	1	11	0	0	0
	漸化式と数列	漸化式と数列		11	11	1	10	0	0	0
	数列の整理	漸化式と数学的帰納法【用語・記号】Σ		10	10	1	9	0	0	0
（「数学」）	ベクトル	数学的帰納法【用語・記号】Σ		11	11	1	10	0	0	0
	空間座標とベクトル	ベクトルの内積		11	11	1	10	0	0	0
	統計とコンピュータ	空間座標とベクトル		9	9	1	8	0	0	0
	数値計算とコンピュータ	統計の整理		11	10	1	9	1	0	0
	行列とその応用	資料の分析		12	10	1	9	2	1	0
	行列の応用	代数値、分散、標準偏差、相関係数		6	6	1	5	0	0	0
	点の移動（用語・記号）A-1	簡単なプログラム		8	7	1	6	1	0	0
	確率分布	統計の計算		6	6	1	5	0	0	0
	二次曲線	行列とその演算、和、差、零数倍		10	9	1	7	1	0	0
	式と曲線	行列の積と逆行列		10	8	1	7	1	0	0
C統計処理	確率分布	連立一次方程式		10	7	1	6	2	0	0
	確率分布	点の移動（用語・記号）A-1		7	6	1	5	1	0	0
	確率分布	拡物線		8	8	1	7	0	0	0
	確率分布	梢円と双曲线		5	5	1	4	0	0	0
C統計処理	媒介変数表示と極座標	由縁の媒介変数表示		2	2	0	2	0	0	0
	確率分布	極座標と極方程式【用語・記号】焦点、準線		2	2	0	2	0	0	0
	確率分布	確率変数と確率分布		6	5	0	5	1	0	0
	確率分布	二項分布【用語・記号】条件つき確率、平均、分散、標準偏差		11	8	1	7	3	2	1
C統計処理	正規分布	連続型確率変数		8	6	1	5	2	0	0
	正規分布	正規分布		10	7	1	6	3	2	1
	統計的な推測	統計的な推測の考え方【用語・記号】推定		10	7	1	6	3	2	1

調査票III-（4）
【欄A・重要度】割合

数学

科目	内容	文科系						一般教養	留学生教育共通教育文(その他)	
		社会科学系		人文系		日本関係				
高等學校数学指導導導	(1)(2)(3)/ABC…の項目	アイウエオ…の項目	本票回答数／回答総数→	27/93	21/44	1/11	20/33	5/32	0/12	2/12
	平面图形	三角形の性質	円の性質	10.75	22.73	0	30.3	0	0	0
	集合と論理	集合と要素の個数	命題と証明	10.75	22.73	0	30.3	0	0	0
	A場合の数と確率	順列／組合せ 独立事件と確率 独立な試行と確率	無限等比級数と等差級数 いろいろな数列	15.05	29.55	9.09	36.36	3.13	0	0
	数列	漸化式と数列 数学的帰納法【用語・記号】P、(C)、階乗、n、余事象、排反	階乗と組合せ	15.05	27.27	9.09	33.33	3.13	0	0
	数学ベクトル	ベクトルとその和 平面ベクトル	空間座標とベクトル 空間座標、空間におけるベクトル	15.05	27.27	9.09	33.33	6.25	0	0
	統計とコンピュータ	度数分布表、相関図 資料の整理	度数分布表、相関係数 資料の分析	11.83	25	9.09	33.33	0	0	0
	数値計算とコンピュータ	簡単なプログラム いろいろなアルゴリズム	繰り返し値の計算 行列とその演算、和、差、零数倍	11.83	25	9.09	30.3	0	0	0
	内容	行列とその応用	点の移動【用語・記号】A-1 行列の応用	10.75	22.73	9.09	27.27	3.13	0	0
	(「数学」)	二次曲線 媒介変数表示と極座標 確率の計算	拡物線 標準形と双曲線 連続型確率変数 正規分布	10.75	15.91	9.09	18.18	6.25	0	0
C確率分布	確率分布	確率変数と確率分布 二項分布【用語・記号】条件つき確率、平均、分散、標準偏差	二項分布【用語・記号】焦点、準線 確率分布	7.53	13.64	9.09	15.15	3.13	0	0
統計処理	統計的推測	正規分布 長集団と標本 統計的な推測	統計的な推測の考え方【用語・記号】推定	8.6	15.91	9.09	18.18	3.13	0	0

調査票III-（4）
【欄A・重要度】回答数

数学

科目	内容	理工系												
		電気電子情報系				工学系				理学系				
(1)(2)(3)～AC…の項目	アイウエオ…の項目	本票回答数／回答総数→												
数学	方程式と不等式	数と式	76/88	65/76	40/43	8.8	17/19	15/16	5.6	7/7	2/3	0.2	11/15	8/9
	一次方程式	式の展開と因数分解	74	63	38	8	17	13	5	7	2	0	11	8
	二次方程式	二次関数	76	65	40	8	17	15	5	7	2	0	11	8
	二次関数	二次関数とそのグラフ	69	58	35	7	15	13	5	7	2	0	9	8
	二次関数	二次関数の最大・最小	72	61	37	7	15	15	5	7	2	0	10	8
	二次不等式	二次不等式	71	60	36	7	16	13	5	7	2	0	11	8
	三角比	正弦、余弦、正接	74	63	39	8	16	15	5	7	2	0	10	8
	图形と計量	三角比の相互関係	70	59	36	7	16	13	5	7	2	0	9	8
	三角比と図形	正弦定理、余弦定理	70	59	36	7	15	14	5	7	2	0	9	8
	图形の計量 (用語・記号) sin, cos, tan	图形の計量 (用語・記号)	70	59	36	7	16	13	5	6	2	0	10	8
高等数学	式と証明	整式の除法、分数式	69	59	37	7	16	14	5	6	2	0	9	7
	式と証明	等式と不等式の証明	67	57	36	7	16	13	5	5	2	0	9	7
	高次方程式	標準形と二次方程式	69	59	37	8	15	14	5	6	2	0	9	7
	高次方程式	高次方程式 (用語・記号) 虚数、判別式、因数定理	60	62	32	6	13	5	6	1	0	9	5	1
	点と直線	点の座標	71	61	37	7	17	13	5	7	2	0	10	8
	直線の方程式	直線の方程式	72	62	37	7	17	13	5	7	2	0	11	9
	円の方程式	円の方程式	70	60	37	7	17	13	5	7	2	0	9	7
	円	円と直線	69	59	36	7	17	12	5	7	2	0	9	7
	角の折張	角の折張	67	56	33	6	14	13	5	6	1	0	9	5
	三角関数	三角関数とその基本的な性質	72	61	37	8	15	14	5	7	2	0	10	7
数学Ⅱ	いろいろな関数	三角関数の加法定理	68	57	35	8	13	14	5	6	2	0	9	8
	指数関数	指數関数	71	60	36	7	15	14	5	6	2	0	11	7
	対数関数	対数関数	73	62	38	8	17	13	5	6	2	0	11	8
	複素数	複素数 (用語・記号) 虚数、累乗根	70	59	37	7	17	13	5	5	2	0	10	8
	複素数	複素係数と導関数	74	63	38	7	17	14	5	7	2	0	11	8
	複素数	導関数の応用、接線、関数値の増減	74	63	38	7	17	14	5	7	2	0	11	8
	複素数	不定積分と定積分	72	61	37	6	17	14	5	7	1	0	11	8
	複素数	面積 (用語・記号) 極限値、lim	72	61	37	6	17	14	5	7	1	0	11	8
	数列	数列の極限	61	54	34	7	13	14	5	4	2	0	9	5
	極限	無限等比級数の和	59	52	34	7	13	14	5	4	1	0	8	5
数学Ⅲ	微分法	合成関数と逆関数	59	51	32	6	13	13	5	4	2	0	8	6
	微分法	関数の極限 (用語・記号) 收束、発散, ∞	60	52	33	7	13	13	5	4	1	0	9	6
	微分法	関数の和・差・積・商の導関数	67	58	36	7	14	15	5	2	0	10	7	1
	導関数	合成関数の導関数	65	56	34	6	13	15	5	5	2	0	10	7
	導関数	三角関数・指數関数・対数関数の導関数	67	58	35	8	13	14	5	5	2	0	11	7
	導関数	接線、関数値の増減、速度、加速度	68	59	35	7	13	15	5	6	2	0	11	7
	導関数	導関数の応用	65	56	35	7	13	15	5	5	1	0	10	7
数学	積分法	積分とその基本的な性質	63	55	34	7	13	14	5	5	1	0	10	6
	積分法	簡単な置換積分法、部分積分法	62	54	33	7	12	14	5	5	1	0	10	6
	積分法	いろいろな関数の積分	65	56	33	6	13	14	5	5	2	0	11	7
数学	積分の応用	面積、体積	65	56	33	6	13	14	5	5	2	0	11	7

調査票III-（4）
【欄A・重要度】割合

数学

科目		内容		理系												理学系						
科番	(1)(2)(3)／ABC…の項目	工学系												理学系								
		電気電子情報系				機械電／機				環境工		生命工		工(その他の)		数学	物理學	化學	生物學	教育學(理)		
I 高等数学	方程式と不等式	数と式	本回答数／回答総数→	76/88	65/76	40/43	8.8	17/9	15/16	5.6	7/7	2/3	0.2	11/15	8/9	1/1	4/4	2/2	1/1	9/1	3/3	
	一次方程式	式の展開と因数分解		84.09	82.89	89.37	100	89.47	81.25	83.33	100	66.67	0	73.33	88.89	100	100	100	0	100		
	二次方程式	二次方程式		86.36	85.53	92.02	100	89.47	93.75	83.33	100	66.67	0	73.33	88.89	100	100	100	0	100		
	二次関数	二次関数とそのグラフ		78.41	76.32	81.4	87.5	78.95	81.25	83.33	100	66.67	0	60	88.89	100	100	100	0	100		
	三角比	二次関数の値の変化		81.82	80.26	86.05	87.5	84.21	81.25	83.33	100	66.67	0	66.67	88.89	100	100	100	0	100		
	图形と計量	二次不等式		85.23	84.21	93.02	100	89.47	93.75	83.33	100	66.67	0	66.67	88.89	100	100	100	0	100		
	高次方程式	正弦、余弦、正接		80.68	78.95	83.72	87.5	84.21	81.25	83.33	100	66.67	0	66.67	88.89	100	100	100	0	100		
	式と証明、高次方程式	正弦の定理、余弦定理		84.09	82.89	90.7	100	84.21	93.75	83.33	100	66.67	0	66.67	88.89	100	100	100	0	100		
	图形と方程式	正角比の相互関係		79.55	77.63	83.72	87.5	84.21	81.25	83.33	100	66.67	0	60	88.89	100	100	100	0	100		
	点と直線	图形の量と二次方程式		79.55	77.63	83.72	87.5	84.21	81.25	83.33	100	66.67	0	60	88.89	100	100	100	0	100		
II 微分・積分の考え方	直線の方程式	直線の方程式と二次方程式		78.41	77.63	86.05	100	78.95	81.25	83.33	100	66.67	0	60	66.67	88.89	100	100	100	0	100	
	円の方程式	標準形と二次方程式		76.14	75	83.72	87.5	84.21	81.25	83.33	100	66.67	0	60	77.78	100	100	100	0	100		
	円	標準形と二次方程式の証明		78.41	77.63	86.05	100	78.95	81.25	83.33	100	66.67	0	60	77.78	100	100	100	0	100		
	三角関数	高次方程式の解法		66.18	66.42	74.42	75	68.95	81.25	83.33	100	66.67	0	53.33	55.56	100	50	50	50	100		
	点と直線	高次方程式の解法		80.68	80.05	87.5	84.21	81.25	83.33	100	66.67	0	66.67	77.78	100	100	100	0	100			
	いろいろな関数	直線の方程式		81.82	81.58	86.05	87.5	89.47	81.25	83.33	100	66.67	0	73.33	77.78	100	100	100	0	100		
	指數関数	円の方程式		79.55	78.95	86.05	87.5	89.47	81.25	83.33	100	66.67	0	60	77.78	100	100	100	0	100		
	微分・積分の考え方	円と直線		78.41	77.63	83.72	87.5	89.47	75	83.33	100	66.67	0	60	77.78	100	100	100	0	100		
	数	角の加減とその基本的な性質		76.14	73.66	76.74	75	73.66	81.25	83.33	100	66.67	0	60	88.89	100	100	100	0	100		
	三角関数	三角関数とその基本的な性質		81.82	80.26	86.05	100	78.95	81.25	83.33	100	66.67	0	66.67	77.78	100	100	100	0	100		
III 微分法	いろいろな関数	三角関数の加法定理		77.27	75	81.4	100	68.42	87.5	83.33	85.71	66.67	0	60	88.89	100	100	100	0	100		
	指數関数	指數関数		80.68	78.95	83.72	87.5	78.95	87.5	83.33	100	66.67	0	73.33	88.89	100	100	100	0	100		
	微分	指數関数		82.95	81.58	88.37	100	89.47	81.25	83.33	85.71	66.67	0	73.33	88.89	100	100	100	0	100		
	微分	指数関数		79.55	77.63	86.05	97.5	89.47	81.25	83.33	100	66.67	0	60	77.78	100	100	100	0	100		
	微分	対数関数		84.09	82.89	88.37	87.5	89.47	87.5	83.33	100	66.67	0	73.33	88.89	100	100	100	0	100		
	微分	対数関数		81.82	80.26	86.05	75	89.47	87.5	83.33	100	66.67	0	73.33	88.89	100	100	100	0	100		
	微分	対数関数		81.82	80.26	86.05	75	89.47	87.5	83.33	100	66.67	0	73.33	88.89	100	100	100	0	100		
	微分	対数関数		69.32	71.05	79.07	87.5	68.42	87.5	83.33	57.14	66.67	0	60	55.56	100	75	0	100	0	66.67	
	微分	無限等比級数の和		67.05	68.42	79.07	87.5	68.42	87.5	83.33	57.14	66.67	0	53.33	55.56	100	75	0	100	0	66.67	
	微分	無限等比級数と逆関数		67.05	67.11	74.42	75	68.42	81.25	83.33	57.14	66.67	0	53.33	66.67	100	75	50	100	0	66.67	
	微分	関数の極限		68.18	68.42	76.74	87.5	68.42	81.25	83.33	57.14	66.67	0	60	66.67	100	75	50	100	0	66.67	
IV 導関数	導関数	導関数の導関数		76.14	76.32	83.72	87.5	73.68	93.75	83.33	71.43	66.67	0	66.67	77.78	100	75	100	100	0	66.67	
	導関数	導関数の導関数の導関数		76.14	76.32	81.4	87.5	68.42	93.75	83.33	71.43	66.67	0	66.67	77.78	100	75	100	100	0	66.67	
	導関数	導関数の導関数の導関数の導関数		77.27	77.63	81.4	87.5	68.42	93.75	83.33	71.43	66.67	0	66.67	77.78	100	75	100	100	0	66.67	
	導関数	導関数の導関数の導関数の導関数の導関数		73.86	73.68	79.07	75	68.42	93.75	83.33	71.43	66.67	0	66.67	77.78	100	75	100	100	0	66.67	
	導関数	導関数の導関数の導関数の導関数の導関数の導関数		70.45	71.05	76.74	87.5	63.16	87.5	83.33	71.43	33.33	0	66.67	66.67	100	75	50	100	0	66.67	
V 積分法	積分法	面積と定積分		73.86	73.68	76.74	75	68.42	87.5	83.33	71.43	66.67	0	73.33	77.78	100	75	100	0	100	0	66.67
	積分法	面積の応用		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

調査票III-（4）
【欄A・重要度】回答数

数学

科目	内容	理工系										理学系									
		電気電子情報系				工学系				生命工工(その他)		数学		物理学		化学		生物学		教育学	
(1)(2)(3)～AC…の項目		アイウエオ…の項目		本票回答数／回答总数→		電気・電子情報		機械		生命工工(その他)		数学		物理学		化学		生物学		教育学	
高等 学校 数学 学習 指導 導 内 容 （「数学」）	平面图形	56	49	31	6	14	11	5	4	1	0	8	5	1	3	0	1	0	1	0	2
	円の性質	56	49	31	6	14	11	5	4	1	0	8	5	1	3	0	1	0	1	0	2
	集合と論理	51	44	27	5	12	10	5	4	1	0	7	5	1	3	0	1	0	1	0	2
	命題と証明	51	44	27	5	13	9	5	4	1	0	7	5	1	3	0	1	0	1	0	2
	順列／組合せ	58	51	33	7	14	12	5	4	1	0	8	5	1	3	0	1	0	1	0	2
	独立な試行確率	57	50	31	6	13	12	5	5	1	0	8	5	1	3	0	1	0	1	0	2
	場合の数と確率	53	46	28	5	13	10	5	4	1	0	8	5	1	3	0	1	0	1	0	2
	数列とその和	61	53	33	7	14	12	5	5	1	0	9	6	1	3	1	1	0	1	0	2
	数列いろいろな数列	58	50	31	6	13	12	5	5	1	0	8	6	1	3	1	1	0	1	0	2
	漸化式と数学的帰納法	61	53	33	6	14	13	5	5	1	0	9	6	1	3	1	1	0	1	0	2
高等 学校 数学 ベクトル 学習 指導 導 内 容 （「数学」）	数学的帰納法【用語・記号】Σ	60	52	32	5	14	13	5	5	1	0	9	6	1	3	1	1	0	1	0	2
	ベクトルとその演算	66	57	37	8	14	15	5	5	1	0	9	7	1	3	2	1	0	1	0	2
	平面上のベクトル	65	56	36	8	14	14	5	5	1	0	9	7	1	3	2	1	0	1	0	2
	空間座標とベクトル	59	50	31	6	12	13	5	5	1	0	8	7	1	3	2	1	0	1	0	2
	空間座標、空間におけるベクトル	50	43	24	6	10	8	5	5	1	0	9	5	1	3	0	1	0	1	0	2
	資料の整理	50	43	24	5	11	8	5	5	1	0	8	5	1	3	0	1	0	1	0	2
	資料の分析	45	39	22	5	9	8	4	4	1	0	8	4	1	2	0	1	0	1	0	2
	簡単なプログラム	40	34	19	5	7	7	4	4	0	0	7	4	1	2	0	1	0	1	0	2
	統計的アルゴリズム	41	35	21	5	8	8	4	4	0	0	6	4	1	2	0	1	0	1	0	2
	行列とその演算	64	56	35	7	14	14	5	6	1	0	9	6	1	2	1	2	1	0	1	2
高等 学校 数学 統計 指導 導 内 容 （「数学」）	行列の積と逆行列	62	55	34	6	14	14	5	6	1	0	9	6	1	2	1	0	1	0	1	2
	連立一次方程式	59	52	34	6	14	14	4	5	1	0	8	6	1	2	1	0	1	0	1	2
	点の移動（用語・記号）A-1	56	49	31	5	13	13	4	5	1	0	8	6	1	2	1	0	1	0	1	2
	拡物線	61	53	33	7	12	14	5	5	1	0	9	6	1	2	1	0	1	0	1	2
	二次曲線	59	51	31	6	12	13	5	5	1	0	9	6	1	2	1	0	1	0	1	2
	媒介変数表示と極座標	54	47	29	6	11	5	4	1	0	8	5	1	2	1	1	0	1	0	1	2
	極座標と極方程式【用語・記号】焦点、準線	53	46	28	6	12	10	5	4	1	0	8	5	1	2	1	1	0	1	0	2
	確率の計算	50	45	25	5	10	10	5	6	1	0	8	4	1	2	0	1	0	1	0	2
	確率分布	53	46	28	6	12	10	4	6	1	0	7	5	1	2	1	1	0	1	0	2
	二項分布【用語・記号】条件つき確率、平均、分散、標準偏差	51	44	26	6	12	8	4	6	1	0	7	5	1	2	1	1	0	1	0	2
高等 学校 統計 指導 導 内 容 （「統計」）	連続型確率変数	42	37	20	5	8	7	4	6	1	0	6	4	1	2	0	1	0	1	0	1
	正規分布	43	38	20	5	8	7	5	6	1	0	6	4	1	2	0	1	0	1	0	1
	統計的な推測	41	37	21	5	9	7	4	5	1	0	6	3	0	2	0	1	0	1	0	2
高等 学校 統計 指導 導 内 容 （「統計」）	正規回帰分析	44	39	22	5	9	8	5	5	1	0	6	3	0	2	0	1	0	1	0	2

調査票III-（4）
【欄A・重要度】割合

数学

科目	内容	理工系												理学系														
		電気電子情報系				工学系				理学系				数学			物理			化学			生物学			教育学(理科)		
		電気電子	情報	機械	電／機	機械	環境工	化学生	生命工	工(その他の)	11/15	8/9	1/1	4/4	2/2	1/1	9/1	3/3										
高等 学校 数学	(1)(2)(3)／ABC…の項目	本票回答数／回答総数→																										
	平面图形	76/88	65/76	40/43	8/8	17/9	15/16	5/6	7/7	2/3	0/2	11/15	8/9	1/1	4/4	2/2	1/1	9/1	3/3									
	三角形の性質	63.64	64.47	72.09	75	73.68	68.75	83.33	57.14	33.33	0	53.33	55.56	100	75	0	100	0	66.67									
	円の性質	63.64	64.47	72.09	75	73.68	68.75	83.33	57.14	33.33	0	53.33	55.56	100	75	0	100	0	66.67									
	集合と要素の個数	57.95	57.89	62.19	62.5	63.16	62.5	83.33	57.14	33.33	0	46.67	55.56	100	75	0	100	0	66.67									
	命題と証明	57.95	57.89	62.79	62.5	68.42	58.25	83.33	57.14	33.33	0	46.67	55.56	100	75	0	100	0	66.67									
	順序と組合せ	65.91	67.11	76.74	87.5	73.68	75	83.33	57.14	33.33	0	53.33	55.56	100	75	0	100	0	66.67									
	並半で2乗とPn/n法	64.77	65.79	72.09	75	68.42	62.5	83.33	57.14	33.33	0	53.33	55.56	100	75	0	100	0	66.67									
	独立性試行と確率	60/23	60/53	65/12	62.5	68.42	62.5	83.33	57.14	33.33	0	53.33	55.56	100	75	0	100	0	66.67									
	等差数列と等比数列	69.32	69.74	76.74	87.5	73.68	75	83.33	71.43	33.33	0	60	68.67	100	75	50	100	0	66.67									
高等 学校 数学	数列とその和	65.91	66.79	72.09	75	68.42	75	83.33	71.43	33.33	0	53.33	66.67	100	75	50	100	0	66.67									
	漸化式と数列	69.32	69.74	76.74	75	73.68	81.25	83.33	71.43	33.33	0	60	68.67	100	75	50	100	0	66.67									
	漸化式と数学的帰納法	68.18	68.42	74.42	62.5	73.68	81.25	83.33	71.43	33.33	0	60	68.67	100	75	50	100	0	66.67									
	数学的帰納法【用語・記号】P、(C、階乗、n、余事象、排反	75	86.05	100	73.68	93.75	83.33	71.43	33.33	0	60	77.78	100	75	100	0	100	0	66.67									
	ベクトルとの演算	73.86	73.68	83.72	100	73.68	87.5	83.33	71.43	33.33	0	60	77.78	100	75	100	0	100	0	66.67								
	ベクトルの内積	67.05	65.79	72.09	75	63.16	81.25	83.33	71.43	33.33	0	53.33	66.67	100	75	50	100	0	66.67									
	空間座標とベクトル	56.62	56.56	56.81	75	52.83	50	83.33	71.43	33.33	0	53.33	55.56	100	75	50	100	0	66.67									
	度数分布と相関図	56.82	56.58	55.81	62.5	57.89	50	83.33	71.43	33.33	0	53.33	55.56	100	75	50	100	0	66.67									
	相関係数、分散、標準偏差、相関係数	51.14	51.32	51.16	62.5	47.37	50	66.67	57.14	33.33	0	53.33	44.44	100	50	0	100	0	66.67									
	簡単なプログラム	45.45	44.74	44.19	62.5	36.84	43.75	66.67	57.14	0	0	46.67	44.44	100	50	0	100	0	66.67									
高等 学校 数学	整数の計算	46.59	46.05	48.84	62.5	42.11	50	66.67	57.14	0	0	40	44.44	100	50	0	100	0	66.67									
	近似値のアルゴリズム	72.73	73.66	81.4	87.5	73.68	87.5	83.33	85.71	33.33	0	53.33	55.56	100	75	0	100	0	66.67									
	行列とその演算、和、差、零數倍	70.45	72.37	79.07	75	73.68	87.5	83.33	85.71	33.33	0	60	68.67	100	50	100	0	33.33										
	行列の積と逆行列	67.05	68.42	79.07	75	73.68	87.5	83.33	85.71	33.33	0	53.33	66.67	100	50	100	0	33.33										
	連立一次方程式	63.64	64.47	72.09	62.5	68.42	81.25	66.67	71.43	33.33	0	53.33	66.67	100	50	100	0	33.33										
	点の移動 (用語・記号)A-1	69.32	69.74	76.74	87.5	63.16	87.5	83.33	71.43	33.33	0	60	68.67	100	50	100	0	66.67										
	二次曲線	67.05	67.11	72.09	75	63.16	81.25	83.33	71.43	33.33	0	60	68.67	100	50	100	0	66.67										
	媒介変数表示と極座標	61.36	61.84	67.44	75	63.16	68.75	83.33	57.14	33.33	0	53.33	55.56	100	50	100	0	66.67										
	極座標と極方程式【用語・記号】焦点、準線	60/23	60/53	65/12	75	63.16	62.5	83.33	57.14	33.33	0	53.33	55.56	100	50	100	0	66.67										
	確率の計算	56.82	59.21	58.14	62.5	52.63	62.5	83.33	85.71	33.33	0	53.33	44.44	100	50	0	100	0	33.33									
高等 学校 数学	確率分布	60/23	60/53	65/12	75	63.16	62.5	66.67	85.71	33.33	0	46.67	55.56	100	50	100	0	66.67										
	二項分布と確率変数	57.95	57.89	60.47	75	63.16	81.25	83.33	71.43	33.33	0	46.67	55.56	100	50	100	0	66.67										
	正規分布	47.73	48.88	46.51	62.5	42.11	43.75	66.67	85.71	33.33	0	40	44.44	100	50	0	100	0	33.33									
	統計的な推測	48.86	50	46.51	62.5	42.11	43.75	63.33	85.71	33.33	0	40	44.44	100	50	0	100	0	33.33									
C	統計的推測	46.59	48.88	48.84	62.5	47.37	43.75	66.67	71.43	33.33	0	33.33	0	40	33.33	0	40	33.33	0	66.67								
	統計的推測の考え方【用語・記号】推定	50	51.32	51.16	62.5	47.37	50	83.33	71.43	33.33	0	40	33.33	0	50	0	100	0	66.67									

調査票III-（4）
【欄B・習得度】回答数

数学

科目	内容	文科系						一般教養	留学生教育 共通教育文 文(その他)
		社会科学系	人文系	日本関係	教育学	その他人文学	留学生教育 共通教育文 文(その他)		
高等學校 學習指導 内容 (「数学」)	(1)(2)(3)／ABC…の項目 アイウエオ…の項目	本票回答数／回答総数 →	27/93	21/44	1/11	20/33	5/32	0/12	3/8 2/12 0/10 0/2
	方程式と不等式	数と式 式の展開と因数分解	1 1 1	0 0 0	0 0 0	0 0 0	1 1 1	0 0 0	0 0 0
	一次方程式		2 2 2	0 0 0	0 0 0	0 0 0	1 1 1	0 0 0	0 0 0
	二次方程式	二次関数とそのグラフ 二次関数の値の変化	2 2 1	0 0 0	0 0 0	0 0 0	1 1 1	0 0 0	0 0 0
	二次関数	二次不等式	1	0	0	0	0	0	0
	三角比	正弦、余弦、正接	1	0	0	0	0	0	0
	图形と計量	三角比の相互関係 正弦定理、余弦定理 图形の計量【用語・記号】sin,cos,tan	1 1 2	0 0 1	0 0 0	0 0 1	0 0 1	0 0 0	0 0 0
	式と証明、高次方程式	整式の除法、分数式 等式と不等式の証明	1 1 1	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 1	0 0 0	0 0 0
	高次方程式	標準形と二式の方程式【用語・記号】虚数、判別式、因数定理 高次方程式【用語・記号】虚数、判別式、因数定理	3 2 2	1 1 1	1 1 1	0 0 0	0 0 1	0 0 0	0 0 0
	图形と方程式	点と直線 直線の方程式 円の方程式	1 1 1	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 1	0 0 0	0 0 0
数学	いろいろな関数	円と直線 角の扒張 三角関数	1 1 1 1 1	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0
	指数関数と対数関数	三角関数とその基本的な性質 三角関数の加法定理 指数関数と対数関数	1 1 1 2	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0
	微分・積分の考え方	指数関数【用語・記号】対数関数、累乗根、logex 対数関数と対数関数 導関数の応用、接線、関数値の増減 不定積分と定積分 面積【用語・記号】極限値、lim	2 2 3 3 2	0 0 1 1 1	0 0 0 0 0	0 0 1 1 1	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0
	極限	数列の極限 無限等比級数の和 関数とその極限	2 2 2	1 1 0	0 0 1	0 0 1	0 0 1	0 0 0	0 0 0
	微分法	合成関数と逆関数 関数値の極限【用語・記号】収束、発散、∞	2 2 2	1 1 1	0 0 1	0 0 1	0 0 1	0 0 0	0 0 0
	積分法	導関数 導関数の応用 不定積分と定積分 積分の応用	2 2 3 2	1 1 1 1	0 0 1 0	0 0 1 1	0 0 1 1	0 0 0 0	0 0 0 0
	III	導関数 導関数の応用 不定積分と定積分 積分法	2 2 2 2	1 1 1 1	0 0 1 0	0 0 1 1	0 0 1 1	0 0 0 0	0 0 0 0

調査票III-（4）
【欄B・習得度】割合

数学

科目	内容	文科系						一般教養	文(その他)
		社会科学系		人文系		日本関係			
数学	(1)(2)(3)／ABC…の項目	アイウエオ…の項目		本票回答数／回答総数→		27/93	21/44	1/11	20/33
	実数	0	0	0	0	3.13	0	0	0
	式の展開と因数分解	1.08	0	0	0	3.13	0	0	0
	一次方程式	1.08	0	0	0	3.13	0	0	0
	二次方程式	2.15	0	0	0	3.13	0	0	0
	二次関数とそのグラフ	2.15	0	0	0	3.13	0	0	0
	二次関数の最大・最小	2.15	0	0	0	3.13	0	0	0
	一次不等式	1.08	0	0	0	3.13	0	0	0
	正弦、余弦、正接	1.08	0	0	0	3.13	0	0	0
	三角比	1.08	0	0	0	3.13	0	0	0
高等数学	直角定理、余弦定理	1.08	0	0	0	3.13	0	0	0
	图形の計量【用語・記号】sin,cos,tan	2.15	2.27	0	3.03	3.13	0	0	0
	整式の除法、分数式	1.08	0	0	0	3.13	0	0	0
	等式と不等式の証明	1.08	0	0	0	3.13	0	0	0
	標準数と二式の方程式	3.23	4.55	9.09	3.03	3.13	0	0	0
	標準数と二式の方程式【用語・記号】虚数i、判別式、因数定理	2.15	2.27	0	3.03	3.13	0	0	0
	点と直線	1.08	0	0	0	3.13	0	0	0
	直線の方程式	1.08	0	0	0	3.13	0	0	0
	円の方程式	1.08	0	0	0	3.13	0	0	0
	円と直線	1.08	0	0	0	3.13	0	0	0
数学Ⅱ	角の拡張	1.08	0	0	0	3.13	0	0	0
	三角関数とその基本的な性質	1.08	0	0	0	3.13	0	0	0
	三角関数の加法定理	1.08	0	0	0	3.13	0	0	0
	指標関数	2.15	2.27	9.09	0	3.13	0	0	0
	指標関数と対数則	2.15	0	0	0	3.13	0	0	0
	対数関数【用語・記号】対数度、累乗根、log _a x	2.15	0	0	0	3.13	0	0	0
	対数係数と対数関数	3.23	2.27	9.09	0	3.13	0	0	0
	導関数の応用、接線、関数値の増減	3.23	2.27	9.09	0	3.13	0	0	0
	不定積分と定積分	2.15	2.27	9.09	0	3.13	0	0	0
	面積【用語・記号】極限値、lim	2.15	2.27	9.09	0	3.13	0	0	0
数学Ⅲ	数列の極限	2.15	2.27	0	3.03	3.13	0	0	0
	無限等比級数の和	2.15	2.27	0	3.03	3.13	0	0	0
	合成関数と逆関数	2.15	2.27	0	3.03	3.13	0	0	0
	関数値の極限【用語・記号】収束、発散、∞	2.15	2.27	0	3.03	3.13	0	0	0
	関数の和・差・積・商の導関数	2.15	2.27	9.09	0	3.13	0	0	0
	合成関数の導関数	2.15	2.27	9.09	0	3.13	0	0	0
	三角関数・指数関数・対数関数の導関数	1.08	0	0	0	3.13	0	0	0
	接線、関数値の増減、速度、加速度【用語・記号】自然対数e、第二次導関数、変曲線	2.15	2.27	9.09	0	3.13	0	0	0
	積分とその基本的な性質	2.15	2.27	9.09	0	3.13	0	0	0
	簡単な置換積分法、部分積分法	3.23	4.55	9.09	3.03	3.13	0	0	0
	いろいろな関数の積分	2.15	2.27	0	3.03	3.13	0	0	0
	積分の応用	2.15	2.27	0	3.03	3.13	0	0	0

調査票III-（4）
【欄B・習得度】回答数

数学

科目	内容	文科系						一般教養	留学生教育共通教育文(その他)				
		社会科学系	人文系	日本関係	教育学	その他人文学	文(他)						
高等學校學習指導導內容（「数学」）	(1)(2)(3)／ABC…の項目	アイウエオ…の項目	本票回答数／回答総数→	27/93	21/44	1/11	20/33	5/32	0/12	2/12	0/10	0/2	1/5
	平面图形	三角形の性質		1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
		円の性質		1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	集合と論理	集合と要素の個数		1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
		命題と証明		2	1	0	1	1	0	0	0	0	0
	A 場合の数と確率	順列／組合せ		2	1	0	1	1	0	1	0	0	0
		独立性と確率		3	2	1	1	1	0	1	0	0	0
		独立性と条件確率		2	1	0	1	1	0	0	0	0	0
	数列	等差数列と等比数列		1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
		漸化式と数列		1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
高等學校學習指導導内容（「数学」）	数学	漸化式と数学的帰納法		1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
		数学的帰納法【用語・記号】		1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	ベクトル	ベクトルとその演算		1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
		平面上のベクトル		1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	空間座標、空間におけるベクトル	空間座標、空間におけるベクトル		2	1	0	1	1	0	0	0	0	0
		度数分布表、相関図		2	1	0	1	1	0	0	0	0	0
	資料の整理	度数分布表、標準偏差、相関係数		3	2	1	1	1	0	0	0	0	0
		資料の分析		1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	統計とコンピュータ	簡単なプログラム		2	1	0	1	1	0	0	0	0	0
	数値計算とコンピュータ	いろいろなアルゴリズム		3	2	1	1	1	0	0	0	0	0
高等學校學習指導導内容（「数学」）	行列とその演算	行列とその演算、和、差、零數倍		3	1	0	1	1	0	0	0	0	0
		行列の積と逆行列		3	1	0	1	1	0	0	0	0	0
	確立一次方程式	確立一次方程式		2	0	0	0	1	0	0	0	0	0
		点の移動（用語・記号）A-1		1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	放物線	放物線		1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	二次曲線	椭円と双曲线		1	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	式と曲線	曲線の媒介変数表示		2	1	0	1	1	0	0	0	0	0
		極座標と極方程式【用語・記号】焦点、準線		2	1	0	1	1	0	0	0	0	0
	確率の計算	確率変数と確率分布		2	1	0	1	1	0	0	0	0	0
	C 確率分布	二項分布【用語・記号】条件つき確率、平均、分散、標準偏差		4	3	1	2	2	0	1	0	0	0
統計処理	正規分布	連續型確率変数		3	2	0	2	1	0	0	0	0	0
		正規分布		3	2	0	2	1	0	0	0	0	0
	統計的な推測	統計的な推測【用語・記号】推定		4	3	1	2	1	0	0	0	0	0

卷之三

調査票III-（4）
【欄B・習得度】回答数

数学

科目	内容	理工系										理学系						総合教育(理)		
		電気電子情報系			工学系			理学系			数学			物理化学			生物学			
(1)(2)(3)／ABC…の項目	アイウエオ…の項目	本票回答数／回答总数	76/88	65/76	40/43	8.8	17/9	15/16	5.6	7/7	2/3	0.2	11/15	8/9	1/1	4/4	2/2	1/1	9/1	3/3
数学	方程式と不等式	数と式	実数	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
	一次方程式	式の展開と因数分解	式の展開と因数分解	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	二次方程式	二次方程式	二次方程式	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	二次関数	二次関数とそのグラフ	二次関数とそのグラフ	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	三角比	三角比の最大・最小	二次関数の値の変化	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	图形と計量	正弦、余弦、正接	一次不等式	3	3	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	高	正弦定理、余弦定理	正弦定理と余弦定理	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
高等	学校	图形の計量【用語・記号】sin,cos,tan	图形の計量【用語・記号】sin,cos,tan	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	式と証明	整式の除法、分数式	整式と不等式の証明	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	方程式	標準形と二次方程式	標準形と二式の証明	3	3	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	高次方程式	高次方程式【用語・記号】虚数、i、判別式、因数定理	高次方程式【用語・記号】虚数、i、判別式、因数定理	4	4	2	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
	图形と方程式	点の座標	直線の方程式	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	数	円の方程式	円	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	学	角の折り目	角の折り目	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
数学	Ⅱ	三角関数	三角関数とその基本的な性質	4	4	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	いろいろな関数	三角関数の加法定理	三角関数の加法定理	4	4	1	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
	指數関数と対数関数	指數関数	指數関数	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	微分・積分の考え方	指數関数【用語・記号】対数関数、累乗根、logex 指數関数と対数関数	指數関数【用語・記号】対数関数、累乗根、logex 指數関数の応用、接線、関数値の増減	4	4	1	0	1	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
	（「数学」）	不定積分と定積分	不定積分と定積分	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	数	面積【用語・記号】極限値、lim	面積【用語・記号】極限値、lim	6	6	2	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
	学	数列の極限	数列の極限	5	5	3	0	2	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
数学	Ⅲ	極限	無限等比級数の和	5	5	3	0	2	-1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	導関数の応用	導関数とその極限	導関数の極限【用語・記号】収束、発散、∞	4	4	2	0	1	-1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
	微分法	導関数	導関数の和・差・積・商	4	4	2	0	1	-1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0
	積分法	不定積分と定積分	不定積分と定積分	7	7	3	1	-1	0	0	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0
	（「数学」）	積分法	積分法【用語・記号】自然対数、e、第二次導関数、変曲線	8	8	3	1	1	1	0	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0
	数	複数	複数【用語・記号】自然対数、e、第二次導関数、変曲線	7	7	3	0	1	2	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0
	学	複数	複数【用語・記号】自然対数、e、第二次導関数、変曲線	6	6	2	0	1	1	0	1	0	0	3	0	0	0	0	0	0

調査票III-（4）
【欄B・習得度】割合

数学

科目	内容	理工系												理系										
		電気電子情報系				機械				環境工		化学生		生命工		工(その他)		11/15	8/9	1/1	4/4	2/2	1/1	9/1
		電気電子	情報	電／機	機械	環境工	化学生	生命工	工(その他)	11/15	8/9	1/1	4/4	2/2	1/1	9/1	3/3							
数学	(1)(2)(3)／ABC…の項目	本票回答数／回答総数→																						
	アイウエオ…の項目	65/76	40/43	8.8	17/19	15/16	5.6	7/7	2/3	0.2	11/15	8/9	1/1	4/4	2/2	1/1	9/1	3/3						
	式の展開と因数分解	3.41	3.05	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	一次方程式	2.27	2.63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	二次方程式	2.27	2.63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	二次関数とそのグラフ	3.41	3.95	2.33	0	5.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	二次関数の最大・最小	2.27	2.63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	二次不等式	3.41	3.95	2.33	0	5.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	正弦、余弦、正接	3.41	3.95	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	三角比	3.41	3.95	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
高等数学	直角定理、余弦定理	3.41	3.95	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	图形の計量【用語・記号】sin,cos,tan	2.27	2.63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	整式の除法、分数式	2.27	2.63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	等式と不等式の証明	3.41	3.95	2.33	0	5.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	標準数と不等式の証明	5.68	6.58	6.98	0	5.26	12.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	高次方程式	4.55	5.65	4.65	0	5.26	6.25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	高次方程式【用語・記号】虚数i、判別式、因数定理	2.27	2.63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	点と直線	2.27	2.63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	直線の方程式	2.27	2.63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	円の方程式	2.27	2.63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
数学指導専門学習指導	円と直線	2.27	2.63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	角の加減	2.27	2.63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	三角関数とその基本的な性質	4.55	5.26	4.65	0	5.26	6.25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	三角関数の加法定理	4.55	5.26	2.33	0	5.26	6.25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	三角関数の合成	2.27	2.63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	指數関数と対数関数	4.55	5.26	4.65	0	5.26	6.25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	指數関数【用語・記号】対数、累乗根	4.55	5.26	2.33	0	5.26	6.25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	指數関数と対数関数【用語・記号】対数根	3.41	3.95	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	連続関数の応用、接線、関数値の増減	3.41	3.95	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	不定積分と定積分	3.41	3.95	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
数学Ⅲ	面積【用語・記号】極限	6.82	7.89	4.65	0	10.53	0	0	0	0	14.29	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	数列の極限	5.68	6.58	6.98	0	10.53	6.25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	無限等比級数の和	5.68	6.58	6.98	0	10.53	6.25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	会成関数と逆関数	4.55	5.26	4.65	0	5.26	6.25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	関数値の極限【用語・記号】収束、発散、∞	4.55	5.26	4.65	0	5.26	6.25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0					
	関数の和・差・積・商	7.95	9.21	6.98	12.5	5.26	6.25	0	0	0	0	14.29	0	0	0	0	0	0	0					
	会成関数の導関数	9.09	10.53	6.98	12.5	5.26	6.25	0	0	0	0	14.29	0	0	0	0	0	0	0					
	三角関数・指數関数・対数関数の導関数	11.36	13.16	9.3	12.5	5.26	12.5	0	0	0	0	14.29	0	0	0	0	0	0	0					
	接線、関数値の増減、速度、加速度	9.09	10.53	6.98	12.5	5.26	6.25	0	0	0	0	14.29	0	0	0	0	0	0	0					
	自然対数 e、e、第二次導関数、変曲線	7.95	9.21	6.98	0	5.26	12.5	0	0	0	0	14.29	0	0	0	0	0	0	0					
数学Ⅲ	積分とその基本的な性質	6.82	7.89	4.65	0	5.26	6.25	0	0	0	0	14.29	0	0	0	0	0	0	0	0				
	簡単な置換積分法、部分積分法	6.82	7.89	4.65	0	5.26	6.25	0	0	0	0	14.29	0	0	0	0	0	0	0	0				
	いろいろな積分の形	6.82	7.89	4.65	0	10.53	0	0	0	0	14.29	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	積分の応用	6.82	7.89	4.65	0	10.53	0	0	0	0	14.29	0	0	0	0	0	0	0	0	0				

調査票III-（4）
【欄B・習得度】回答数

数学

科目	内容	理工系										理学系											
		電気電子情報系			機械			環境工		化学生		生命工(その他の)		数学			物理学			化学		生物学	
高等 学校 数学 学習 指導 導 内 容 （「数学」）	(1)(2)(3)/ABC…の項目	本票回答数／回答総数→	76/88	65/76	40/43	8.8	17/19	15/16	5.6	7/7	2/3	0/2	11/15	8.9	1/1	4/4	2/2	1/1	9/1	3/3			
	平面図形	三角形の性質	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0			
	円の性質	円の要素の個数	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0			
	集合と論理	命題と証明	3	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0			
	A 場合の数と確率	順列と組合せ 独立試行と確率 並べて書く方法	5	4	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1			
	数列	【用語・記号】P、C、階乗、n、余事象、排反 等差数列と等比数列 漸化式と数列 漸化式と数学的帰納法 数学的帰納法【用語・記号】Σ	3	3	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0			
	ベクトル	ベクトルの内積 空間座標、空間におけるベクトル 平面ベクトル	4	4	2	0	2	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0			
	統計とコンピュータ	度数分布表、相関図 代表値、分散、標準偏差、相関係数 簡単なプログラム	6	6	4	0	1	3	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0			
	数値計算とコンピュータ	いろいろなアルゴリズム 近似値の計算	7	7	4	0	1	3	0	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0			
	行列とその応用	行列の積と逆行列 連立一次方程式 点の移動【用語・記号】A-1	5	4	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0			
C 確率分布 統計処理	二次曲線	拡大と収縮線 媒介変数表示と極座標 極座標と極方程式【用語・記号】焦点、準線	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1			
	確率の計算	確率変数と確率分布 二項分布【用語・記号】条件つき確率、平均、分散、標準偏差	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	1			
	確率分布	連続型確率変数 正規分布 長集団と標本	4	3	2	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1			
	正規分布	統計的な推測【用語・記号】推定	7	6	3	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1			
	統計処理	統計的推測	6	5	4	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			

調査票III-（4）
【欄B・習得度】割合

数学

科目	内容	理工系												理学系					
		電気電子情報系				工学系				理学系				数学	物理	化学	生物学	教育学(理科)	
	(1)(2)(3)/ABC…の項目	本票回答数／回答総数→												1/1	4/4	2/2	1/1	9/1	3/3
高等 学校 数学 A 場合の数と確率	平面図形	三角形の性質	2.27	2.63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	円の性質	2.27	2.63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	集合と要素の個数	3.41	3.95	2.33	0	5.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	命題と証明	5.68	5.26	4.65	0	10.53	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3.33
	順列と組合せ	3.41	3.95	2.33	0	5.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	組合せと確率	4.55	5.26	2.33	0	5.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	独立性と条件付確率	4.55	5.26	2.33	0	5.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	等差数列と等比数列	4.55	5.26	4.65	0	10.53	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	数列とその和	3.41	3.95	2.33	0	5.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	漸化式と数列	3.41	3.95	2.33	0	5.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等 学校 数学 B 数列	漸化式と数学的帰納法	3.41	3.95	2.33	0	5.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	数学的帰納法【用語・記号】P、C、階乗、n、余事象、排反	6.82	7.89	9.3	0	5.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベクトルの演算	7.95	9.21	9.3	0	5.26	18.75	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ベクトルの内積	5.68	5.26	2.33	0	5.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	空間座標とベクトル	4.55	5.26	4.65	0	10.53	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	空間座標とベクトル	4.55	5.26	4.65	0	10.53	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	度数分布表、相関図	2.27	2.63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	度数分布表、標準偏差、相関係数	3.41	3.95	2.33	0	5.26	18.75	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	平面ベクトル	7.95	9.21	9.3	0	5.26	18.75	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	資料の整理	4.55	5.26	4.65	0	10.53	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等 学校 数学 C 統計	資料の分析	2.27	2.63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	簡単なプログラム	3.41	3.95	2.33	0	5.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	数値計算とコンピュータ	2.27	2.63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	いろいろなアルゴリズム	2.27	2.63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	近似値の計算	4.55	5.26	4.65	0	10.53	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	行列とその演算、和、差、零数倍	4.55	3.95	2.33	0	5.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	行列の積と逆行列	4.55	3.95	2.33	0	5.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	連立一次方程式	4.55	3.95	2.33	0	5.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	点の移動（用語・記号）A-1	2.27	1.32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	二次曲線	3.41	2.63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等 学校 数学 C 統計	媒介変数表示と極座標	4.55	2.63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	確率の計算	3.41	2.63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	確率分布	7.95	7.89	6.98	12.5	0	6.25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	二項分布（用語・記号）条件つき確率、平均、分散、標準偏差	5.68	5.26	4.65	12.5	0	6.25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	連続型確率変数	7.95	7.89	4.65	12.5	5.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	正規分布	6.82	6.68	4.65	12.5	5.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	長集団と標本	5.68	5.26	6.98	12.5	5.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	統計的な推測	6.82	6.58	9.3	12.5	10.53	6.25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	統計的处理	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	33.33

調査票III-（5）
【欄A・重要度】回答数

物理

科目	内容	文科系						一般教養 留学生教育 共通教育(文) 文(その他の)	
		社会科学系			人文系				
		法学 2/44	経済 1/11	日本関係 0/33	教育 0/12	社会人文学 0/8	その他人文学 1/12		
高等 学校 学習 指導 内 容 （「理 科」）	(1)(2)(3)/ABC…の項目 アイウエオ…の項目 2本裏回答数/回答総数=1 2/93	電気と生活 モーターと発電機 交流と電波	2 1 2	1 1 1	0 0 0	1 0 1	0 1 0	0 0 0	
	生活の中の電気 電気にに関する深究活動 いろいろな波	音の伝わる方 音の干涉と共鳴 光の伝わる方 光の干渉と干涉	0 1 1 1	0 1 1 1	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	
	音と光	日常起る物体の運動 運動の表現方	0 1	0 1	0 0	0 0	0 0	0 0	
	波	運動の法則 エネルギーの測り方 運動エネルギーと位置エネルギー 熱と温度 電気とエネルギー エネルギーの変換と保存	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	
	運動とエネルギー エネルギー	運動とエネルギーに關する深究活動	0	0	0	0	0	0	
	物体の運動	平面上の運動 運動量と力積 円運動と万有引力 万有引力による運動	1 1 1 1	1 1 1 1	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	
	力と運動	電荷と磁界 電磁誘導と電磁波	1 1	1 1	0 0	0 0	0 0	0 0	
	電気と磁気	分子の運動 分子の運動と圧力 分子と電子 固体の性質と電子 粒子性と波動性	1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	0 0 0 0 0	
	物質と原子 II	量子論と原子の構造 原子核と素粒子 特定の物理的事象に関する研究 物理学を發展させた実験に関する研究	1 1 0	1 1 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	
	原子と原子核	量子論と原子の構造 原子核 素粒子と宇宙 物理学を發展させた実験に関する研究	1 1 0	1 1 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	
	課題研究		0	0	0	0	0	0	

調査票III-（5）
【欄A・重要度】割合

物理

科 目	内容	文科系						一般教養			文化)	
		社会科学系			人文系			留学生教育	その他の人文学	共通教育(文)		
		法 学	経 济	日本関係	教 育	日本関係	人文系					
高等學校學習指導要領	(1)(2)(3)/ABC…の項目	アイウエオ…の項目	本裏回答数／回答総数=—	2/93	1/44	1/11	0/33	1/32	0/8	1/12	0/12	
	電 気	生活の中の電気	電気と生活	2.15	2.27	9.09	0	3.13	0	8.33	0	
		モーターと発電機		2.15	2.27	9.09	0	3.13	0	8.33	0	
		交流と電波		2.15	2.27	9.09	0	3.13	0	8.33	0	
	波	いろいろな波	音の伝わり方	0	0	0	0	0	0	0	0	
			音の干涉と共鳴	1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	0	
			光の伝わり方	1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	0	
			光の干渉と干渉	1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	0	
		波に関する探究活動		0	0	0	0	0	0	0	0	
			日常に起る物体の運動	1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	0	
物理	物体の運動	運動の表現方		1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	0	
		運動の法則		1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	0	
		エネルギーの測り方		1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	0	
		運動エネルギーと位置エネルギー		1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	0	
		熱と温度		1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	0	
		電気エネルギー		1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	0	
		エネルギーの変換と保存		1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	0	
		運動エネルギーに関する探究活動		0	0	0	0	0	0	0	0	
		物体の運動		1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	0	
		運動量と力積		1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	0	
物理	電界と磁界	円運動と単振動		1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	0	
		万有引力による運動		1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	0	
		電荷と電界		1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	0	
		電流による磁界		1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	0	
		電磁誘導と電磁波		1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	0	
		電磁波		1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	0	
		原子・分子の運動		1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	0	
		分子の運動と圧力		1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	0	
		原子、電子と物質の性質		1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	0	
		固体の性質と電子		1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	0	
原子と原子核		粒子性と波动性		1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	0	
		量子論と原子の構造		1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	0	
		原子核と素粒子		1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	0	
課題研究		原子核と素粒子		0	0	0	0	0	0	0	0	
		特定の物理的事象に関する研究		0	0	0	0	0	0	0	0	
		物理学を発展させた実験に関する研究		0	0	0	0	0	0	0	0	

調査票III-（5）
【欄A・重要度】回答数

物理

科目	(1)(2)(3)/ABC…の項目	内容	工学系												理学系																
			電気電子情報系						機械						環境工		生命工		工(その他)		数学			物理学		化学		生物学		参考用(理科)	
			電気・電子	情報	電／情	機械	環境工	生命工	工(その他)	8/9	9/1	4/4	2/2	1/1	1/1	2/3	数学	物理学	化学	生物学	参考用(理科)	共通教質(理)									
高等 学校 習 指 導 内 容 (一) 「理 科」	生活の中の電気	電気と生活 モーターと発電機 交流と電波	49	43	26	6	8	12	5	4	2	0	6	5	0	3	1	1	0	1	0	1	1	1	1	0	1				
	電気に関する探求活動	いろいろな波	50	42	25	5	9	11	5	4	2	0	6	7	0	4	1	1	1	1	0	1	0	1	0	2	0				
	音の伝わり方	音の干涉と共鳴	51	43	26	6	9	11	5	4	2	0	6	6	0	4	1	1	1	1	0	1	0	1	0	1	0				
	音と光	光の伝わり方	31	27	19	4	8	7	2	2	0	0	4	3	0	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0				
	波	光の干渉と干渉	38	33	20	5	8	7	3	5	2	0	4	4	0	3	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0				
	日常に起る物体の運動	運動の差方	50	42	25	6	7	12	5	6	2	0	4	6	0	4	1	1	1	0	1	0	2	0	1	1	1				
	物体の運動	運動の法則	49	42	26	6	8	12	5	5	2	0	4	6	0	4	0	1	1	0	1	0	2	0	1	1	0				
	運動とエネルギー	運動エネルギーと位置エネルギー	56	48	26	5	9	12	5	7	2	0	8	6	0	4	1	1	1	0	1	0	2	0	1	1	0				
	運動とエネルギー	運動エネルギーとエネルギーの変換と保存	53	30	6	11	13	5	7	2	0	9	7	0	4	1	1	1	1	1	1	0	1	2	0	1	1				
	運動とエネルギー	運動エネルギーに關する探究活動	54	47	26	5	10	11	5	6	2	0	8	6	0	4	1	1	1	0	1	0	1	0	1	1	0				
高等 学校 習 指 導 内 容 (二) 「理 科」	電流と電磁界	電流による磁界	62	53	30	6	11	13	5	7	2	0	9	7	0	4	1	1	1	0	1	0	1	2	0	1	1				
	電磁誘導と電磁波	電磁誘導	55	46	27	6	8	13	5	6	2	0	6	8	0	4	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
	物質の運動	物質の三態	59	50	30	7	10	13	5	5	2	0	8	8	0	4	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
	原子・分子の運動	分子の運動と圧力	56	47	27	5	10	11	4	6	2	0	8	8	0	4	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1				
	電気と磁気	電荷と電界	60	51	28	6	9	13	5	7	2	0	9	7	0	4	1	1	1	1	2	0	1	1	1	1	1				
	電磁誘導と電磁波	電磁説	58	50	28	5	10	13	5	7	2	0	8	6	0	4	1	1	0	2	0	1	1	1	1	1	1				
	物質と原子	物質の運動	59	51	30	6	10	14	5	6	2	0	8	6	0	4	1	1	1	0	2	0	1	1	1	1	0				
	原子・電子と物質の性質	原子と電子	54	47	27	5	9	13	5	5	2	0	8	5	0	4	0	1	0	2	0	1	2	0	1	1					
	原子・電子と物質の性質	固体の性質と電子	55	46	29	6	10	13	5	4	2	0	6	8	0	4	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1					
	原子の構造	原子論と原子の構造	46	37	24	5	8	11	5	3	2	0	3	7	0	3	2	1	1	1	2	0	1	1	1	1					
原子と原子核 課題研究	原子核と素粒子	量子論と原子の構造	32	26	16	4	5	7	3	2	0	3	5	0	3	1	1	1	0	1	0	1	0	1	0	1					
	原子核と素粒子	原子核	30	26	16	5	5	2	1	0	3	3	0	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1					
	特定の物理的事象に関する研究	素粒子と宇宙	23	19	13	3	5	5	2	1	0	2	3	0	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0					
	物理学を發展させた実験に関する研究	特定の物理的事象に関する研究	17	14	9	2	5	2	1	2	0	1	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0					
	課題研究	課題研究	16	13	9	2	5	2	1	2	0	1	2	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0					

調査票III-（5）
【欄A・重要度】割合

物理

科 目	内容	工学系										理学系						
		電気電子情報系																
		電気・電子	情報	電・情	機械	環境工	化学工	生命工	工(その他)	数学	物理学	化学	生物学	数学	物理学	化学	生物学	
高 等 学 校 指 導 部	(1)(2)(3)/ABC…の項目	アイウエオ…の項目	2本裏回答数/回答総数=	67/388	57/76	33/43	8/8	11/19	14/16	5/6	7/7	2/3	9/2	10/15	8/9	9/1	4/4	2/2
	電 気	生活の中の電気	電気と生活	55.68	56.58	60.47	75	42.11	75	83.33	57.14	66.67	0	40	55.56	0	75	50
		モーターと発電機	交流と電波	56.82	55.26	58.14	62.5	47.37	68.75	83.33	57.14	66.67	0	40	77.78	0	100	50
	波	電気にに関する探究活動	いろいろな波	57.95	56.58	60.47	75	47.37	68.75	83.33	57.14	66.67	0	40	66.67	0	100	50
		音の伝わり方	音の干涉と共鳴	43.18	43.42	46.51	62.5	42.11	43.75	33.33	28.57	0	0	26.67	33.33	0	50	0
		音と光	光の伝わり方	56.82	55.26	58.14	62.5	36.84	75	83.33	85.71	66.67	0	26.67	44.44	0	75	0
		光の干渉と干渉	波に関する探究活動	55.68	55.26	60.47	75	42.11	75	83.33	71.43	66.67	0	26.67	66.67	0	100	50
		日常に起る物体の運動	運動の実験	62.5	63.16	60.47	62.5	47.37	75	83.33	100	33.33	0	60	66.67	0	100	50
	物 体 の 運 動	物体の運動	運動の法則	63.64	63.16	60.47	62.5	47.37	75	83.33	100	66.67	0	53.33	66.67	0	100	50
		運動エネルギーの測り方	運動エネルギーと位置エネルギー	70.45	69.74	69.77	75	57.89	81.25	83.33	100	66.67	0	60	77.78	0	100	50
内 容	運動エネルギー	運動エネルギー	運動エネルギーと位置エネルギー	61.36	61.84	60.47	62.5	47.37	62.5	83.33	85.71	66.67	0	53.33	66.67	0	100	50
		熱力学	熱力学	70.45	69.74	69.77	75	57.89	81.25	83.33	100	66.67	0	60	77.78	0	100	50
		電気エネルギー	電気エネルギー	67.05	65.79	69.77	87.5	56.63	81.25	83.33	71.43	66.67	0	53.33	66.67	0	100	50
		エネルギーの変換と保存	エネルギーの変換と保存	63.64	61.84	62.79	75	56.63	68.75	66.67	85.71	66.67	0	53.33	68.89	0	100	50
		運動エネルギーに関する探究活動	運動エネルギーに関する探究活動	63.64	61.84	62.79	75	56.63	68.75	66.67	85.71	66.67	0	26.67	11.11	0	25	0
		平面上の運動	平面上の運動	68.18	67.11	65.12	75	47.37	81.25	83.33	100	66.67	0	60	77.78	0	100	50
		運動量と力積	運動量と力積	65.91	65.79	65.12	62.5	52.63	81.25	83.33	100	66.67	0	53.33	66.67	0	100	50
		円運動と単振動	円運動と単振動	67.05	67.11	69.77	75	56.63	87.5	83.33	85.71	66.67	0	53.33	66.67	0	100	50
		万有引力による運動	万有引力による運動	61.36	61.84	62.79	62.5	47.37	81.25	83.33	71.43	66.67	0	53.33	55.56	0	100	50
		電荷と電界	電荷と電界	63.64	67.44	67.44	75	56.63	81.25	83.33	57.14	66.67	0	26.67	88.89	0	100	50
二 「理 物質と原子」	電界と磁界	電流と電磁界	電流と電磁界	62.5	60.53	67.44	75	57.89	75	83.33	71.43	66.67	0	33.33	68.89	0	100	50
		電磁誘導と電磁波	電磁誘導と電磁波	61.36	59.21	65.12	75	52.63	75	83.33	71.43	66.67	0	33.33	68.89	0	100	50
		物質の三態	物質の三態	56.82	53.95	58.14	75	47.37	62.5	66.67	71.43	66.67	0	33.33	77.78	0	100	50
		分子・分子の運動	分子・分子の運動	52.27	48.68	55.81	62.5	42.11	68.75	83.33	42.86	66.67	0	20	77.78	0	75	100
		原子・電子の運動	原子・電子の運動	51.14	48.68	51.16	62.5	36.84	62.5	83.33	57.14	66.67	0	26.67	77.78	0	75	100
		原子、電子と物質の性質	原子、電子と物質の性質	52.27	48.68	58.14	75	36.84	75	83.33	28.57	66.67	0	20	77.78	0	75	100
		固体の性質と電子	固体の性質と電子	44.32	43.42	48.84	50	36.84	62.5	83.33	28.57	66.67	0	20	55.56	0	100	100
		粒子性と波動性	粒子性と波動性	39.77	38.16	39.53	50	31.56	43.75	66.67	42.86	66.67	0	20	55.56	0	75	100
		量子論と原子の構造	量子論と原子の構造	36.36	34.21	37.21	50	26.32	43.75	50	28.57	66.67	0	20	55.56	0	75	100
		原子核と素粒子	原子核と素粒子	34.09	34.21	41.86	62.5	26.32	50	33.33	26.57	33.33	0	20	55.56	0	50	100
		原子核と素粒子	原子核と素粒子	26.14	25	30.23	37.5	26.32	31.25	33.33	14.29	33.33	0	13.33	33.33	0	50	100
		特定の物理的事象に関する研究	特定の物理的事象に関する研究	19.32	18.42	20.93	25	26.32	12.5	16.67	28.57	33.33	0	6.67	22.22	0	25	100
	課題研究	物理学を発展させた実験に関する研究	物理学を発展させた実験に関する研究	18.18	17.11	20.93	25	26.32	12.5	16.67	28.57	0	0	6.67	22.22	0	25	100

調査票III-(5)
【欄B・習得度】回答数

物理

科 目	内容	文科系						一般教養 留学生教育 共通教育(文、文、その他の)				
		社会科学系			人文系							
		法 学	経 济	日本関係 教育	その他の人文学 教育	1/32	9/8	1/12	9/12	0/10	0/2	0/5
高等學校學習指導 物理 I 運動とエネルギー	(1)(2)(3)/ABC…の項目	アイウエオ…の項目	本題回答数/回答総数=2/93	1/44	1/11	0/33	1/32	9/8	1/12	9/12	0/10	0/2
	電 気	生活の中の電気	電気と生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		モーターと発電機	モーターと発電機	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		交流と電波	交流と電波	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	波	いろいろな波	電気に関する探究活動	1	0	0	0	1	0	0	1	0
		音の伝わり方	音の伝わり方	1	0	0	0	1	0	0	0	0
		音の干涉と共鳴	音の干涉と共鳴	1	0	0	0	1	0	0	0	0
		光の伝わり方	光の伝わり方	1	0	0	0	1	0	0	0	0
		光の干渉と干渉	光の干渉と干渉	1	0	0	0	1	0	0	0	0
		波に関する探究活動	波に関する探究活動	1	0	0	0	1	0	0	0	0
高等學校學習指導 物理 II 物質と原子 原子と原子核 課題研究	物 体 の 運 動	日常に見る物体の運動	運動の表現方	1	0	0	0	1	0	0	0	0
		運動の実験方	運動の実験方	1	0	0	0	1	0	0	0	0
		運動の法則	運動の法則	1	0	0	0	1	0	0	0	0
		エネルギーの測り方	エネルギーの測り方	1	0	0	0	1	0	0	0	0
		運動エネルギーと位置エネルギー	運動エネルギーと位置エネルギー	1	0	0	0	1	0	0	0	0
		熱と温度	熱と温度	1	0	0	0	1	0	0	0	0
		電気エネルギー	電気エネルギー	1	0	0	0	1	0	0	0	0
		エネルギーの変換と保存	エネルギーの変換と保存	1	0	0	0	1	0	0	0	0
		運動エネルギーに関する探究活動	運動エネルギーに関する探究活動	1	0	0	0	1	0	0	0	0
		物 体 の 運 動	平面での運動	1	0	0	0	1	0	0	0	0
高等學校學習指導 物理 II 物質と原子 原子と原子核 課題研究	力と運動	運動量と力積	円運動と万有引力	1	0	0	0	1	0	0	0	0
		円運動と単振動	円運動と単振動	1	0	0	0	1	0	0	0	0
		万有引力による運動	万有引力による運動	1	0	0	0	1	0	0	0	0
		電荷と電界	電荷と電界	1	0	0	0	1	0	0	0	0
		電界と磁界	電界と磁界	1	0	0	0	1	0	0	0	0
		電磁誘導と電磁波	電磁誘導	1	0	0	0	1	0	0	0	0
		電磁波	電磁波	1	0	0	0	1	0	0	0	0
		物質の三態	物質の三態	1	0	0	0	1	0	0	0	0
		分子・分子の運動	分子の運動と圧力	1	0	0	0	1	0	0	0	0
		原子、電子と物質の性質	原子と電子	1	0	0	0	1	0	0	0	0
高等學校學習指導 物理 II 原子と原子核 課題研究		固体の性質と電子	固体の性質と電子	1	0	0	0	1	0	0	0	0
		粒子性と波動性	粒子性と波動性	2	1	1	0	1	0	0	0	0
		量子論と原子の構造	量子論と原子の構造	2	1	1	0	1	0	0	0	0
		原子核と素粒子	原子核と素粒子	1	0	0	0	1	0	0	0	0
高等學校學習指導 物理 II 課題研究	特定の物理的事象に関する研究	特定の物理的事象に関する研究	物理学を発展させた実験に関する研究	1	0	0	0	1	0	0	0	0
		物理学を発展させた実験に関する研究	物理学を発展させた実験に関する研究	1	0	0	0	1	0	0	0	0

調査票III-(5)
【欄B・習得度】割合

物理

科 目	内容	文科系										留学生教育 共通教育(文、文/その他の文)	
		社会科学系					人文系						
		日本関係 0/32	経済 0/33	法 学 1/11	イ ウ オ … の 項 目 2/93	電気と生活 モーターと発電機 交流と電波	音の伝わり方 音の干涉と共鳴 光の伝わり方 光の干渉と干涉	日常生活 日常に起る物体の運動 運動の裏方 運動の法則 エネルギーの測り方 運動エネルギーと位置エネルギー 熱と温度 電気エネルギー エネルギーの変換と保存 運動とエネルギーに關する探究活動	物理学 運動とエネルギー エネルギー	電流と電界 電磁誘導と電磁波 分子の運動 分子、分子の運動 原子、電子と物質の性質 原子の構造 原子核と素粒子 特定の物理的事象に関する研究 物理学を発展させた実験に関する研究	一般教養 0/10 0/12		
高等學校學習指導專門	(1)(2)(3)/ABC…の項目	2本裏回答数/回答総数=1	1/44	1/44	0	0	0	0	0	0	0	0	
電 気	生活の中の電気	電気と生活	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
電 气	電気に關する探究活動	モーターと発電機 交流と電波	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
波	いろいろな波	音の伝わり方	1.08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
物 理 I	音と光	音の干涉と共鳴	1.08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
物 理 I	波に關する探究活動	光の伝わり方 光の干渉と干涉	1.08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
物 理 I	日常に起る物体の運動	日常生活	1.08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
物 理 I	運動の裏方	日常に起る物体の運動	1.08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
物 理 I	運動の法則	運動の法則	1.08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
物 理 I	エネルギーの測り方	エネルギーの測り方	1.08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
物 理 I	運動エネルギーと位置エネルギー	運動エネルギーと位置エネルギー	1.08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
物 理 I	熱と温度	熱と温度	1.08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
物 理 I	電気エネルギー	電気エネルギー	1.08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
物 理 I	エネルギーの変換と保存	エネルギーの変換と保存	1.08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
内 容	運動とエネルギーに關する探究活動	運動とエネルギーに關する探究活動	1.08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
力と運動	物体の運動	平面上の運動	1.08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
力と運動	運動量と力積	運動量と力積	1.08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
電 气	円運動と単振動	円運動と単振動	1.08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
電 气	万有引力による運動	万有引力による運動	1.08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
電 气	電荷と電界	電荷と電界	1.08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
電 气	電界と磁界	電流による磁界	1.08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
電 气	電磁誘導	電磁誘導	1.08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
物 理 II	電磁波	電磁波	1.08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
物 理 II	原子、分子の運動	物質の三態	1.08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
物 理 II	分子の運動と圧力	分子の運動と圧力	1.08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
物 理 II	原子、電子と物質の性質	原子と電子	1.08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
物 理 II	固体の性質と電子	固体の性質と電子	1.08	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
物 理 II	粒子性と波动性	粒子性と波动性	2.15	2.27	9.09	0	3.13	0	0	0	0	0	
物 理 II	量子論と原子の構造	量子論と原子の構造	2.15	2.27	9.09	0	3.13	0	0	0	0	0	
物 理 II	原子核と素粒子	原子核	1.08	0	0	0	3.13	0	0	0	0	0	
物 理 II	原子核と素粒子	素粒子・宇宙	2.15	2.27	9.09	0	3.13	0	0	0	0	0	
課題研究	特定の物理的事象に関する研究	特定の物理的事象に関する研究	1.08	0	0	0	3.13	0	0	0	0	0	
課題研究	物理学を発展させた実験に関する研究	物理学を発展させた実験に関する研究	1.08	0	0	0	3.13	0	0	0	0	0	

調査票III-(5)
【欄B・習得度】回答数

物理

科 目	内容	工学系										理学系								
		電気電子情報系			機械			環境工		化学工		生命工(その他)		数学		物理学		化学		生物学
(1)(2)(3)/ABC…の項目	アイウエオ…の項目	2本裏回答数/回答総数=	67/388	57/76	33/43	8/8	11/19	14/16	5/6	7/7	2/3	0/2	10/15	8/9	0/1	4/4	2/2	1/1	1/1	2/3
高等學校學習指導要領	電気	電気と生活	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	電気	モーターと発電機	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1
	電気	交流と電波	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	波	音の伝わり方	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	波	音の干涉と共鳴	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0
	波	光の伝わり方	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	1
	波	光の干渉と干渉	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0
	波	波にに関する探究活動	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	1
	物理	日常生活の中の電気	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	物理	電気に関する探究活動	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
「理物」	運動	運動の表現方	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0
	運動	運動の法則	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
	運動	エネルギーの測り方	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0
	運動	運動エネルギーと位置エネルギー	4	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	運動	運動の尺度	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	運動	電気エネルギー	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	運動	エネルギーの変換と保存	3	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	運動	運動エネルギーに関する探究活動	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	力と運動	平面における運動	4	3	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1
	力と運動	運動量と力積	5	5	2	0	0	0	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
「理物」	電磁	円運動と単振動	3	3	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	電磁	万有引力による運動	2	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	電磁	電荷と電界	6	5	3	1	0	0	2	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
	電磁	電流による磁界	8	7	4	1	0	0	3	0	0	1	0	0	2	1	0	0	0	1
	電磁	電磁誘導	8	7	4	1	0	0	3	0	0	1	0	0	2	1	0	0	0	1
	電磁	電磁波	5	5	3	1	0	0	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0
	物質	分子の運動	2	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	物質	分子の運動と圧力	3	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	物質	原子、電子と物質の性質	2	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	物質	固体の性質と電子	3	3	2	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
原子と原子核	原子	粒子性と波動性	3	3	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	原子	量子論と原子の構造	4	4	3	0	2	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	原子	原子核と素粒子	3	3	3	2	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
課題研究	特定の物理的事象に関する研究	3	3	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
	課題研究	物理学を発展させた実験に関する研究	3	3	2	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0

調査票III-(5)
【欄B・習得度】割合

物理

科 目	内容	工学系										理学系							
		電気電子情報系			機械			環境工		化学工		生命工(その他)		数学		物理学		化学	
高 等 学 校 学 習 指 導 内 容 (「理 物」)	(1)(2)(3)/ABC…の項目 アイウエオ…の項目	本質回答数/回答総数=67/88	57/76	33.43	8/8	11/19	14/16	5/6	7/7	2/3	0/2	10/15	8/9	0/1	4/4	2/2	1/1	1/1	2/3
	電気	電気と生活 モーターと発電機 交流と電波	1.14 2.27 1.14	1.32 1.32 1.32	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	0 0 0	
	波	電気にに関する探究活動 いろいろな波 音の伝わり方 音の干涉と共鳴 光の伝わり方 光の干渉と干涉	1.14 1.14 2.27 3.41 2.27 3.41	1.32 1.32 2.63 2.63 2.63 2.63	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0		
	物理	日常に起る物体の運動 運動の表し方 運動の法則 エネルギーの測り方 運動エネルギーと位置エネルギー 熱力学 電気エネルギー エネルギーの変換と保存 運動エネルギーに関する探究活動	1.14 1.14 2.27 2.27 1.14 4.55 2.27 2.27 1.14	1.32 1.32 2.63 2.63 2.63 5.26 2.63 2.63 2.63	0 0 0 0 0 2.33 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0	0 0 0 0 0 0 0 0 0		
	電磁	平面との運動 運動量と力積 円運動と単振動 万有引力による運動 電荷と電界 電界と磁界	4.55 5.68 3.41 6.32 9.09	2.33 4.65 2.33 6.98 9.21	0 0 0 0 9.3	0 0 0 0 12.5	0 0 0 0 12.5	0 0 0 0 12.5	0 0 0 0 12.5	0 0 0 0 12.5	0 0 0 0 12.5	0 0 0 0 12.5	0 0 0 0 12.5	0 0 0 0 12.5	0 0 0 0 12.5	0 0 0 0 12.5	0 0 0 0 12.5		
	物質と原子	電磁誘導と電磁波 分子の運動 分子の運動と圧力 原子、電子と物質の性質 固体の性質と電子 粒子性と波动性 量子論と原子の構造 原子核と素粒子 原子核と素粒子 特定の物理的事象に関する研究 物理学を発展させた実験に関する研究	3.41 3.41 3.41 3.41 3.41 3.41 3.41 3.41 3.41 3.41	2.33 2.33 2.33 2.33 2.33 2.33 2.33 2.33 2.33	0 0 0 0 0 0 0 0 0	5.26 5.26 5.26 5.26 5.26 5.26 5.26 5.26 5.26	0 0 0 0 0 0 0 0 0												
	課題研究																		

調査票III-(6)
【欄A・重要度】回答数

化学

科目	(1)(2)(3) A/B/C…の項目	本票回答数／回答総数=	内容				人文系				文科系			
			社会科学系		日本関係		その他の人文学		留学生教育		共通教育(文)		文(その他)	
			法	経	日本	関係	教育	学	留学生	教育	0/10	0/12	0/10	0/5
高等 学校 学習 指導 専門 内容 (「理 科」)	物質と人間生活	2/33	1/44	1/11	0/33	1/32	0/8	1/12	0/12	0/12	0/10	0/12	0/2	0/5
	物質の構成		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	物質の構成粒子		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	物質の構成に関する探究活動		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無機物質		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	化合物		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭水素		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	有機化合物		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	物質の種類と性質に関する探究活動		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	反応熱		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等 学校 学習 指導 専門 内容 (「理 科」)	酸・塩基・中和		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	酸化と還元		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	物質の変化に関する探究活動		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	化学結合		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	気体の法則		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	液体と固体		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	反応速度		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	化学平衡		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	食品		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	衣料		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等 学校 学習 指導 専門 内容 (「理 科」)	材料の化学		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生活と物質		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	生命的化学		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	薬品の化学		1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	特定の化学的事象に関する研究		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
課題研究	化学を発展させた実験に関する研究		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

調査票III-(6)
【欄A・重要度】割合

化学

科 目	(1)(2)(3)/ABC…の項目	内 容	文科系						文(その他)	
			社会科学系			人文系				
			法 学	経 济	日本関係	教 育 学	その他の人文学	留学生教育		
高等化学校学習指導要領内 容 (-「理科」-)	本票回答数/回答総数→ 2/33 1/44 1/11 0/33 1/32 0/8 1/12 0/12 0/10 0/2 0/5	化学とその役割	1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	
		物質の探究	1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	
		物質の構成粒子	1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	
		物質量	1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	
		物質の構成に関する探究活動	0	0	0	0	0	0	0	
		無機物質	0	0	0	0	0	0	0	
		化合物	1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	
		炭化水素	1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	
		官能基を含む化合物	0	0	0	0	0	0	0	
		物質の種類と性質に関する探究活動	0	0	0	0	0	0	0	
高等化学	有機化合物	反応熱	1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	
		酸塩基・中和	1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	
		酸化と還元	1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	
		物質の変化に関する探究活動	0	0	0	0	0	0	0	
		物質の構造	1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	
		気体の法則	1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	
		液体と固体	1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	
		反応速度	1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	
		化学平衡	1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	
		食品	0	0	0	0	0	0	0	
生活化学生物質	材料の化学	衣料	0	0	0	0	0	0	0	
		プラスチック	0	0	0	0	0	0	0	
		金属、セミミクス	0	0	0	0	0	0	0	
		生命の化学	1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	
		生命的化学	1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	
		薬品の化学	1.08	2.27	9.09	0	0	0	0	
課題研究	特定の化学的事象に関する研究	肥料	0	0	0	0	0	0	0	
		化学を発展させた実験に関する研究	0	0	0	0	0	0	0	

調査票III-（6）
【欄A・重要度】回答数

国費学部留学生教育に関する意見調査
大阪大学CJLC

化学

科目	(1)(2)(3)～ABC…の項目	内容	工学系										理学系										
			電気電子情報系			機械			環境工		化学生命工		工(その他)		数学			物理学			化学		生物学
高等化学 1 物質の構造と性質 物質の変化	化学とその実験	34.88	27/76	10/43	3.8	2/19	5/16	2/6	2/7	3/3	2/2	8/15	5/9	9/1	1/4	2/2	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	1/1	2/3
	物質と人間生活	22	18	5	1	0	4	2	2	1	6	3	0	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1
	物質の構成	23	19	5	1	0	4	2	2	3	1	6	3	0	1	1	1	1	1	1	1	0	1
	物質の構成粒子	34	27	10	3	2	5	2	2	3	2	8	5	0	1	2	1	1	2	1	1	1	2
	物質量	33	26	9	3	1	5	2	2	3	2	8	5	0	1	2	1	1	2	1	1	1	2
	物質の構成に関する探究活動	11	9	4	1	0	3	0	2	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	単体	32	25	8	3	1	4	2	2	3	2	8	5	0	1	2	1	1	2	1	1	1	2
	化合物	32	25	8	3	1	4	2	2	3	2	8	5	0	1	2	1	1	2	1	1	1	2
	炭水素	28	22	7	2	1	4	2	2	3	1	7	4	0	1	2	1	1	2	1	1	0	2
	官能基を中心とした化合物	24	19	6	1	1	4	1	2	3	1	6	3	0	0	2	1	0	2	1	0	0	2
高等化学 2 物質の構造と性質 物質の変化	物質の種類と性質に関する探究活動	10	8	4	1	0	3	0	2	0	0	2	0	0	0	2	1	0	0	1	0	0	1
	反応熱	26	21	7	1	2	4	2	2	3	0	7	4	0	1	2	1	0	1	2	1	0	1
	酸・塩基・中和	30	23	8	2	1	5	2	2	3	1	7	5	0	1	2	1	1	2	1	1	1	2
	酸化と還元	30	23	8	1	2	5	2	2	3	1	7	5	0	1	2	1	1	2	1	1	1	2
	物質の変化に関する探究活動	9	7	3	1	0	2	0	2	0	0	2	1	0	0	2	1	0	0	1	0	0	1
	化学結合	22	25	8	2	1	5	2	2	3	2	8	5	0	1	2	1	1	2	1	1	0	1
	気体の法則	32	25	8	1	2	5	2	2	3	2	8	5	0	1	2	1	1	2	1	1	1	2
	液体と固体	31	24	8	2	1	5	2	2	3	1	8	5	0	1	2	1	1	2	1	1	1	2
	反応速度	25	19	7	1	2	4	1	2	3	1	5	5	0	1	2	1	1	2	1	1	1	1
	化学平衡	26	20	7	1	2	4	1	2	3	1	6	5	0	1	2	1	1	2	1	1	0	2
高等化学 II 生活と物質 （「理科」）	食品	9	6	3	1	0	2	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	衣料	8	6	3	1	0	2	1	1	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	プラスチック	14	11	4	1	0	3	1	2	1	1	2	0	0	1	1	0	1	1	0	1	0	1
	金属、セミミック	14	11	5	1	1	3	1	2	1	0	2	2	0	0	1	1	0	1	0	1	0	1
	生命の化学	12	8	3	1	0	2	0	1	1	1	2	3	0	1	1	1	0	1	0	1	0	1
	生命的平衡	11	7	4	1	1	2	0	1	1	0	1	3	0	1	1	1	0	1	1	0	1	0
	特定の化学的事象に関する研究	9	7	3	1	0	2	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
課題研究	化学と發展させた実験に関する研究	9	7	3	1	0	2	0	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1

調査票III-(6)
【欄A・重要度】割合

化学

科目	(1)(2)(3)／ABC…の項目	内容	工学系												理学系						総合学術(理)						
			電気電子情報系			機械			環境工			化学生			数学			物理学			化学			生物学			
高等化学校学習指導指標	本票回答数/回答总数→	34.88	27/76	10.43	3.8	2/19	5/16	2/6	2/7	3/3	2/2	8/15	5/9	0/1	1/4	2/2	1/1	1/1	1/1	1/1	2/3	33.33	0	0	0		
	化学とその役割	25	23.68	11.63	12.5	0	25	33.33	28.57	66.67	50	40	33.33	0	25	50	100	100	100	100	0	33.33	0	0	0		
	物質の探求	26.14	25	11.63	12.5	0	25	33.33	28.57	100	50	40	33.33	0	25	50	100	100	100	100	0	33.33	0	0	0		
	原子・分子・イオン	38.64	35.53	23.26	37.5	10.33	31.25	33.33	28.57	100	100	53.33	55.56	0	25	100	100	100	100	100	100	66.67	0	0	0		
	物質の構成粒子	37.5	34.21	20.93	37.5	5.76	31.25	33.33	28.57	100	100	53.33	55.56	0	25	100	100	100	100	100	100	66.67	0	0	0		
	物質の構成に關する探究活動	12.5	11.94	9.3	12.5	0	18.75	0	28.57	0	50	13.33	11.11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	33.33	0	0	0	
	無機物質	36.36	32.89	18.6	37.5	5.26	25	33.33	28.57	100	100	53.33	55.56	0	25	100	100	100	100	100	100	66.67	0	0	0		
	化合物	36.36	32.89	18.6	37.5	5.26	25	33.33	28.57	100	100	53.33	55.56	0	25	100	100	100	100	100	100	66.67	0	0	0		
	炭水素	31.82	28.85	16.28	25	5.26	25	33.33	28.57	100	50	46.67	44.44	0	25	100	100	100	100	100	100	66.67	0	0	0		
	官能基を含む化合物	27.27	25	13.95	12.5	5.26	25	16.67	28.57	100	50	40	33.33	0	0	0	100	100	100	100	0	66.67	0	0	0		
物質の種類と性質	物質の種類に関する探究活動	11.36	10.33	9.3	12.5	0	18.75	0	28.57	0	0	13.33	11.11	0	0	0	0	100	100	100	100	0	33.33	0	0	0	
	反応熱	29.55	27.63	16.28	12.5	10.33	25	33.33	28.57	100	0	46.67	44.44	0	25	100	100	100	100	100	100	0	33.33	0	0	0	
	酸・塩基・中和	34.09	30.26	18.6	25	5.26	31.25	33.33	28.57	100	50	46.67	44.44	0	25	100	100	100	100	100	100	66.67	0	0	0		
	酸化・還元	34.09	30.26	18.6	12.5	10.33	31.25	33.33	28.57	100	50	46.67	44.44	0	25	100	100	100	100	100	100	66.67	0	0	0		
	物質の変化に関する探究活動	10.23	9.21	6.98	12.5	0	12.5	0	28.57	0	0	13.33	11.11	0	0	0	0	100	100	100	100	0	33.33	0	0	0	
	化学結合	36.36	32.89	18.6	25	5.26	31.25	33.33	28.57	100	100	53.33	55.56	0	25	100	100	100	100	100	100	66.67	0	0	0		
	気体の法則	36.36	32.89	18.6	12.5	10.33	31.25	33.33	28.57	100	100	53.33	55.56	0	25	100	100	100	100	100	100	66.67	0	0	0		
	液体と固体	35.23	31.58	18.6	25	5.26	31.25	33.33	28.57	100	50	53.33	55.56	0	25	100	100	100	100	100	100	66.67	0	0	0		
	反応速度	28.41	25	16.28	12.5	10.33	25	16.67	28.57	100	50	33.33	55.56	0	25	100	100	100	100	100	100	66.67	0	0	0		
	化学平衡	29.55	26.32	16.28	12.5	10.33	25	16.67	28.57	100	50	40	55.56	0	25	100	100	100	100	100	100	66.67	0	0	0		
「理化学」内 容	食品	10.23	7.89	6.98	12.5	0	12.5	16.67	14.29	0	0	6.67	11.11	0	0	0	0	100	100	100	100	0	66.67	0	0	0	
	衣料	9.09	7.89	6.98	12.5	0	12.5	16.67	14.29	0	0	6.67	11.11	0	0	0	0	100	100	100	100	0	66.67	0	0	0	
	プラスチック	15.91	14.47	9.3	12.5	0	18.75	16.67	28.57	33.33	50	13.33	22.22	0	0	50	100	0	0	0	0	0	33.33	0	0	0	
	金属、セミミックス	15.91	14.47	11.63	12.5	5.26	18.75	16.67	28.57	33.33	50	13.33	22.22	0	0	50	100	0	0	0	0	0	33.33	0	0	0	
	生命の化学	13.64	10.53	6.98	12.5	0	12.5	0	14.29	33.33	50	13.33	33.33	0	25	50	100	0	0	0	0	0	33.33	0	0	0	
	生命を維持するビオ反応	12.5	9.21	9.3	12.5	5.26	12.5	0	14.29	33.33	0	6.67	33.33	0	25	50	100	0	0	0	0	0	33.33	0	0	0	
	医薬品	10.23	7.89	6.98	12.5	0	12.5	0	14.29	0	0	13.33	11.11	0	0	0	0	100	0	0	0	0	0	66.67	0	0	0
	肥料	7.95	6.58	6.98	12.5	0	12.5	0	14.29	0	0	6.67	11.11	0	0	0	0	100	0	0	0	0	0	33.33	0	0	0
	特定の化学的事象に関する研究	7.95	6.58	6.98	12.5	0	12.5	0	14.29	33.33	50	6.67	11.11	0	0	0	0	100	0	0	0	0	0	33.33	0	0	0
	化学を発展させた実験に関する研究	10.23	9.21	6.98	12.5	0	12.5	0	14.29	33.33	50	6.67	11.11	0	0	0	0	100	0	0	0	0	0	33.33	0	0	0

調査票III-（6）
【欄B・習得度】回答数

化学

科 目	(1)(2)(3)/ABC…の項目	内 容	アツエオ…の項目	本票回答数/回答総数→	社会科学系				人文系				一般教養				文科系	
					日本関係		教育学		その他の人文学		留学生教育		共通教育(文)		文(その他)		文(他)	
					法 学	経 济	法 学	経 济	日本関係	教育学	その他の人文学	留学生教育	共通教育(文)	文(その他)	文(他)	文(他)		
高等 学校 学 習 指 導 内 容 （「理 科」）	物質の構成	物質と人間生活	化学とその役割	2/33	1/44	1/11	0/33	1/32	0/8	1/12	0/8	1/12	0/12	0/10	0/2	0/5	0/0	
		物質の構成	物質の探究	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0/0	0/0	
	物質の構成・粒子	原子・分子・イオン	物質量	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0/0	0/0	
		物質の構成に關する探究活動	単体	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0/0	0/0	
	無機物質	化合物	炭化水素	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0/0	0/0	
		有機化合物	官能基を含む化合物	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0/0	0/0	
	物質の種類と性質	物質の種類と性質に關する探究活動	反応熱	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0/0	0/0	
		化学反応	酸塩基・中和	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0/0	0/0	
	物質の変化	物質の変化に關する探究活動	酸化と還元	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0/0	0/0	
		物質の構造	化学結合	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0/0	0/0	
高等 学校 学 習 指 導 内 容 （「化 学」）	物質の構造	気体の法則	液体と固体	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0/0	0/0	
		化学平衡	反応速度	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0/0	0/0	
	食品と衣料の化学	食品	2	1	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0/0	0/0	
		衣料	衣料	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0/0	0/0	
	材料の化学	プラスチック	金属、セミミックク	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0/0	0/0	
		生命の化学	生命体を構成する物質	2	1	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0/0	0/0	
	生活と物質	生命を維持するビタミン	医薬品	2	1	1	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0/0	0/0	
		特定の化学的事象に関する研究	肥料	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0/0	0/0	
	課題研究	化学を発展させた実験に関する研究		1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0/0	0/0	

調査票III-(6)
【欄B・習得度】割合

化学

科 目	(1)(2)(3)～ABC…の項目	内 容	文科系						文(その他)	
			社会科学系			人文系				
			法 学	経 济	日本関係	教 育	その他の人文学	留学生教育		
高等化学校学習指導導入内容（「理科」）	本票回答数／回答総数=2/33	化学とその役割	1.08	0	0	3.13	0	8.33	0	
		物質の探究	1.08	0	0	3.13	0	8.33	0	
		原子・分子・イオン	1.08	0	0	3.13	0	8.33	0	
		物質量	1.08	0	0	3.13	0	8.33	0	
		物質の構成に関する探究活動	1.08	0	0	3.13	0	8.33	0	
		単体	1.08	0	0	3.13	0	8.33	0	
		化合物	1.08	0	0	3.13	0	8.33	0	
		炭化水素	1.08	0	0	3.13	0	8.33	0	
		官能基を含む化合物	1.08	0	0	3.13	0	8.33	0	
		物質の種類と性質に関する探究活動	1.08	0	0	3.13	0	8.33	0	
		反応熱	1.08	0	0	3.13	0	8.33	0	
		酸・塩基・中和	1.08	0	0	3.13	0	8.33	0	
		酸化と還元	1.08	0	0	3.13	0	8.33	0	
		物質の変化に関する探究活動	1.08	0	0	3.13	0	8.33	0	
		物質の構造	1.08	0	0	3.13	0	8.33	0	
		化学結合	1.08	0	0	3.13	0	8.33	0	
		気体の法則	1.08	0	0	3.13	0	8.33	0	
		液体と固体	1.08	0	0	3.13	0	8.33	0	
		反応速度	1.08	0	0	3.13	0	8.33	0	
		化学平衡	2.15	2.27	9.09	0	3.13	0	8.33	
		食品	1.08	0	0	3.13	0	8.33	0	
		衣料	1.08	0	0	3.13	0	8.33	0	
		プラスチック	1.08	0	0	3.13	0	8.33	0	
		金属・セラミックス	1.08	0	0	3.13	0	8.33	0	
		生命体を構成する物質	2.15	2.27	9.09	0	3.13	0	8.33	
		生命を維持する生物学反応	2.15	2.27	9.09	0	3.13	0	8.33	
		医薬品	2.15	2.27	9.09	0	3.13	0	8.33	
		肥料	1.08	0	0	3.13	0	8.33	0	
		特定の化学的事象に関する研究	1.08	0	0	3.13	0	8.33	0	
		化学を發展させた実験に関する研究	1.08	0	0	3.13	0	8.33	0	

調査票III-（6）
【欄B・習得度】回答数

化学

科 目	(1)(2)(3)／ABC…の項目	内 容	工学系										理学系							
			電気電子情報系			電気、電子 情報			機械			環境工		化学生命工		工(その他)		数学	物理学	化学
高等 学校 学習 指導 導 内 容 （「理 科」）	本票回答数/回答总数→	34/88	2/7/6	10/43	3/8	2/19	5/16	2/6	2/7	3/3	2/2	8/15	5/9	9/1	1/4	2/2	1/1	1/1	2/3	
	化学とその役割 物質の探究	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	
	原子・分子・イオン 物質量	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	
	物質の構成粒子 物質に關する探究活動	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	1	
	单体	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
	化合物	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	
	炭化水素 官能基を含む化合物	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	0	
	物質の種類と性質に關する探究活動	5	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	0	
	反応熱	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	
	酸塞性質 中和	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	
高等 学校 学習 指導 導 内 容 （「理 科」）	化学反応	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	物質の変化 物質の変化に關する探究活動	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	
	化学結合 気体の法則	4	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	1	
	液体と固体 反応速度	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	1	0	0	0	
	化学平衡	5	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	0	0	
	食品 食品と衣料の化学	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	
	衣料	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	
	材料の化学 生活と物質	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	
	生命的化学 薬品の化学	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	
	特定の化学的事象に関する研究 化学を発展させた実験に関する研究	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	

調査票III-(6)
【欄B・習得度】割合

化学

科 目	(1)(2)(3)～ABC…の項目	アツエオ…の項目	本票回答数／回答総数=	工学系										理学系											
				電気電子情報系			電／機械			環境工		化学生命工		工(その他)		数学			物理学			化学		生物学	
電気電子情報系										理学系						数学			物理学			化学		生物学	
高等化学校学習指導要領内 容 (-「理科」-)	物質の構成	物質と人間生活	2.27	2.63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	物質の構成	物質の探究	2.27	2.63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	物質の構成	原子・分子・イオン	2.27	2.63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	物質の構成	物質量	4.55	3.55	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	物質の構成	物質に關する探究活動	1.14	1.32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	物質の構成	無機物質	4.55	5.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	物質の構成	化合物	4.55	5.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	物質の構成	炭水素	5.68	6.58	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	物質の構成	官能基を含む化合物	5.68	6.58	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	物質の構成	物質の種類と性質に關する探究活動	2.27	2.63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等化学	物質の種類と性質	反応熱	3.41	3.95	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	物質の種類と性質	酸・塩基・中和	4.55	5.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	物質の種類と性質	酸化と還元	4.55	5.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	物質の種類と性質	物質の変化に關する探究活動	2.27	2.63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	物質の種類と性質	化学結合	4.55	3.95	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	物質の種類と性質	気体の法則	3.41	3.95	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	物質の種類と性質	液体と固体	2.27	2.63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	物質の種類と性質	反応速度	5.68	5.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	物質の種類と性質	化学平衡	5.68	5.26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	物質の種類と性質	食品	3.41	3.95	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等化学	物質の構造と半平衡	衣料	3.41	3.95	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	物質の構造と半平衡	プラスチック	3.41	3.95	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	物質の構造と半平衡	金属、セラミックス	3.41	3.95	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	物質の構造と半平衡	生命体を構成する物質	3.41	3.95	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	物質の構造と半平衡	生命を維持する化学反応	3.41	3.95	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	物質の構造と半平衡	医薬品	2.27	2.63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	物質の構造と半平衡	肥料	2.27	2.63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高等化学	特定の化学的事象に関する研究	化学を發展させた実験に関する研究	2.27	2.63	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	課題研究	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

追加項目(調査Ⅱ)

日本語

回答者の専門分野	追加項目	チェック欄		
		A	B	なし
経済・経営	多人数の講義のため個別に把握する事はできなかった。		1	
情報	(注)指導したのが4年生になってからであったため、各能力はそれなりにありました。しかし、適度に手抜きをすることを覚えたため、checkをしないと伝達がうまくいかない点がありました。			1
経済・経営	困った事が発生した時の危機管理能力/友人(連絡先)のネットワークを持つ		1	
日本関係	読む能力日本史上の文書(漢文一白文のもの、総文など、とくに主語があいまいな文章)を読む事ができる/読む能力(チェックボックス印なし)できうるなら墨で書かれた古文書を読めるようになること	1		1
電気・電子	修士課程までを念頭に回答しました。博士後期課程は必ずしも日本語の講義が必須ではありませんので、英語が話せる、書ける場合は問題ありません。			1

英 語

回答者の専門分野	追加項目	チェック欄		
		A	B	なし
経済・経営	英語が必要なのは、日本語ができない学生のみ。日本語がでければ、英語は必要ない。			1
経済・経営	多人数の講義のため個別に把握する事はできなかった。		1	
その他人文学	(注)読む能力以外は、学生がいた1996年当時は必要ませんでした。			1
情報	日本語での学習や調査が難しい場合、インターネットや図書館などで英語の文献・資料などを収集し、自ら学ぶ事ができる。	1		
工(その他)	*学部では専門については日本語が十分ではない場合にそれを補う言語として必要			1
経済・経営	Dabating gameの様な時間内に論理的な表現を展開する能力		1	
その他人文学	以上の項目については、日本語または英語のいずれかでできれば良いと考える			1
環境工	日常、日本語で意思疎通を図っているので、正確には回答不			1
電気・電子	博士後期課程の学生は英語を公用語とする国からだったので、英語の先生役として研究室に貢献しました。/学部・博士課程は大勢の日本人とともに授業を受ける事になるので、英語は補助的な役割となっているようです。			1
環境工	日本語が不十分な場合には英語が十分に使えること	1	1	
工(その他)	英語力は確認できておりませんので、アンケートに答えないことにします。			1

追加項目(調査Ⅲ)

政治経済

回答者の専門分野	追加項目	チェック欄		
		A	B	なし
経済・経営	多人数の講義のため個別に把握する事はできなかった。		1	
環境工	日常生活に支障のない範囲で知っていれば問題はない			1

日本史

回答者の専門分野	追加項目	チェック欄		
		A	B	なし
環境工	日常生活に支障のない範囲で知っていれば問題はない			1
その他人文学	日本史を理解するための日本語能力	1		

日本事情

回答者の専門分野	追加項目	チェック欄		
		A	B	なし
日本関係	日本人の宗教生活			1
環境工	日常生活に支障のない範囲で知っていれば問題はない			1

数学

回答者の専門分野	追加項目	チェック欄		
		A	B	なし
経済・経営	欄B:修得度について 特になし(留学生各人によってバラバラなので一概には言えません。できない学生は同項目と言うことなく全般的にできません。)			1

物理

回答者の専門分野	追加項目	チェック欄		
		A	B	なし
電気・電子	数学を用いて再度体系的に学習するため完全に身についている必要はない。			1

化学

<追加項目なし>			
----------	--	--	--

国費学部留学生予備教育課程における課題と展望
－国費学部留学生教育に関する意見調査の分析を通して－

2010年3月30日 発行

発 行 大阪大学日本語日本文化教育センター
国費学部留学生予備教育改善プロジェクト
岸田 泰浩(代表), 平尾 得子, 今井 忍, 山川 太
〒562-8558 箕面市粟生間谷東8丁目1番1号

印 刷 株式会社 一心社
〒543-0052 大阪市天王寺区大道1-14-15